

# ICSPro/Pro Lite ユーザーズマニュアル

Version 1.3.3

# 目次

ご使用前に必ずお読みください.....	4
システム要件.....	6
予備情報.....	7
インストール（Windows XP の場合）.....	9
インストール（Windows Vista ）.....	12
管理者権限でプログラムを起動する.....	18
ソフトウェアを使用する.....	20
構成ウィザード.....	21
構成ウィザード・カメラを追加する.....	22
構成ウィザード・カメラを削除する.....	27
構成ウィザード・PTZ の設定（プリセットポイント）.....	28
構成ウィザード・インテリジェント（概要）.....	31
構成ウィザード・インテリジェント（設定）.....	32
構成ウィザード・インテリジェント（持ち去り検知）.....	35
構成ウィザード - インテリジェント（いたざら検知）.....	36
構成ウィザード - インテリジェント（仮想ライン検知）.....	37
構成ウィザード - インテリジェント（オブジェクトのカウント）.....	40
構成ウィザード - インテリジェント（置き去り検知）.....	42
構成ウィザード - インテリジェント（顔カウント）.....	43
インテリジェント重複時についての注意.....	44
インテリジェントの制限事項.....	46
<b>1.カメラへのいたざら検知.....</b>	<b>46</b>
<b>2.持ち去り検知.....</b>	<b>47</b>
<b>3.置き去り検知.....</b>	<b>48</b>
<b>4.仮想ライン検知.....</b>	<b>49</b>
構成ウィザード - イベント処理.....	50
構成ウィザード - イベント処理（イベントサーバー）.....	52
構成ウィザード - イベント処理（イベントトリガースケジュール）.....	62
構成ウィザード - E-マップ（概要）.....	64
構成ウィザード - E-マップ（カメラ位置の設定）.....	65
構成ウィザード - E-マップの設定（詳細）.....	67
構成ウィザード - ユーザーアカウント.....	73
構成ウィザード - ユーザーアカウント（ユーザーグループ）.....	74
構成ウィザード - 録画.....	75
構成ウィザード - 録画（設定）.....	77
構成ウィザード - 録画（スケジュール）.....	78

構成ウィザード - POS .....	80
構成ウィザード - レポート .....	81
構成ウィザード - バックアップ .....	82
構成ウィザード - ログ表示 .....	86
クライアントビューア - ログイン .....	87
クライアントビューア - サーバーの追加 .....	88
クライアントビューア - ライブを見る .....	92
クライアントビューア - ライブを見る (概要) .....	92
クライアントビューア - ライブを見る (表示レイアウトの調整) .....	94
クライアントビューア - ライブを見る (シーケンシャルモード) .....	97
クライアントビューア - ライブを見る (フルスクリーン) .....	99
クライアントビューア - ライブを見る (マルチモニタリング) .....	102
クライアントビューア - ライブを見る .....	103
(PTZ カメラ&プリセットコントロール) .....	103
クライアントビューア - ライブを見る .....	104
(ビデオウィンドウコントロールバー) .....	104
クライアントビューア - ライブを見る .....	111
(サーバーとカメラステータス) .....	111
クライアントビューア - E-マップモニター .....	112
クライアントビューア - イベントモニター .....	115
クライアントビューア - 再生モニタ .....	123
メディアプレーヤー .....	128
リモートモニター - Web ブラウザ .....	139
リモートモニター - Web ブラウザ .....	140

# ご使用前に必ずお読みください

## 『ICSPro for Windows』ソフトウェアライセンス契約書

本製品を使用する場合は以下のソフトウェアライセンスの諸条件への同意が必要です。  
同意しない場合はインストーラを終了してください。

### 1 許諾される用途及び制限

このソフトウェアライセンス契約は、ユーザー(個人・企業を問わず)と弊社との法的に拘束力がある協定であり、関連ソフトウェアコンポーネント、媒体、印刷物、およびオンラインまたは電子化された文書を含むソフトウェア・プロダクトに関するものであります。この使用許諾書で保護された製品をインストール、コピーの作成及び使用は、ユーザーがこの使用許諾書に同意したことを意味します。この使用許諾書の諸条件に同意せず、インストールしないか、または製品を使用せずに30日以内にすべての関連品と共に返却した場合は代金を払戻しいたします。本製品は著作権法、国際著作権条約、他の知的財産法、および条約によって保護されています。本製品は販売されるものではなく、使用を許諾されるものであることに注意してください。ユーザーに与えられたライセンスはライセンス証明書のソフトウェアライセンスコードによって特定されます。

### 2 インストールと使用方法

以下の制限の下にソフトウェア・プロダクトをインストールし、使用する権利をユーザーに与えます:

- a 本製品はハードウェアとソフトウェアの仕様を満たすコンピュータにインストールして下さい。
- b 本製品は製品が設計されたオペレーティングシステムで動作するコンピュータでのみ使用可能です。
- c 当社または当社の代理店より正当に入手したデバイスキー(USBタイプ)を接続したマシンでのみ本製品を使用できます。

### 3 著作権

本製品及び総てのコピーにおける著作権を含むすべての権利は明示されているか否かにかかわらず、弊社に帰属します。

### 4 保証

弊社は製品に関する如何なる保証もいたしません。提供された製品及び関連するドキュメントに対し、弊社は市場性、特定目的への適合性も含め、如何なる種類の保証もいたしません。

本製品の使用、性能に起因する総てのリスクはユーザーが負うものとします。本製品を他の設備、ソフトウェアと共に使用した場合、データプライバシーおよび刑法を含む準拠法に抵触し、または制限を受ける可能性があります。準拠法に適合することを検証する責任はユーザーにあります。

## ご使用前に必ずお読みください

### 5 責任の限定

この節の条項は準拠法の最大範囲において有効です。SystemKまたはその代理店は本製品の使用または使用できないこと或は適切なサポートを提供しないことによる付随的、間接的、必然的な如何なる損害賠償にも責任を負うものではありません(営業利益の損失、事業中断、企業情報の損失、または他の如何なる金銭的損失をも例外ではありません)。意図的な不正行為または重過失がない限り、SystemKの責任は製品を販売した額に制限されるものとします。

### 6 コピー及び譲渡

- a 保存、バックアップを目的としたソフトウェア・プロダクトのコピーを作成することを許可します。
- b ソフトウェア・プロダクトのコピーを第三者に提供することができます。
- c 準拠法で許された範囲を超えた本製品コンポーネントのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルは許されません。
- d 受取人がこの協定のすべてに同意するなら、ユーザーはこの製品の権利を受取人に永久に譲渡することができます。

### 7 同意できない場合

ユーザーが上記諸条件に従わない場合、弊社はこの許諾契約を終了することができます。その場合、ユーザーはソフトウェア・プロダクトのすべてのコピーを消去しなければなりません。

### 8 管轄裁判所

ユーザーと弊社との許諾契約は日本の法律によって管理されます。紛争が生じた場合の唯一法廷は札幌地方裁判所となります。

# システム要件

## 最小システム要件

### ハードウェア要件：

- CPU：インテル Core 2 Duo プロセッサ以上
  - RAM：最小 1 GB、2GB 以上推奨
  - ハードディスク：SATA200GB 以上推奨
  - ディスプレイカード：独立したディスプレイカードを推奨
    - ディスプレイの DPI 設定は 96DPI でデフォルトに設定されていることを確認
- ※「コントロールパネル」の「画面」アイコンをダブルクリックして、「設定」タブをクリックし、→  
「詳細設定」 → 「全般」 → 「DPI 設定」
- Ethernet インターフェース：10/100 Mbps イーサネットカードまたはそれ以上

### ソフトウェア要件：

- OS：Windows 2000 (SP4)、Windows XP、Windows2003、Windows Vista 、 Windows 7

### インストール CD の内容

- インストールファイル
- クイックインストールガイド
- ユーザーズマニュアル

## 予備情報

### \*機能概要\*

ICSPPro (NVR ソフトウェア) は中小監視アプリケーションに最適なビデオ管理ソフトウェアです。64 のネットワークカメラを管理すると同時に、高品質なライブと再生動画を提供することができます。内蔵のビデオ分析エンジンは毎日の監視中のヒューマンエラーを大幅に減らすことができ、エンドユーザーに便利なビデオ録画の助けになります。Web ブラウザのクライアントソフトウェア、あるいはモバイルデバイスを介してリモートモニタリングと再生が可能です。データを複数の場所にバックアップできること、バックアップをリモートで実行することができます。

### \*ICSPPro lite の機能について\*

ICSPPro lite をお使いの場合は、下記の通り機能が制限されます。

- インテリジェント機能がモーション検知のみ
- 分割画面が 1/4/6/9/13/16 のみ(ブラウザの場合は 1/4/16)
- マルチモニターは 4 台のみ
- 同時再生は 4CH
- リモートアクセスはブラウザとスマートフォンのみ
- E-マップは 2 層まで

ICSPPro は”クライアントサーバー”プログラムです。インストール後に、下記のように複数のプログラムが PC にインストールされます：



「構成-ウィザード」：ユーザーはこのツールを使用して、プログラムを開始する前に必要な設定をします（カメラの追加、PTZ の設定、および様々な機能の設定）。



「サービス-コントローラ」：ICSPPro は、複数のカメラを管理し、ユーザーがリモートクライアントアプリケーションまたは Web ブラウザを介してアクセスできるように”サーバー”として設定することができます。これは、(Web サーバーなどのような) 複数のサーバーサービスとして実行されます。サービスコントローラは、Windows サービスの一部としてインストールされ、OS の起動時に自動的に開始されます（構成-ウィザードを実行するときに起動する必要はありません）。

## 予備情報

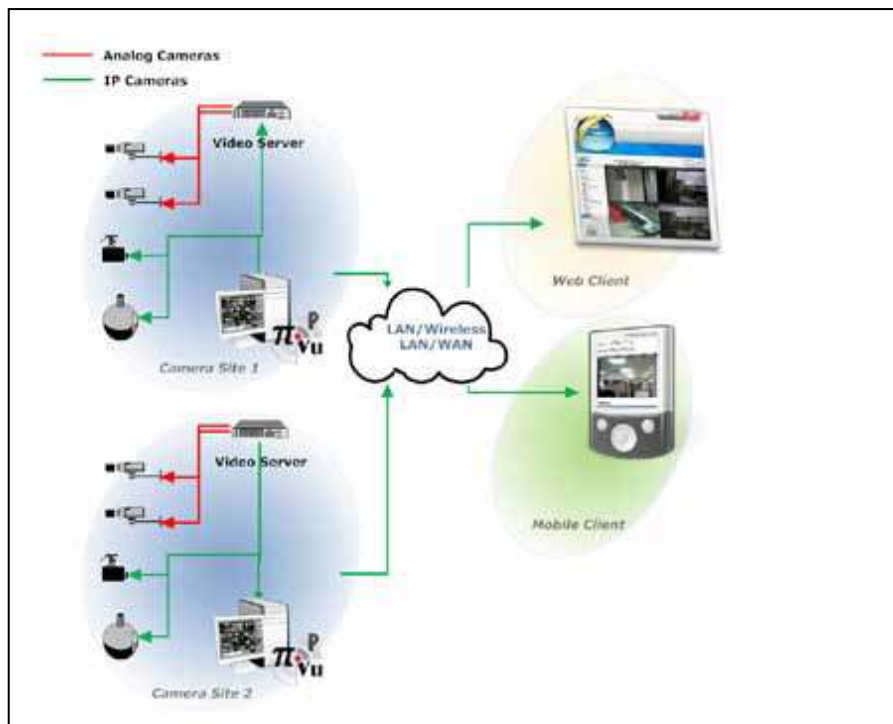


「モニター」：これは、ICSPRO server にアクセスするために使用されるリモートクライアントです。ICSPRO がインストールされている PC 上で実行することができ、カメラのライブ映像を表示するためにローカルマシンにアクセスします。ICSPRO は別のマシン上にインストールすることもできます。その場合はパブリック IP アドレスを持つリモートサーバーにアクセスします。

\*ICSPRO Lite では、「ライブモニター」クライアントソフトウェアは、同じローカルエリアネットワーク内で実行されている ICSPRO server にアクセスすることができます。



“メディアプレーヤー”：ICSPRO は独自のデータベースを持ち、独自のデータベースのファイル形式で録画されたビデオ（メディア）を格納します。メディアプレーヤーは ICSPRO でエクスポートされたデータベースファイルを AVI ファイルと同じように再生することが可能です。これにより、ユーザーは、録画されたメディアを再生するためにサードパーティ製のプレーヤーソフトウェア（またはコーデック）をインストールする手間を省くことができます。





## インストール (Windows XP の場合)

1. CD-ROM ドライブに付属の CD を挿入すると、Web ベースのインストーラーが自動的に表示されます。  
(インストールの Windows Vista / 7 については、「インストール (Windows Vista / 7)」の章を参照してください。)
2. 表示されない場合は、「マイコンピュータ」に行き、CD-ROM ドライブをダブルクリックします。



3. インストーラーは開始され (下図参照)、クリックして”はい”をクリックします。:



4. Web ベースのインストーラーが表示されます :



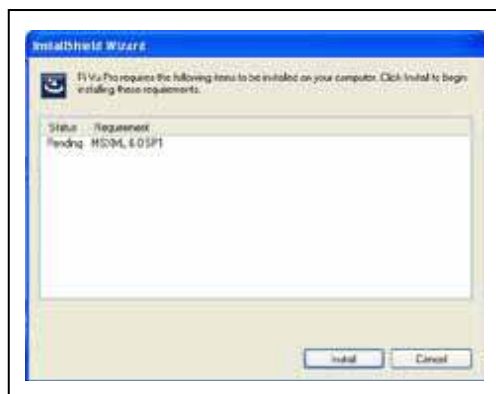
\*インストーラーは ActiveX コントロールを使用するため、Internet Explorer 6 以上で実行することができます。

## インストール (Windows XP の場合)

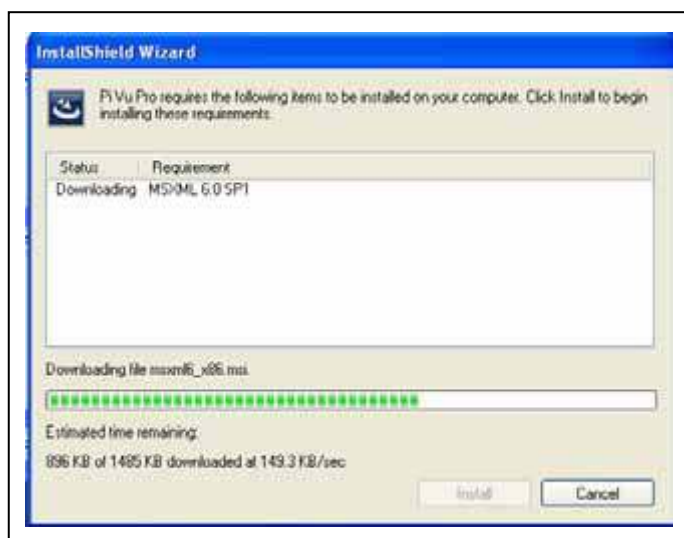
5. "ICSPro"をクリックしてインストールを開始します：



6. ソフトウェアは、Microsoft XML パーサーを事前にインストールする必要があります。インストールされていない場合、警告は以下のように表示されます：



7. クリックするだけで自動的にダウンロードされ、"インストール"されます：

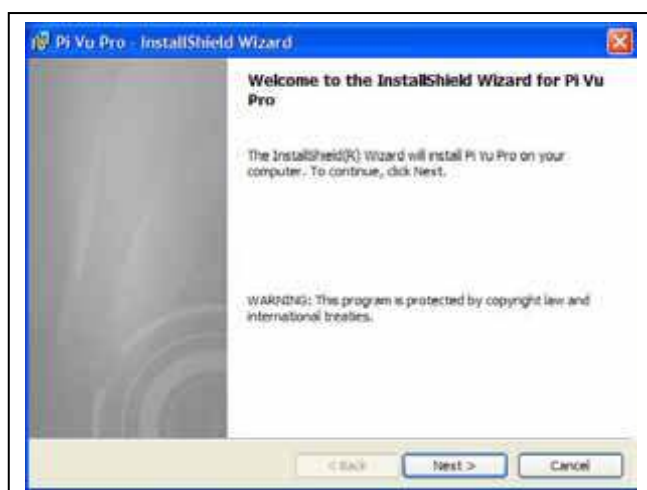


## インストール (Windows XP の場合)

8. その後、インストーラーは初期化されます：



9. 初期化完了後、”次へ”をクリックしインストールを開始します：



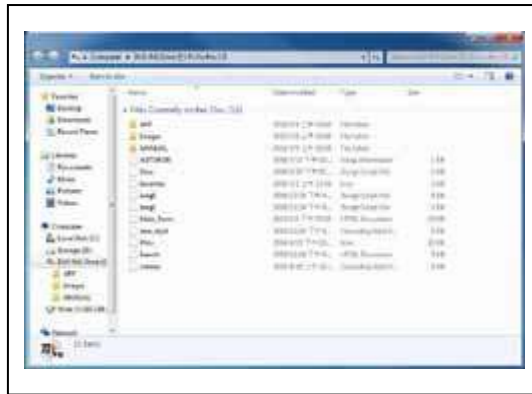
\* インストールの残りの部分は14ページを参照してください。

# インストール (Windows Vista )

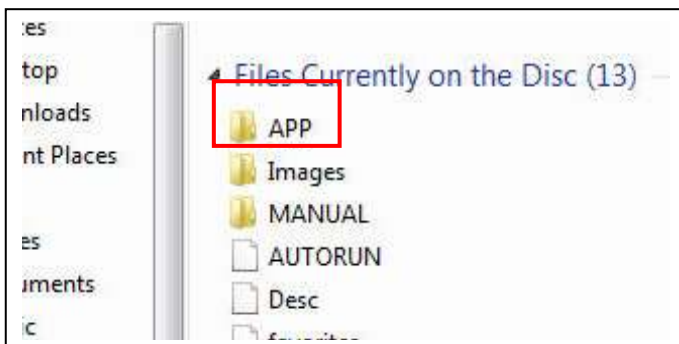
1. CD-ROMドライブに付属のCDを挿入すると、“自動再生”ダイアログが自動的に（下図参照）表示されます：



2. “Open folder to view files”をクリックし、Windows エクスプローラでCDの内容を表示します：

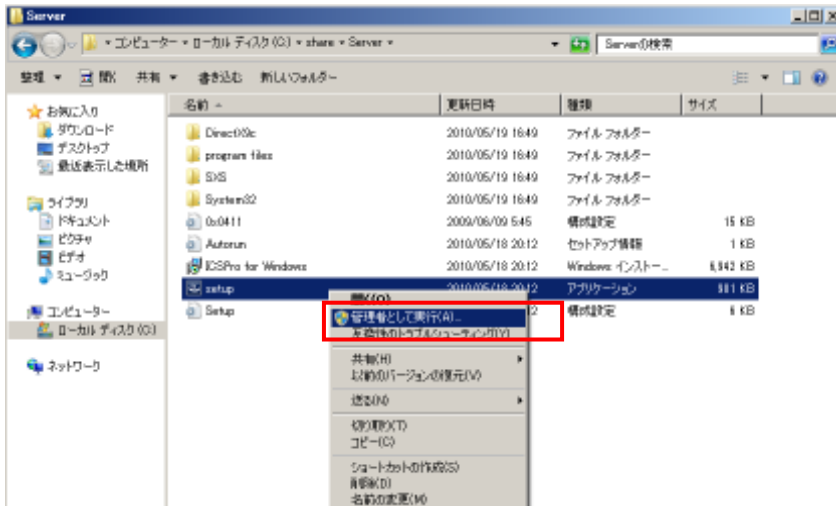


3. “App”フォルダに移動します：

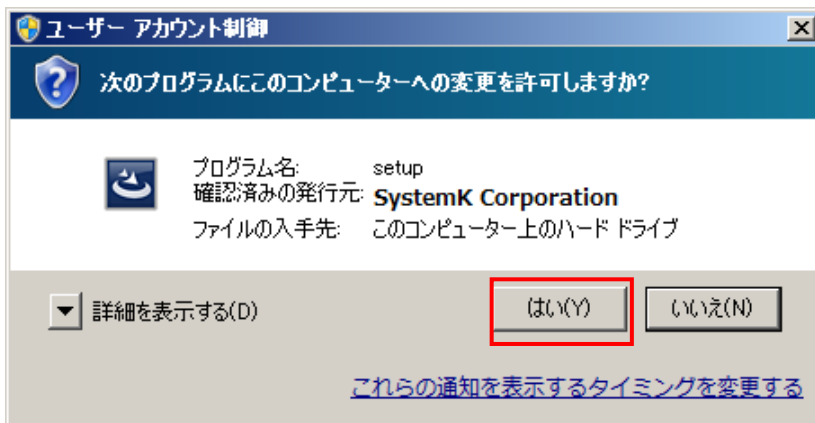


## インストール (Windows Vista )

4. "Setup.exe" 上で右クリックし、プルダウンメニューからファイルと"管理者として実行"オプションを選択します：



5. 次に、ユーザーアクセス制御の警告を認めるために"はい"をクリックします：



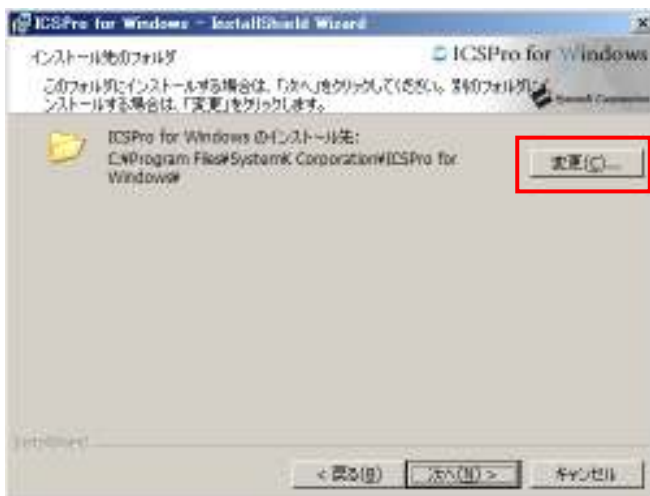
# インストール

1. ソフトウェアのライセンスに同意し、“次へ”をクリックします。



2. デフォルトのフォルダの下にインストールしている場合、16 ページの 6 を参照してください。この手順は別のフォルダの下にソフトウェアをインストールしている場合です。

"変更"をクリックすると、ソフトウェアをインストールするフォルダを指定できる新しいダイアログが表示されます。（下図参照）

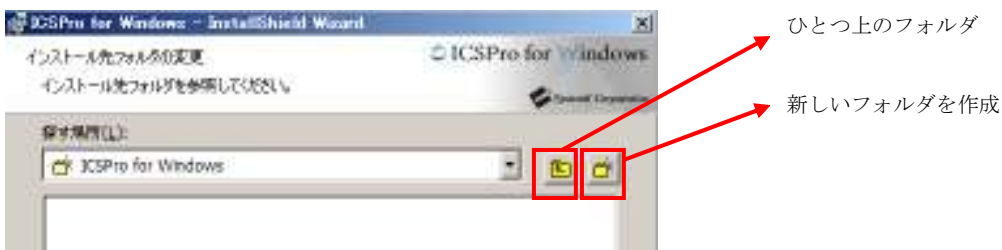


# インストール

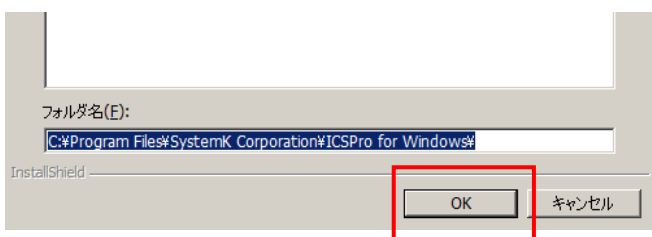
3. "フォルダ名"フィールドに新しいフォルダを入力することができます：



4. ボタンのフォルダ間を移動すること、新しいフォルダを作成することができます：



5. 新しいフォルダを確認し"OK"をクリックします：



## インストール

6. インストーラーは、インストールフォルダ決定後に再度確認します。  
“インストール”をクリックし、インストールを開始します：



7. インストーラーは、インストール状況を表示します：





## インストール

8. インストールが完了したら、プロンプトが表示されます：



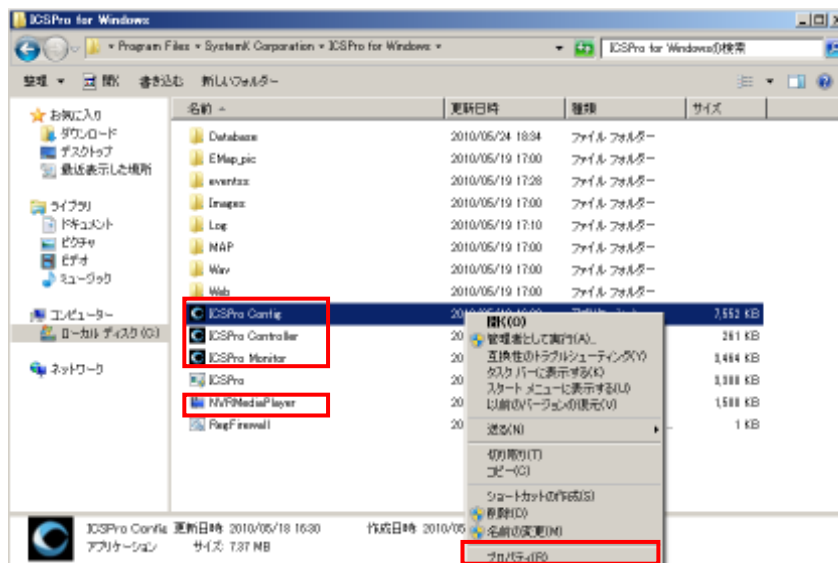
## 管理者権限でプログラムを起動する

ICSProはWindows VistaとWindows7と互換性があります。しかし、Windows Vista や Windows 7のUAC(ユーザーアクセスコントロール)のため、管理者特権でソフトウェアとそのサービスを動かさなければなりません。ソフトウェアは以下のコンポーネントで成り立ちます。

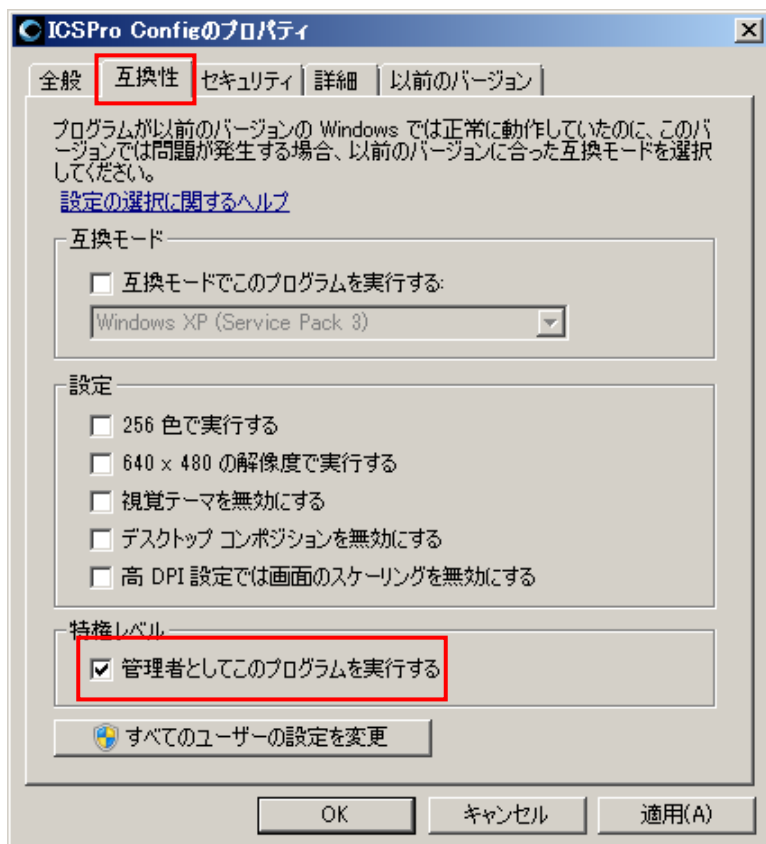
- \* Config
- \* Main Program
- \* Video Service
- \* Service Control

4つのコンポーネントで管理者特権を有効にする必要があります。

インストールフォルダ(例えば: C:\Program Files\SystemK Corporation\ICSPro for Windows)の下でこれらの4つのコンポーネントの場所を見つけてください。そして、コンポーネントの1つで右クリックし、ドロップダウンメニューから「プロパティ」を選択します。



「互換性」タブに行き、「管理者としてこのプログラムを実行する」というオプションをチェックします。次に、「OK」をクリックし、設定を保存してください。前ページで示す、すべての 4 つのコンポーネントに対して処理を行います。



## ソフトウェアを使用する

このソフトウェアは、“Windows サービス”として動作することにより、IP カメラと通信できるようになります。これは、すべての機能セットで使用されているさまざまなネットワークプロトコルを使用することを可能にします。

新規インストール時には、ソフトウェア起動前に構成を設定する必要があります。

まず、デスクトップのショートカットから”構成ウィザード”を起動します。



または”スタート”メニューからアクセスします。

“スタート”>>“すべてのプログラム>> “SystemK Corporation” >> “ICSPro for Windows” >> “ICSPro Config”



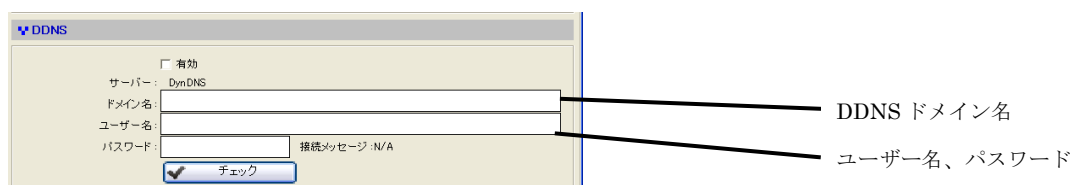
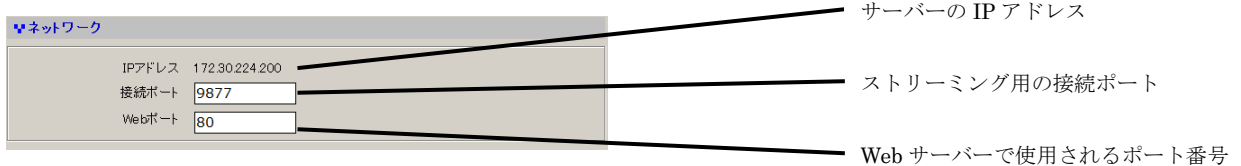
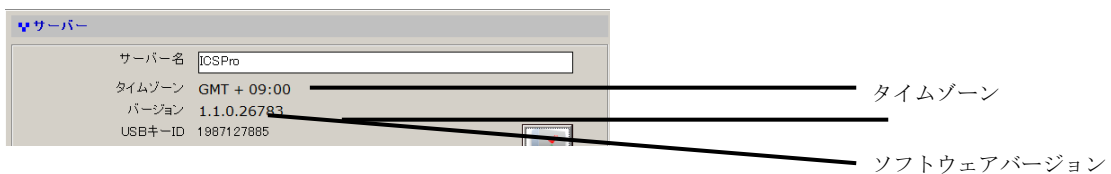
ソフトウェアのサービスを開始するために、構成ウィザードを使用し、設定に変更を加えます。設定を保存し、プログラムを終了します。設定後に構成ウィザードを再び起動し、ソフトウェアのサービスを開始します。

# 構成ウィザード

構成ウィザードを開始する手順は、15 ページを参照してください。構成ウィザードを開始すると、画面上に表示されます。（下図参照）



設定ウィザードの開始時には、「システム」ページが表示されます：



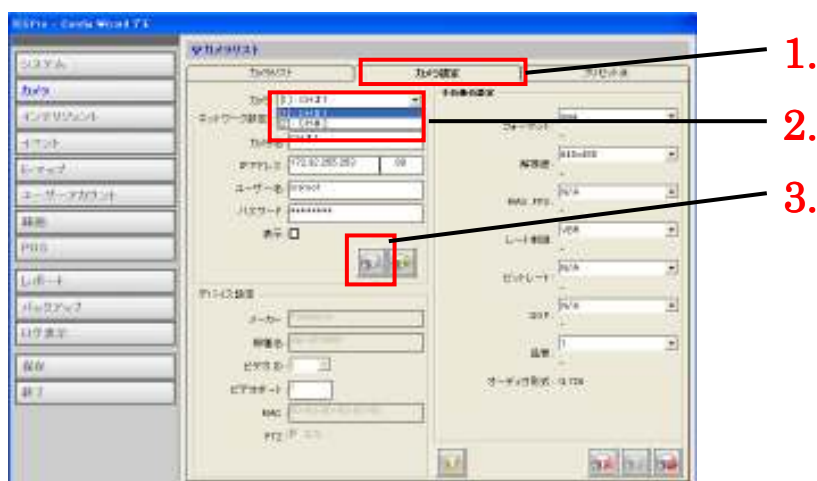
## 構成ウィザード - カメラを追加する

カメラを追加するにはカメラ構成ウィザードを使用して、左のメニューから”カメラ”をクリックします。

“カメラリスト”にはこのソフトウェアに追加されているカメラの一覧が表示されます。



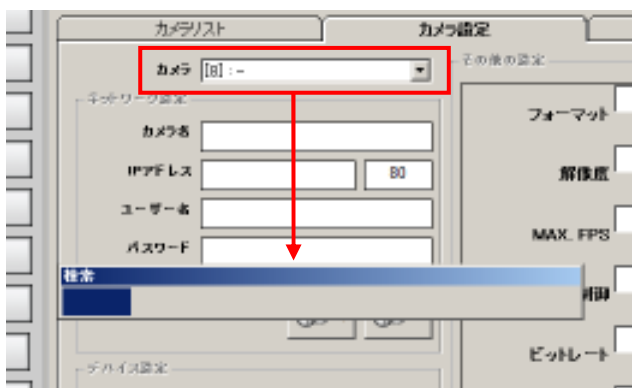
まず、”1. カメラ設定”タブをクリックします。そして、”2. カメラ”ドロップダウンメニューから使用可能なカメラを選択します。次に、”3. 検索”をクリックします。



\* “検索”機能は、ICSPro がインストールされている PC と同じサブネットに存在する場合のみ有効です。

## 構成ウィザード - カメラを追加する

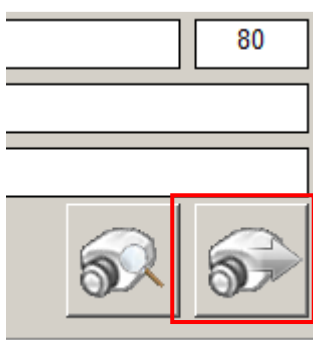
または、カメラメニューから未使用のカメラを選択すると ICSPro が検索を実行し、同じサブネット内のカメラを検索します。



利用可能なカメラ一覧がダイアログ表示されます。



\* 別のサブネットに存在するカメラ（ただし、同じローカルネットワーク内にある）については、そのプライベート IP、HTTP ポート、ユーザー名とパスワードを入力後、“検出”をクリックし検索する必要があります。



## 構成ウィザード - カメラを追加する

一覧からカメラをダブルクリックして、“カメラ設定”ページに進みます。カメラの IP アドレスと HTTP ポートは自動的に“ネットワーク”のセクションに設定されます。

カメラ [8] :-

ネットワーク設定


カメラ名

IPアドレス 172.30.224.47 80

ユーザー名

パスワード

表示

1. カメラ名と 2. カメラのユーザー名とパスワード (root 権限のアカウント) を入力し、3. “検出”をクリックします。

カメラ [8] :-

ネットワーク設定



カメラ名

IPアドレス 172.30.224.47 80

ユーザー名

パスワード

表示

1.

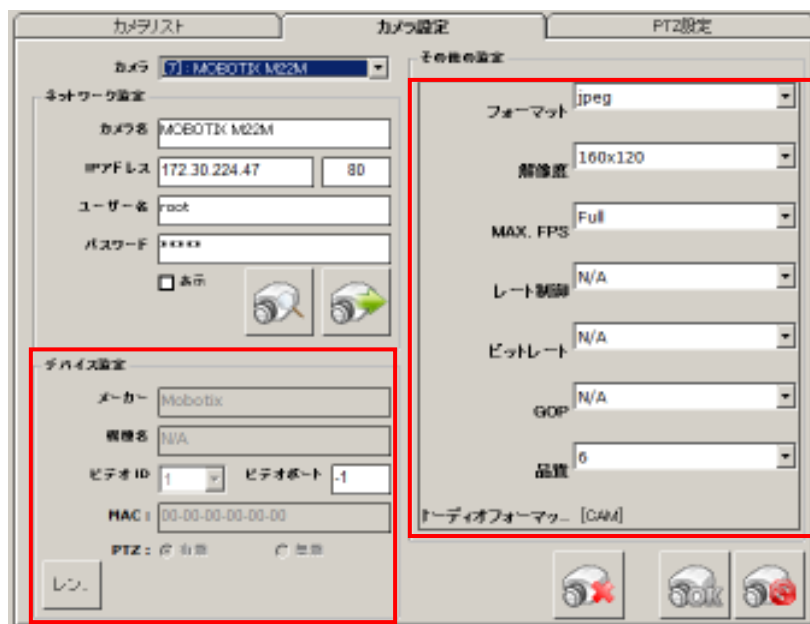
2.

3.

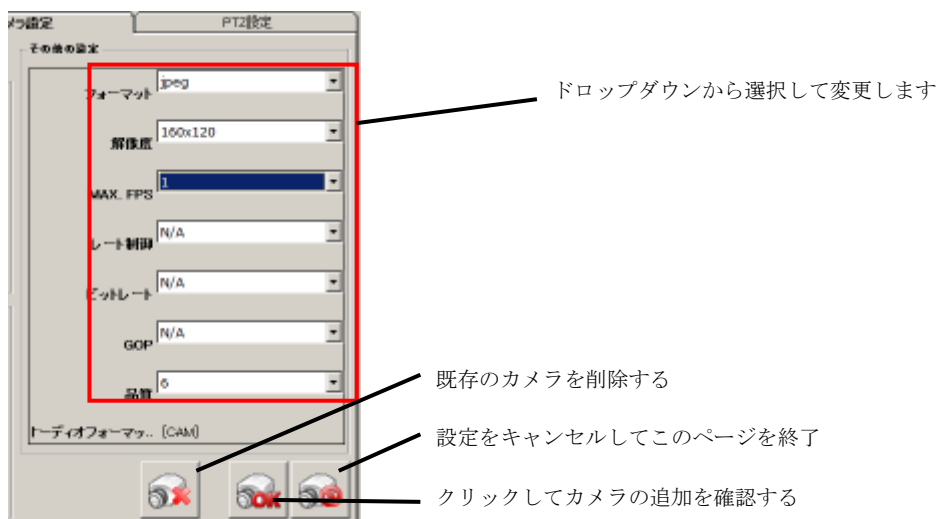


## 構成ウィザード - カメラを追加する

検出に成功すると、カメラの現在の設定が補完されます。(下図参照)

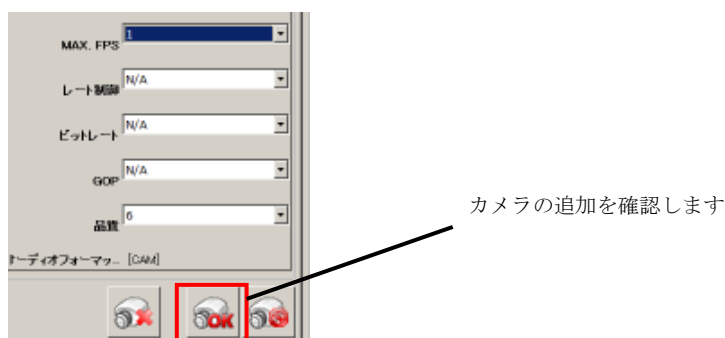


“その他の設定”を参照し設定を変更することができます。ドロップダウンメニューまたは対応するセルのボックスをクリックし指定します。

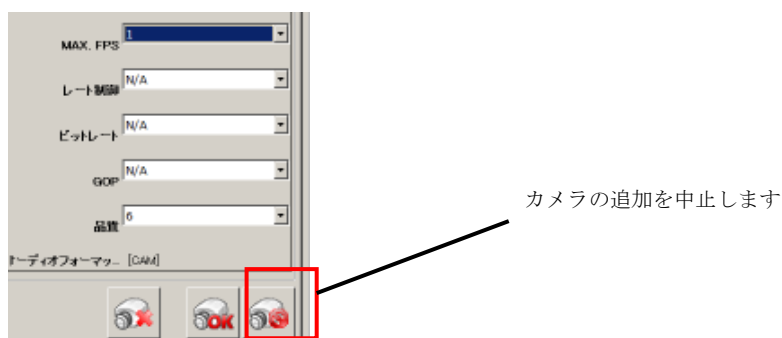


## 構成ウィザード - カメラを追加する

設定を確認するために”カメラを追加”ボタンをクリックします。クリック後、”カメラリスト”ページに戻ります。



”キャンセル”ボタンをクリックし、設定を中止することができます。クリック後、”カメラリスト”ページに戻ります。

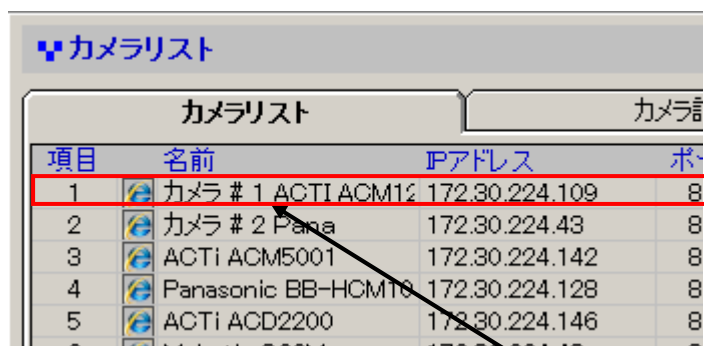


“カメラリスト”ページに登録したカメラを見ることができます。

カメラリスト							
カメラリスト		カメラ設定			PTZ設定		
項目	名前	IPアドレス	ポート	メーカー	機種名	MAC	
1	カメラ # 1	ACTI ACM12	172.30.224.109	80	ACTi Corporat	ACM1231	00:0F:7C:02:6D:6C
2	カメラ # 2	Pana	172.30.224.43	80	Panasonic	BB-HCM381	00-00-00-00-00-00
3	ACTi	ACM5001	172.30.224.142	80	ACTi Corporat	ACM5001-081	00:0F:7C:01:7C:2C
4	Panasonic	BB-HCM10	172.30.224.128	80	Panasonic	BB-HCM100	00-00-00-00-00-00
5	ACTi	ACD2200	172.30.224.146	80			00-00-00-00-00-00
6	Mobotix	Q22M	172.30.224.48	80	Mobotix	N/A	00-00-00-00-00-00
7	MOBOTIX	M22M	172.30.224.47	80	Mobotix	N/A	00-00-00-00-00-00
8	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-

## 構成ウィザード - カメラを削除する

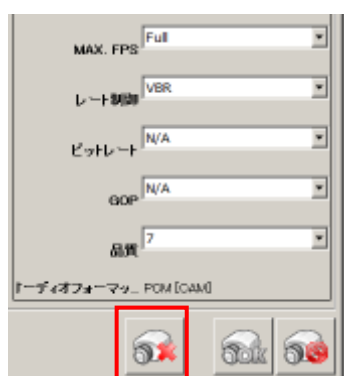
カメラを削除するには、“カメラリスト”ページの一覧から削除したいカメラをクリックするだけです。クリック後、“カメラ設定”ページに進みます。



項目	名前	IPアドレス	ポート
1	カメラ # 1 ACTI ACM12	172.30.224.109	80
2	カメラ # 2 Pana	172.30.224.43	80
3	ACTI ACM5001	172.30.224.142	80
4	Panasonic BB-HCM10	172.30.224.128	80
5	ACTI ACD2200	172.30.224.146	80
6	M-Lite G0004	172.30.224.40	80

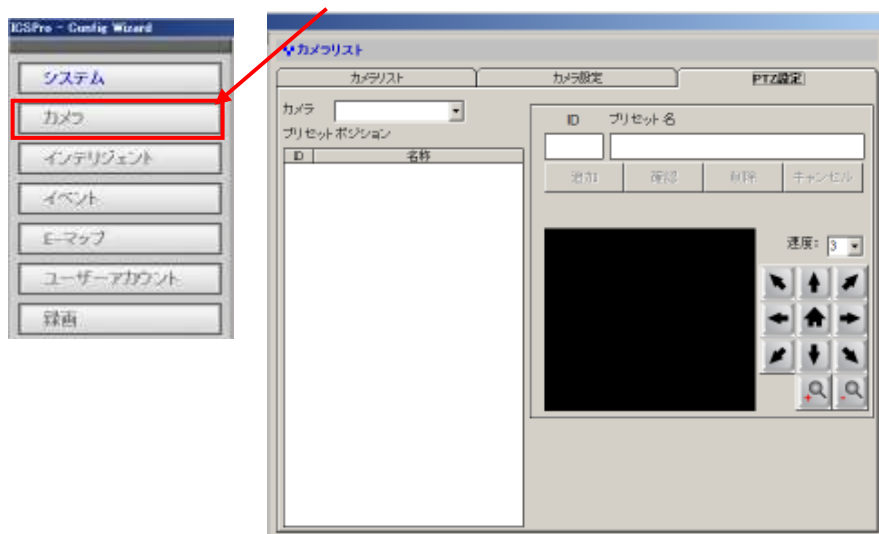
クリック

クリックしたカメラの情報が表示されます。“削除カメラ”ボタンをクリックしカメラを削除します。

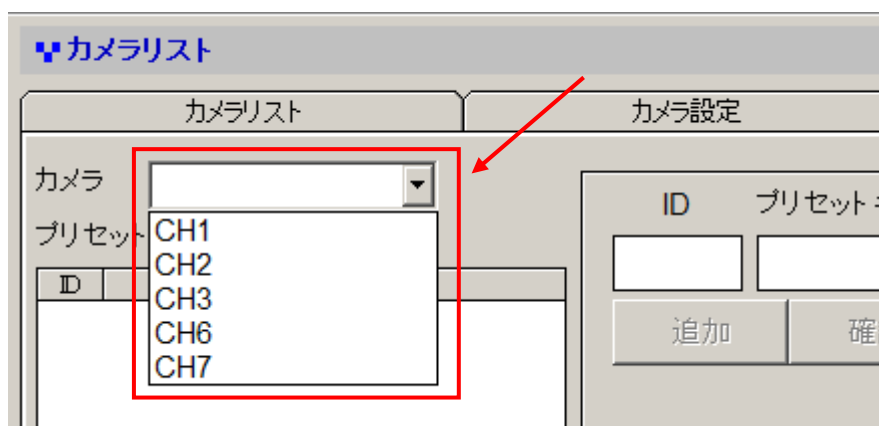


## 構成ウィザード - PTZ の設定 (プリセットポイント)

ソフトウェアにカメラを追加した後、すべての PTZ カメラで”PTZ カメラの設定”ページの利用が可能になります (カメラ>> PTZ 設定)



PTZ カメラのみが”カメラ”ドロップダウンメニューに表示されます：(下図参照)



## 構成ウィザード - PTZ の設定 (プリセットポイント)

ライブ映像は、その後右下の隅に表示されます

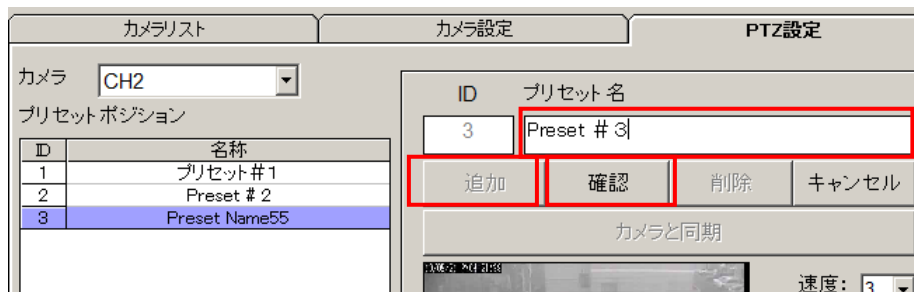


画面上の PTZ パネルで視点を移動します。そして、それぞれの動作の距離を決定するために”速度”ドロップダウンから PTZ 動作速度を選択します：

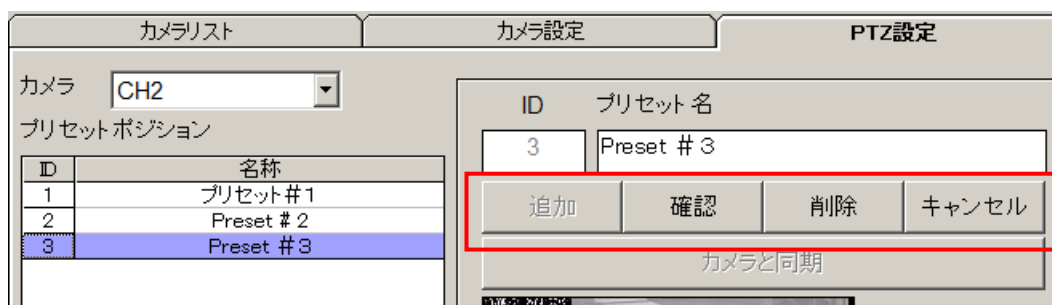


## 構成ウィザード - PTZ の設定 (プリセットポイント)

次に、“追加” をクリックして、“プリセット名”フィールドに名前を入力します。  
プリセット名を入力して“確認”をクリックします：



プリセットポイントが“プリセットポジション一覧”に追加されます” (下図参照)



\* 既存のプリセットポイントを変更するには、一覧から対象のポイントをクリックして、PTZ のパネルで新しい視点に移動します。  
そして、“確認”をクリックし新しいポイントを保存します。

## 構成ウィザード - インテリジェント (概要)

ソフトウェアは、さまざまなインテリジェントビデオ分析機能が組み込まれています。その設定ページは、左のメニュー”インテリジェント”からアクセスすることができます。まずは概要から説明します。

概要では、カメラ上で利用可能な各インテリジェント機能の全体的な構成のステータスを提供します。

カメラ

インテリジェント機能のステータス

インテリジェント機能

カメラ	顔検出	顔認識	物体検出	物体認識	歩行者検出	歩行者認識	車両検出	車両認識	その他
1	X	X	X	X	X	X	X	X	O
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

カメラ（それらがオンラインであるかどうかに関わらず）で設定されているカメラには”X”または”O”のマークがあります。

X：無効

O：有効

## 構成ウィザード - インテリジェント (設定)

各インテリジェント機能の詳細設定をするには、「インテリジェント設定」タブをクリックして詳細設定にアクセスします：



\* ROI: Region of Interest

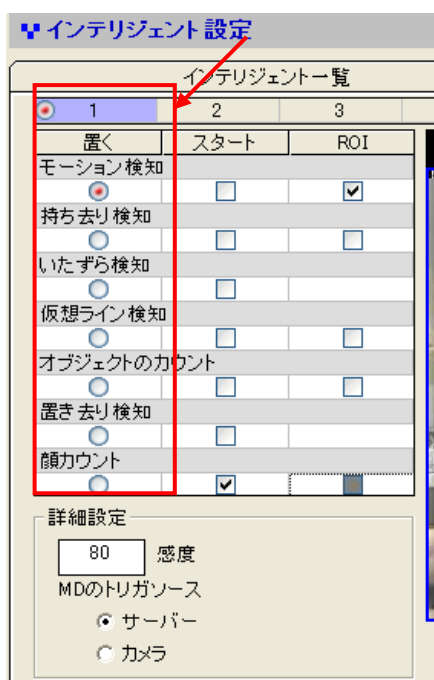


## 構成ウィザード - インテリジェント (設定)

詳細設定を開始するには、ドロップダウンメニューからカメラを選択します。そのビデオは右に表示されます:

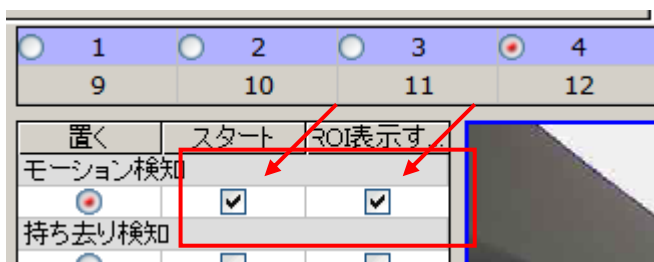


次に、一覧の中から、設定したいインテリジェント機能をクリックします:

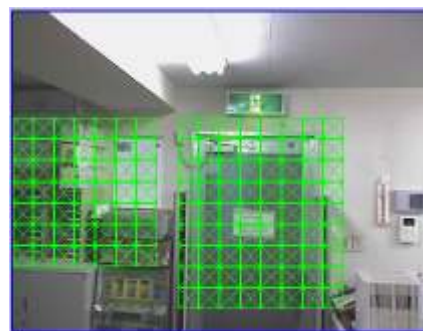


## 構成ウィザード - インテリジェント (設定)

“スタート”と ROI”をチェックします

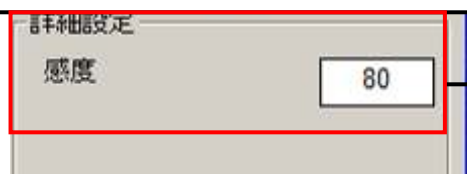


ここで、例として、モーション検知を説明します。ビデオに設定したモーション検知領域が強調表示されることを意味します：(下図参照)



\* クリックし、マウスボタンを押したまま動かしてモーション検知領域を定義します。同じ手順を繰り返し、複数の領域を定義します。

感度を 1~99 の数値を入力することで検出を定義します。



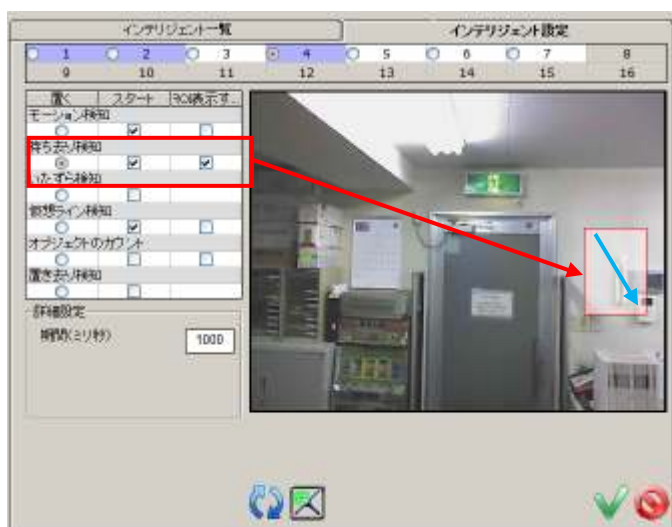
※0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 80 として登録されます。



\* この機能は *ICS Pro Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント (持ち去り検知)

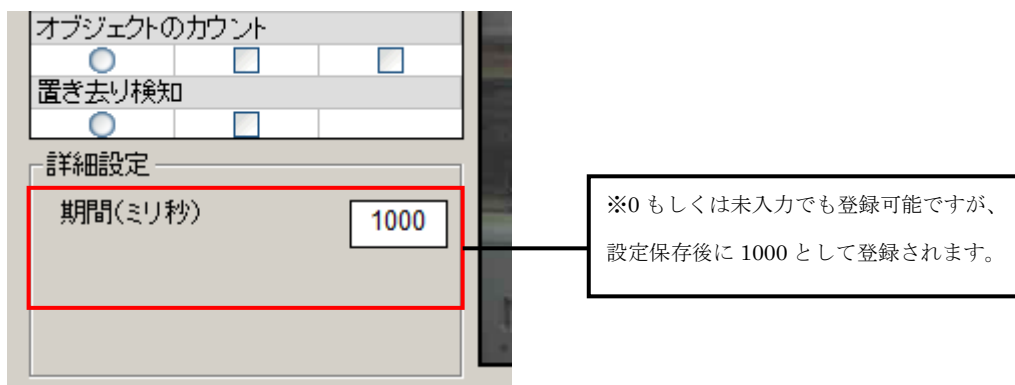
この機能は、ある場所から物が無くなった場合にアラームを通報します。オブジェクトが削除または盗難された場合にすぐにアラーム通報するための定義をすることができます。

“持ち去り検知”を設定するためには、最初に左の一覧からそれをクリックして、“スタート”をチェックします。ビデオで持ち去り検知領域を定義する(オブジェクトを選択する)ためには、前のページの説明と同じステップに従ってください。:



 ボタンをクリックし、現在のページの設定を適応するか、以前に定義した領域を  ボタンでクリアし、再定義します。

次に、“期間 (ミリ秒)”に 1~999999 の数字を入力することにより検出を定義します。



\* この機能は *ICS Pro Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント (いたずら検知)

いたずら検知については、構成ウィザードで機能を有効にします。

いたずら検知	<input checked="" type="checkbox"/>	
仮想ライン検知	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オブジェクトのカウント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
置き去り検知	<input type="checkbox"/>	

詳細設定

感度	50
期間(ミリ秒)	2000

”感度”フィールドに 1~99 の数字を入力して検出感度、”期間”フィールドに 1~9999 (ミリ秒) の間の数字を入力して検出間隔を定義することができます。

感度	50
期間(ミリ秒)	2000

感度で 0 を入力すると強制的に 80 と数値が変更されます。

未入力でも登録は可能ですが設定保存後に 80 として登録されます。

※期間のデフォルトは 2000 (ミリ秒) に設定してある。

0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 2000 として登録されます。

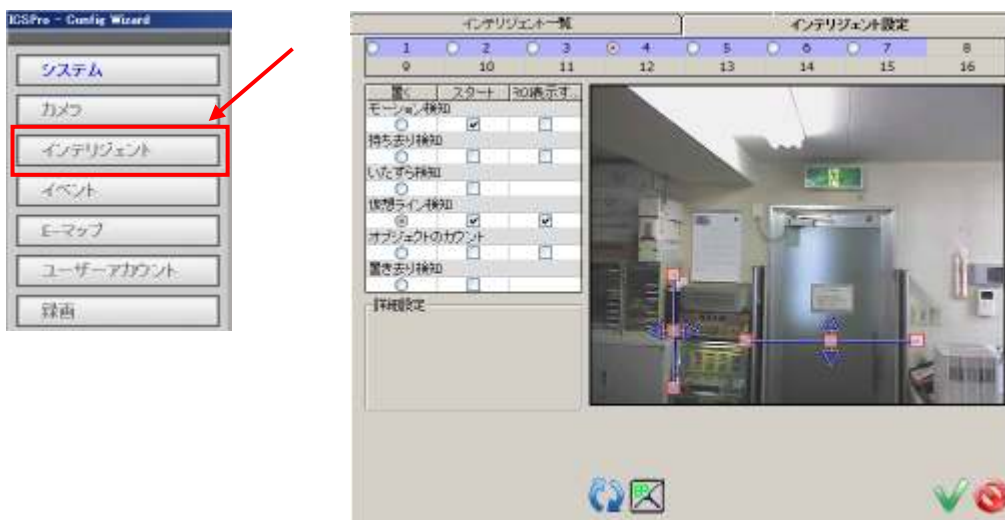
\* この機能は *ICS Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント (仮想ライン検知)

この機能は、アラームを人や車が境界線に侵入した場合にアラーム通報をします。検出は横断を禁止することや単一方向の動きを検出するように構成することができます。

仮想ライン検知は、行が交差している場合、指定されたラインに対する平行の動きを無視し、アラート通報のみ行います。

仮想ライン検知の特徴は、一つの景観に対し複数のライン、一つのラインに対し複数の方向を設定することができます。

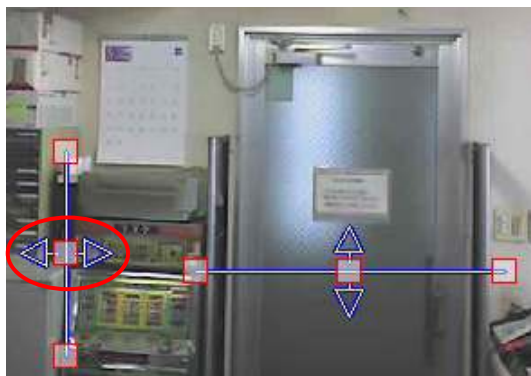


目的の方向に線を引くには、ラインをクリックし、マウスボタンを押したままマウスをドラッグします：

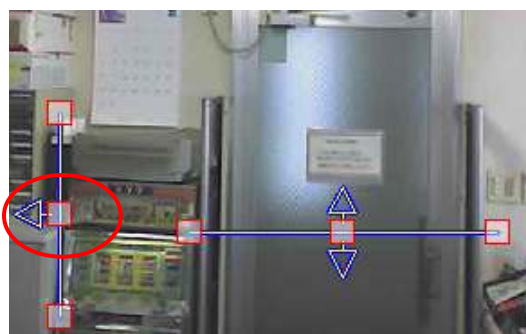


## 構成ウィザード – インテリジェント（仮想ライン検知）

次に、検出方向を定義します。これを行うには、行の途中の灰色のセルボックスにマウスカーソルを合わせます。

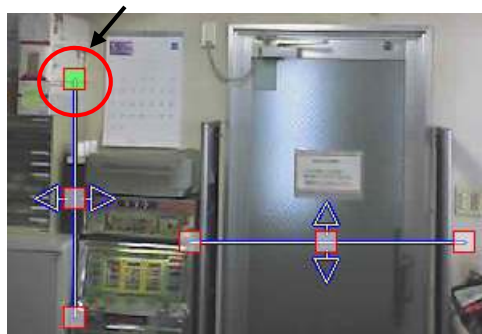


セルボックスをクリックすると、双方向、一方向、逆方向の順に検出方向が切り替わります。



## 構成ウィザード – インテリジェント（仮想ライン検知）

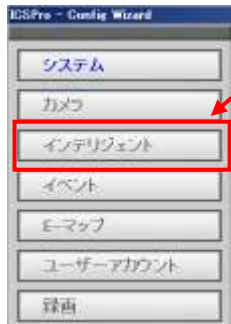
ラインの長さを設定するためには、ラインの終端にマウスをホバーします（下記参照）。マウスの左ボタンを押しながら新しい場所にドラッグします。もう一方のラインも同じように設定できます。



\* この機能は *ICS Pro Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント (オブジェクトのカウント)

オブジェクトのカウントは、ラインを横断するオブジェクトの数を計算します。検出は任意のラインに対しての横断のカウント、単一方向からの動作をカウントするように構成することができます。検出は景観に対し、一つのみ指定することができます。



境界線を定義するには、マウスボタンを押したまま、目的の方向にマウスをドラッグします：



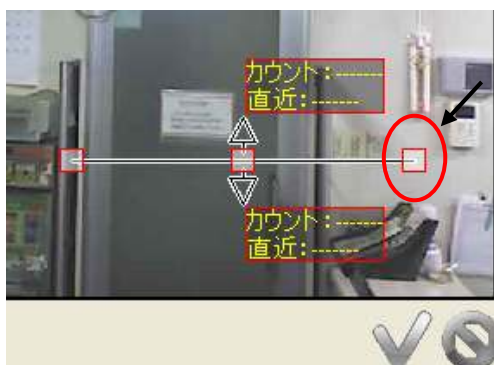


## 構成ウィザード – インテリジェント (オブジェクトのカウント)

次に、検出方向を定義します。これを行うには、行の途中の灰色のセルボックスにマウスカーソルを合わせます。セルボックスをクリックすると、双方向、一方向、逆方向の順に検出方向が切り替わります：



ラインの長さを設定するためには、端末のマウスをホバーします (下記参照)。マウスの左ボタンを押しながら新しい場所にドラッグします。もう一方のラインも同じように設定できます。:



インターバル(秒)に 1~99999、アラーム基準に 1~99、直近の期間 1~99999...と数値を入力して検出を定義できます。

詳細設定	
インターバル(秒)	3600
アラーム基準	10
直近の期間(秒)	86400

※インターバル(秒)は 0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 2000 として登録されます。

アラーム基準のデフォルトは 10

※0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 0 と入力した場合は 10、未入力の場合は 99 として登録されます。

直近の期間のデフォルトは 86400

※直近の期間は 99999...と制限無く入力できるが不正な数値(0、未入力含む)の場合はデフォルトの数値で登録される。

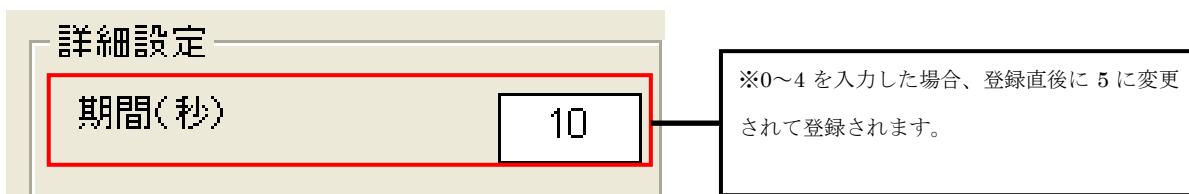
\* この機能は *ICS Pro Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント（置き去り検知）

これは、ソフトウェアは継続的に、特定の公共の場所に長期の時間、居残る行為を検出します。いったん機能が有効に設定されると、景観全体の領域を検出します。



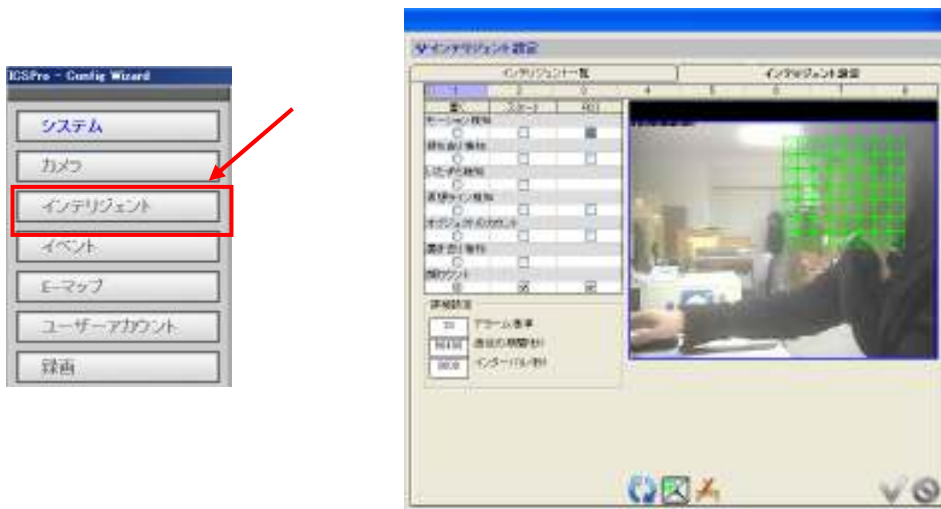
次に、「期間(秒)」フィールドに 5~99 の数字を入力し検出間隔を定義します：



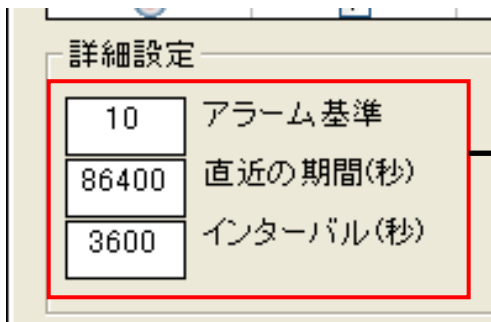
\* この機能は *ICS Pro Lite* では利用できません。

## 構成ウィザード - インテリジェント (顔カウント)

これは、設定した範囲内に人の顔が入るとカウントを行い、設定数以上になると、アラートを発生させる機能です。



アラーム基準に 1~99、直近の期間 1~99999...、インターバル(秒)に 1~99999 と数値を入力して検出を定義できます。



アラーム基準のデフォルトは 10

※0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 0 と入力した場合は 10、未入力の場合は 99 として登録されます。

直近の期間のデフォルトは 86400

※ 直近の期間は 99999... と制限無く入力できるが不正な数値(0、未入力含む)の場合はデフォルトの数値で登録される。

※インターバル(秒)は 0 もしくは未入力でも登録可能ですが、設定保存後に 3600 として登録されます。

## インテリジェント重複時についての注意

インテリジェント重複時だと正常に動作しない場合がありますので、1台のカメラで1つのインテリジェント機能を設定する事を推奨致します。

重複して使用する場合は下記の表を参考に、注意してご使用ください。

尚、下記表は複数のインテリジェント機能の動作を保証する者ではありません。

設置環境(人、車両等の動き、光の変化)によりインテリジェント機能の検出精度は変化します。

インテリジェント重複検証   ○→イベント検知された  
   △→イベント検知されるが問題点あり  
   ×→イベント検知されない

△モーションとカウントの重複についてはカウントが1方向にしか対応しません。

△持ち去りと置き去りの重複については持ち去りされた部分にも置き去り検知が反応しません。

### 1つのインテリジェントを重複させた場合

	モーション	持ち去り	いたずら	仮想ライン	カウント	置き去り
モーション検知	-	○	○	○	モ○ カ△	○
持ち去り検知	○	-	い○ 持×	○	○	持○置△
いたずら検知	○	い○ 持×	-	○	○	○
仮想ライン検知	○	×	○	-	○	○
オブジェクトのカウント	モ○ カ△	○	○	○	-	○
置き去り検知	○	持○置△	○	○	○	-

複数のインテリジェントを重複させた場合

	モーション	持ち去り	いたずら	仮想ライン	カウント	置き去り
モーション+持ち去り+いたずら	○	○	○	-	-	-
モーション+持ち去り+ライン	○	○	-	○	-	-
モーション+持ち去り+カウント	○	○	-	-	△	-
モーション+持ち去り+置き去り	○	○	-	-	-	○
モーション+いたずら+ライン	○	-	○	○	-	-
モーション+いたずら+カウント	○	-	○	-	△	-
モーション+いたずら+置き去り	○	-	○	-	-	○
モーション+仮想ライン+カウント	○	-	-	○	○	-
モーション+仮想ライン+置き去り	○	-	-	○	-	○
全インテリジェントにチェック	○	○	○	○	○	○

△モーションとカウントの重複についてはカウントが1方向にしか対応しない。

※3つ以上のインテリジェントを重複させるとモーション検知のみ反応しない場合があります。

※重複させるインテリジェントに関係なくライン検知、カウント検知の反応が鈍くなる場合があります。

# インテリジェントの制限事項

## 1.カメラへのいたずら検知

カメラへのいたずら検知機能は、以下の妨害を検知します。カメラの向き(画角)の変更、レンズを塞ぐ妨害、フォーカス(ピント)の変更、通信妨害、塗料のスプレーなど。いたずら検知機能は、誤作動を無くすために自動的に表示画面の重要な領域を分析します。その為、環境の変化に適応することが出来ます。最適な感度の設定値はさまざまな監視シーンに依存します。

図 1-a では、オブジェクト(検知対象物)の多くが移動することによって、監視シーン(背景)が変更されます(設定値は約 50%程度)。誤動作を減らすためには低感度の値(約 30%)を使用すべきです。

図 1-b のシーンでは、殆ど背景が変わらないため設定値を高くして(例 90%)使用します。但し、非常に高感度の値を設定した場合は、簡単にアラームが発生することがあります。また、非常に低感度の値を設定した場合は、殆どアラームが発生しないことがあります。通常、屋内と屋外の環境では感度設定値を 70 にした場合に良く動作します。

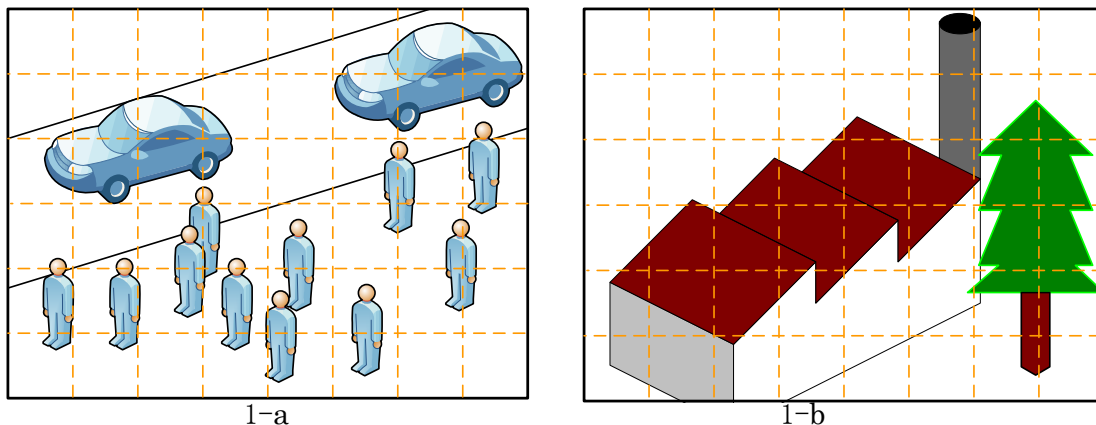


図 1-a は背景の変化が大きい場合、1-b は背景の変化が少ない(静止状態)場合。

### 条件

- (1) 監視シーンはクリアに見えている必要があります。もしカメラが平坦な領域に焦点が当てられている場合は(例えば青空、白い壁、暗い室内)正しく動作しません。
- (2) いたずら検知は次の場合にアラームが発生します。
  - a. カメラが長い時間、強風を受けている場合(カメラが揺れている場合)
  - b. カメラの向き(画角)が少し変更された場合。
  - c. 図 1-a のように多くのオブジェクトが長時間カメラの視野内に出入りする場合。
- (3) いたずら検知は、起動後に監視エリアの情報を認識するために最低 5 秒程度必要とします。もし監視エリア内でオブジェクト/背景の変化が大きい場合は、認識するための時間が伸びます。いたずら検知機能をリセットした場合も、最低 5 秒程度待つ必要があります。

## 2.持ち去り検知

持ち去り検知は、あらかじめユーザが定義した監視領域を四角い枠で表し、そのボックス内のオブジェクトの移動を監視する機能です。持ち去り検知は枠内のオブジェクトが長い期間消えている(あるいはエリアが隠された)場合にアラートを発します。不適切な枠の設定は持ち去り検知の精度に影響します。設定例は下記の図 2-a、b、c を参照して下さい。尚、同時に2つ以上のオブジェクトを監視することはできません。

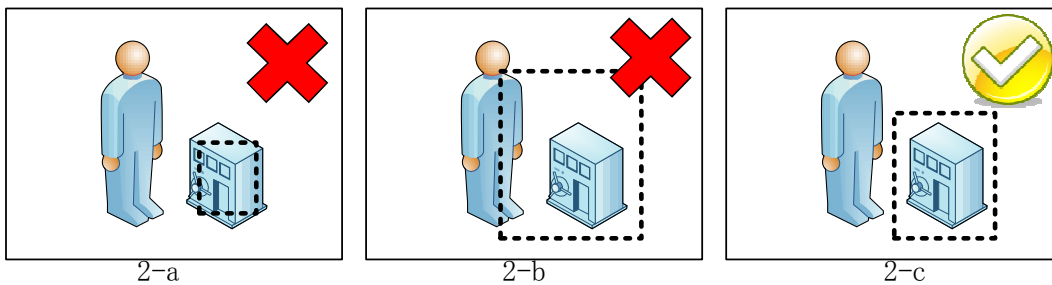


図 2-a、b は不適切な設定例。C は適切な設定例です。

感度は0～100の範囲内で設定します。感度の設定数値は、監視領域内にどの位の広さで移動制限(規制)がされているかに依存します。通常、監視ターゲットを隠したり、触れたりすることができない(規制が厳しい)場合は非常に高い設定値(100)を使用します。ターゲットが時に隠される場合(例えば、展覧会で展示されている絵画など)は50程度の数値を使用します。感度が低すぎる場合はアラートが発生しません。または感度が高すぎる場合は、誤警報をおこすことがあるので注意してください。

### 条件

- (1) カメラは静止している必要があります。
- (2) ターゲットの外観は、クリアに見える必要があります。持ち去り検知では真っ白な紙、青空、透明なガラス、暗い室内にあるオブジェクトを検出することはできません。
- (3) 最小ターゲットサイズは 16×16 ピクセルです。
- (4) 持ち去り検知作動中に監視エリアが 30 フレーム(1 秒 10 フレームで 3 秒間)の間、監視ターゲットが隠されることがないのを確認してください。監視エリアの認識中にターゲットが隠された場合は置き去り検知の精度が非常に低くなります。
- (5) イベント機能をリセットする前に監視エリア内にオブジェクトが存在するか確認してください。
- (6) 持ち去り検知の精度は速く強い光の変化または大雨に影響されます。

### 3.置き去り検知

置き去り検知機能は一定時間、置き去りにされた物を検出します。置き去り検知は無人の物体の検知、放棄された物体の検知、落下物の検知とも呼ばれます。

#### 条件

- (1) カメラは静止している必要があります。
- (2) 置き去り検知に必要な最小フレームレートは 10fps です。低フレームレートの場合、誤った結果が出る可能性があります。
- (3) 背景が動いている場合、システムはスタートする間に背景の状態を認識しますが、そのような不安定な監視エリアの場合、誤警報を引き起こす可能性があります。
- (4) 照明効果はオブジェクトを検出する精度に影響を与えます。例えば、日光の下のオブジェクトの影は、オブジェクトの一部と見なされる可能性があります。
- (5) 最小アラーム検知時間は5秒です。
- (6) バッグなどは、周辺で大勢の人が移動している場合、人がバッグのまわりから離れるまでオブジェクトとして認識できない場合があります。この結果、騒がしい場所ではシステムがオブジェクトを見失います。
- (7) 下記の図 3-1a の図のように、静止したオブジェクトが移動した場合、システムが認識した背景に空間(ゴースト)を生じることによって、置き去り検知機能はこの領域を異物が置かれたと見なし、イベントを発生される可能性があります。
- (8) オブジェクトが長い時間(10 分程度)隠されている場合、オブジェクトの情報が影響を受ける場合がありますので、置き去り検知かどうかシステムが判断出来ずイベントを発生しない可能性があります。

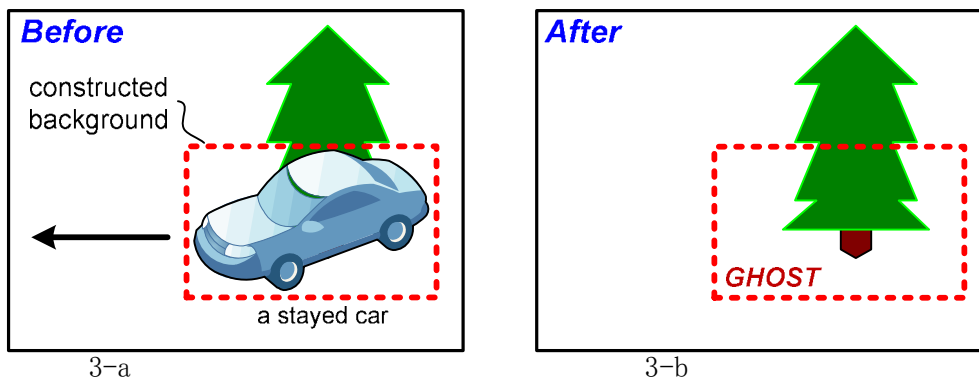


図 3-b は置き去り検知がゴーストにより誤ったアラームを発生した場合



#### 4. 仮想ライン検知

仮想ライン検知は、移動しているオブジェクトを監視してオブジェクトが仮想ラインを交差したときにイベントとしてトリガーを発します。

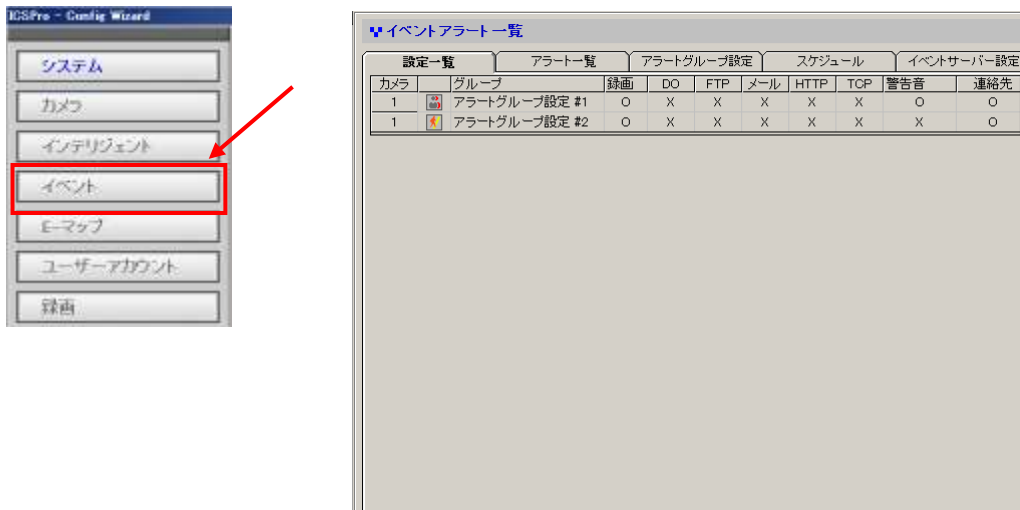
##### 条件

- (1) カメラは静止している必要があります。
- (2) 仮想ライン検出に必要な最小フレームレートは 10fps です。低フレームレートの場合、誤った結果を生じます。
- (3) システムが起動する間、移動するオブジェクトを背景として認識する可能性があります。この場合、監視エリアの画像が不安定(静止していない)なため、誤ったアラームを発する場合があります。
- (4) 照明効果により、カウント精度に影響を与える可能性があります。たとえば、日光の下では、オブジェクトの影をオブジェクトの一部と見なされる可能性があります。
- (5) 仮想ラインを交差するチェックポイントは物体の中心です。複数のオブジェクトが連なって仮想ラインを交差した場合、仮想ライン検知は正しく動作しない場合があります。

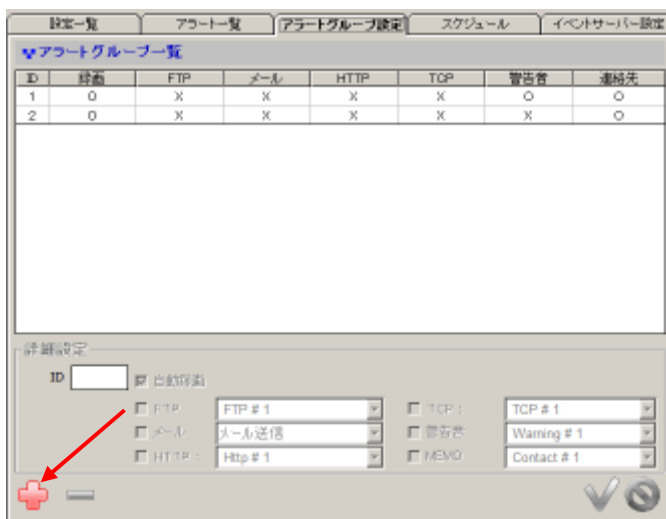
## 構成ウィザード - イベント処理

ソフトウェアは、異なる種類のイベント、実行録画などの特定のアクションの応答を受け取ることができ、FTP など、さまざまなサーバーに警告を送信する... などが可能です

また、ユーザーは”アクショングループ”を作成することができ、ある種類のイベントを特定のカメラに適用が可能です。



イベントアクショングループを作成するには、”アラートグループ設定”タブをクリックして”+”ボタンをクリックします：



## 構成ウィザード – イベント処理

新しいイベントアクショングループが追加されましたが、「詳細設定」のセクションをまだ設定することはできません：

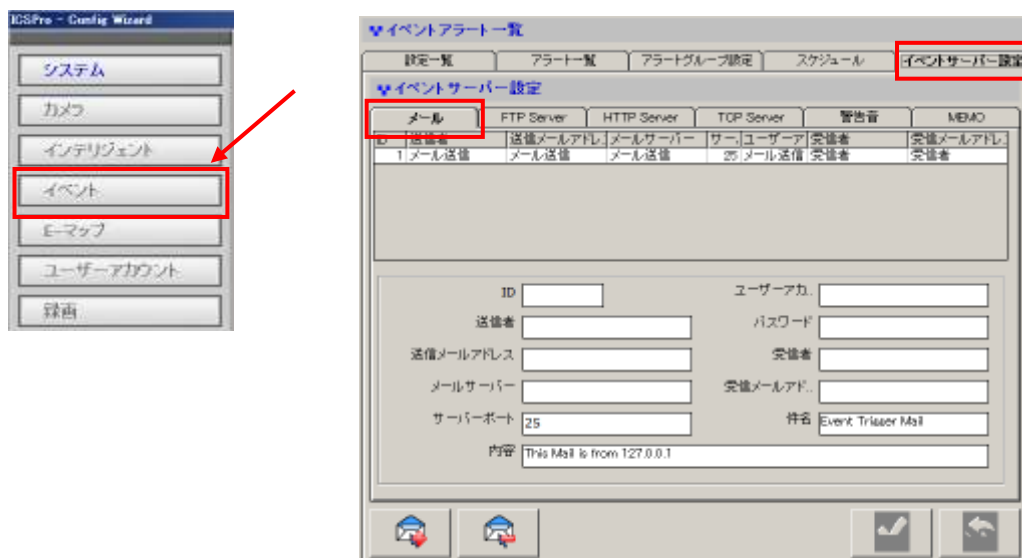


デフォルトでは、すべてのイベントサーバーがグレー表示され、ソフトウェアではまだ使用できません。これらのイベントサーバーの設定は、次のページで説明します。

## 構成ウィザード - イベント処理 (イベントサーバー)

### メールサーバー

メールサーバーは、イベントが起こったとき、指定された受信者に事前に定義されたテキストの内容と警告メールを送信するために使用されます。



メールサーバーを追加するには、下部にある”追加”ボタンをクリックします：



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

次に、以下に示すよう記入します：

The screenshot shows a configuration window for event processing. It contains several input fields for email-related settings:

- ID: 1
- 送信者 (Sender): Sender
- 送信メールアドレス (Sender Email Address): sender@systemk.co.jp
- メールサーバー (Mail Server): best.mailserver.com
- サーバーポート (Server Port): 25
- ユーザーアカ. (User Account): best
- パスワード (Password): www
- 受信者 (Receiver): 受信者
- 受信メールアドレス (Receiver Email Address): recv@systemk.co.jp
- 件名 (Subject): イベント発生通知
- 内容 (Content): イベントが発生しました Time : {\$EVT\_DATE} A event {\$EVT\_NAME} is triggered @ c

At the bottom, there are icons for help, back, and forward, along with red checkmark and cancel buttons.

\*\*"メールサーバー"フィールドには、有効なパブリック IP アドレスまたは FQDN (完全修飾ドメイン名) を入力してください

## FTP サーバー

FTP サーバーは、イベントが起こったとき、指定した FTP サーバーに事前に定義されたテキストの内容やカメラのスナップショットを送信するために使用されます。

The screenshot shows the "ICSPro - Config Wizard" with the "イベント" (Event) option selected in the left sidebar. The main window is titled "イベントサーバー設定" (Event Server Settings) and has several tabs: "メール" (Mail), "FTP Server", "HTTP Server", "TCP Server", "警告音" (Warning Sound), and "MEMO".

The "FTP Server" tab is active, showing a table with the following data:

ID	FTPサーバー	ポート	ユーザーアカ	パスワード	アップロードパス
1	ftp	21	ftpユーザ	/ftp送信	

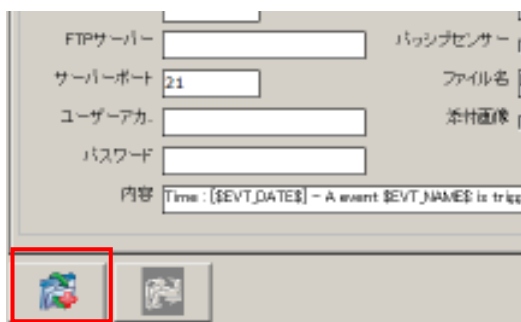
Below the table, there are input fields for:

- ID: [ ]
- FTPサーバー: [ ]
- サーバーポート: 21
- ユーザーアカ.: [ ]
- パスワード: [ ]
- アップロードパス: [ ]
- ハッシュセンサー:
- ファイル名: ICSPro\_Channel {\$EVT\_CH#} {\$EVT\_D#}
- 添付画像:
- 内容 (Content): Time : {\$EVT\_DATE} - A event {\$EVT\_NAME} is triggered @ channel {\$EVT\_CH#} and trig

At the bottom, there are icons for help, back, and forward, along with red checkmark and cancel buttons.

## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

下部にある”追加”ボタンをクリックして FTP サーバーを追加します：

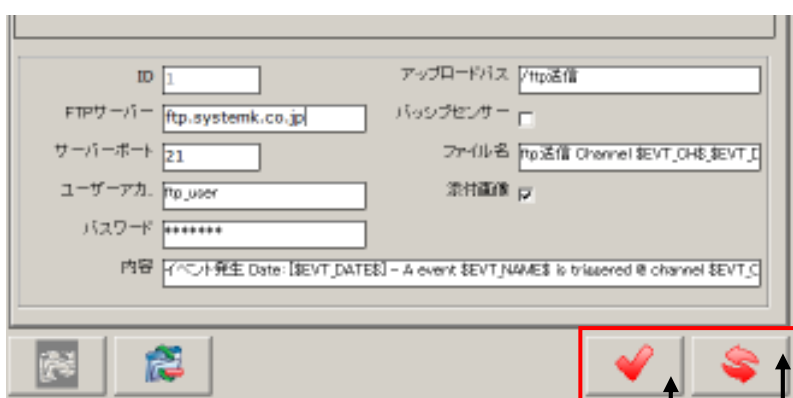


The screenshot shows a configuration form with the following fields:

- FTPサーバー: [Empty]
- サーバーポート: 21
- ユーザーアカ: [Empty]
- パスワード: [Empty]
- アップロードパス: /ftp送信
- バッチセンサー: [Empty]
- ファイル名: ftp送信 Channel \$EVT\_CHE,\$EVT\_ID
- 添付画像: [Empty]
- 内容: Time: [\$EVT\_DATE\$] - A event \$EVT\_NAME\$ is triggered

At the bottom, there are two buttons: a red-bordered button with a plus sign (Add) and a button with a trash can icon (Delete).

空のフィールドを下図のように記入します：



The screenshot shows the same configuration form as above, but with the following values entered:

- ID: 1
- FTPサーバー: ftp.systemk.co.jp
- サーバーポート: 21
- ユーザーアカ: ftp\_user
- パスワード: [Masked]
- アップロードパス: /ftp送信
- バッチセンサー: [Checked]
- ファイル名: ftp送信 Channel \$EVT\_CHE,\$EVT\_ID
- 添付画像: [Checked]
- 内容: イベント発生 Date: [\$EVT\_DATE\$] - A event \$EVT\_NAME\$ is triggered @ channel \$EVT\_C

At the bottom, the red-bordered button with a plus sign (Add) and the button with a trash can icon (Clear) are highlighted with a red box. Arrows point from these buttons to the explanatory text below.

\*”FTP サーバー”フィールドには、有効なパブリック IP アドレスまたは FQDN (完全修飾ドメイン名) を入力してください

\*デフォルトでは、FTP サーバーの最上位レベルのフォルダにアップロードされます。特定のフォルダにアップロードする場合、”アップロードパス”フィールドの”\*/”の後にフォルダ名を入力してください。

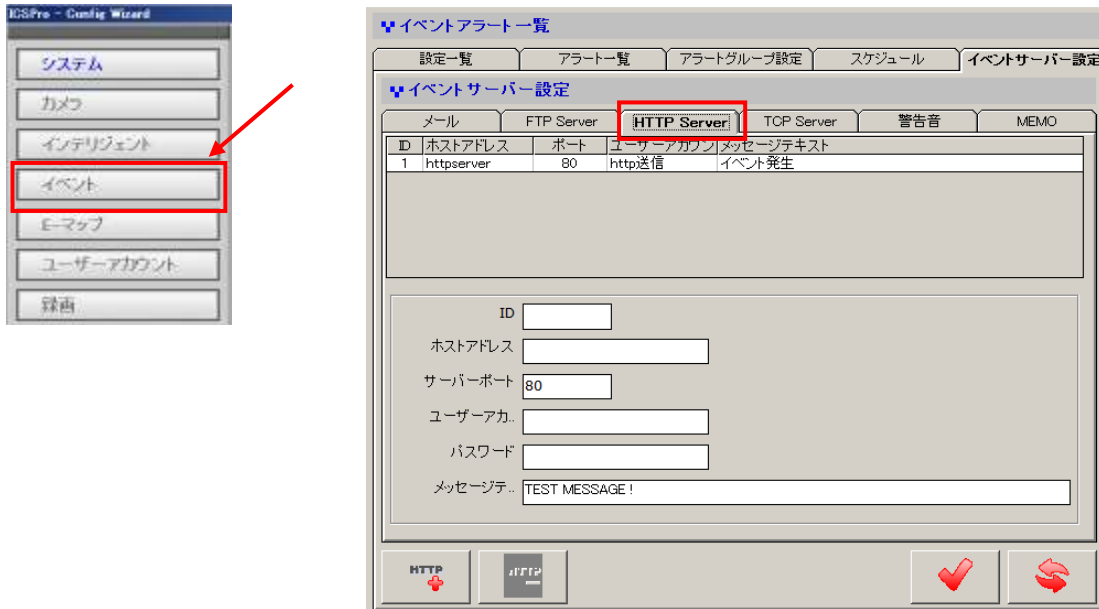
設定をクリア

現在のページの設定を適応

## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

### HTTP サーバー

HTTP サーバーは、イベントが起こったとき、指定した HTTP サーバーに事前に定義されたテキストの内容やカメラのスナップショットを送信するために使用されます。



HTTP サーバーを追加するには、下部にある”追加”ボタンをクリックします：



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

空のフィールドを下図のように記入します：

The screenshot shows the 'HTTP Server' configuration window. At the top, there are tabs for 'メール', 'FTP Server', 'HTTP Server', 'TCP Server', '警告音', and 'MEMO'. Below the tabs is a table with the following data:

ID	ホストアドレス	ポート	ユーザーアカウント	メッセージテキスト
1	httpserver	80	http送信	イベント発生

Below the table, there are input fields for the same fields: ID (1), ホストアドレス (httpserver), サーバーポート (80), ユーザーアカウント (http送信), パスワード (\*\*\*\*\*), and メッセージテキスト (イベント発生). At the bottom, there are buttons for 'HTTP', a red checkmark, and a red refresh icon.

\*"ホストアドレス"フィールドには、有効なパブリック IP アドレスまたは FQDN (完全修飾ドメイン名) を入力してください

## TCP サーバー

TCP サーバーは、イベントが起こったとき、指定した TCP サーバーに事前に定義されたテキストの内容と警告を送信するために使用されます。



The screenshot shows the 'イベントアラート一覧' (Event Alert List) configuration window. At the top, there are tabs for '設定一覧', 'アラート一覧', 'アラートグループ設定', 'スケジュール', and 'イベントサーバー設定'. Below the tabs is a table with the following data:

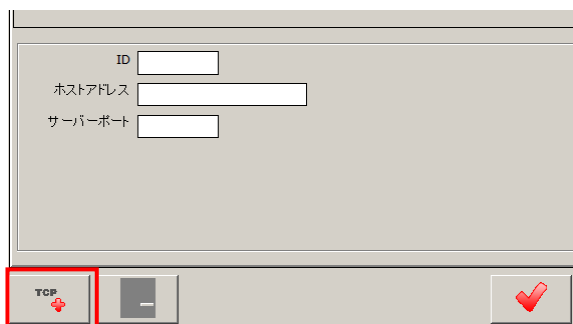
ID	IPアドレス	ポート
1	11111	111
2	121	11111

Below the table, there are input fields for ID, ホストアドレス, and サーバーポート. At the bottom, there are buttons for 'TCP', a red checkmark, and a red refresh icon.



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

TCP サーバーを追加するには、下部にある”追加”ボタンをクリックします：



The screenshot shows a configuration window with three input fields: "ID", "ホストアドレス", and "サーバーポート". The "ID" field contains the number "2". Below the fields is a control bar with three buttons: a "TCP" button with a red plus sign (highlighted with a red box), a minus sign button, and a red checkmark button.

空のフィールドを記入します：



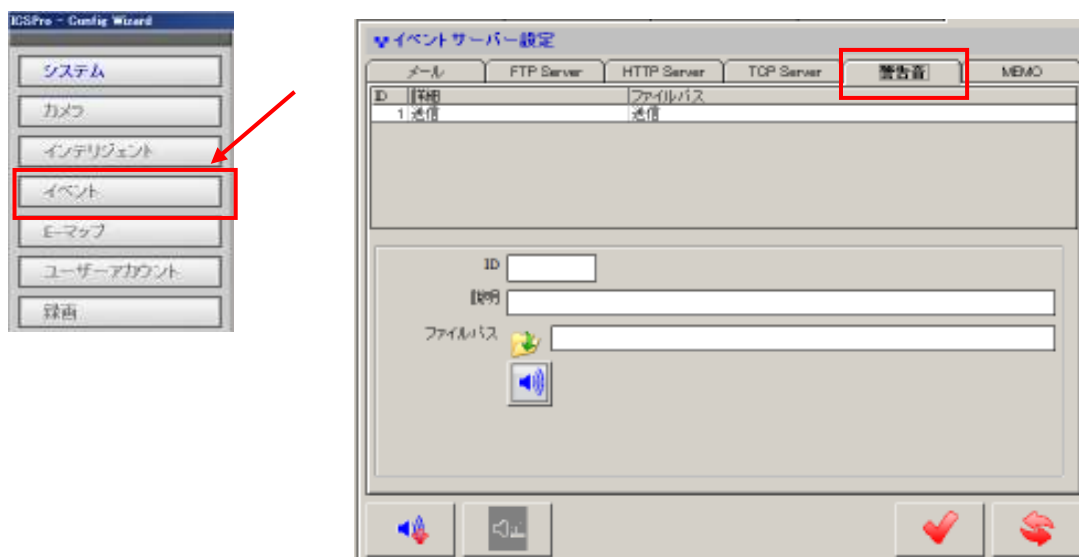
The screenshot shows the same configuration window as above. The "ID" field now contains the number "2". The "ホストアドレス" and "サーバーポート" fields are empty. In the control bar, the "TCP" button (with a red minus sign) is now selected, and the red checkmark button is visible.

\*\*"ホストアドレス"フィールドには、有効なパブリック IP アドレスまたは FQDN (完全修飾ドメイン名) を入力してください

## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

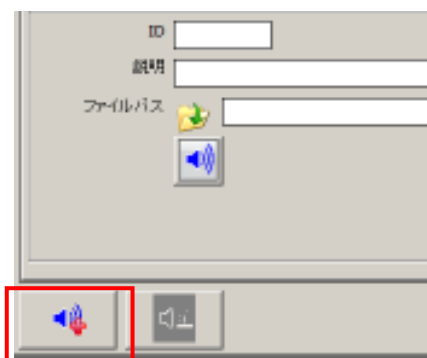
### 警告音

ユーザーは、ソフトウェアに音声ファイルを設定することができ、イベントが引き起こされたときに再生することができます。



\*wav ファイルのみサポート

設定するには、下部にある”追加”ボタンをクリックします：



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)


“説明”フィールドに警告音の説明を入力します (下図参照) :


ID	詳細	ファイルパス
1	送信	送信

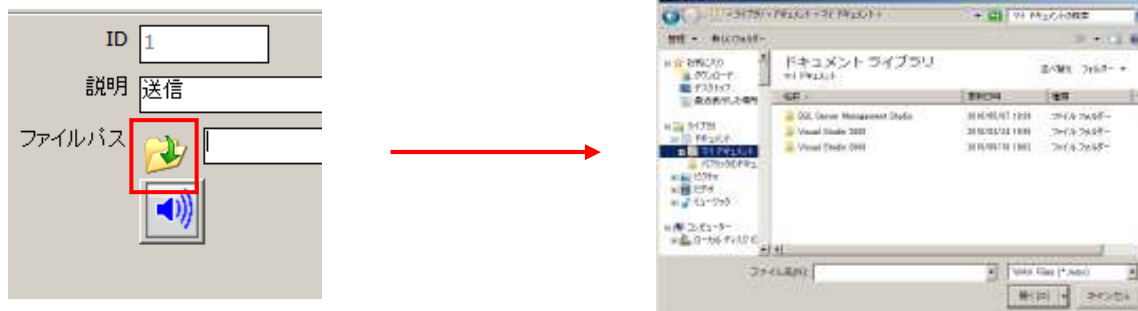
ID

説明

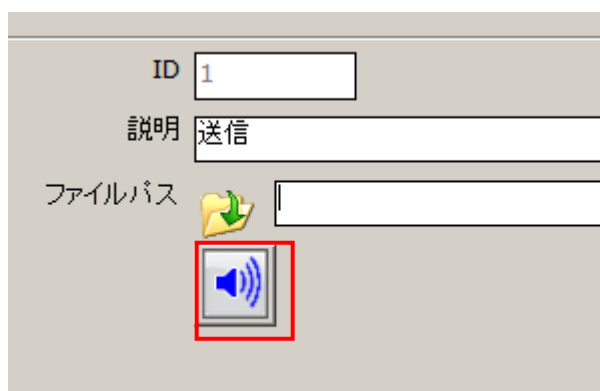
ファイルパス 



“フォルダ”アイコンをクリックし、音声ファイルを検索します :



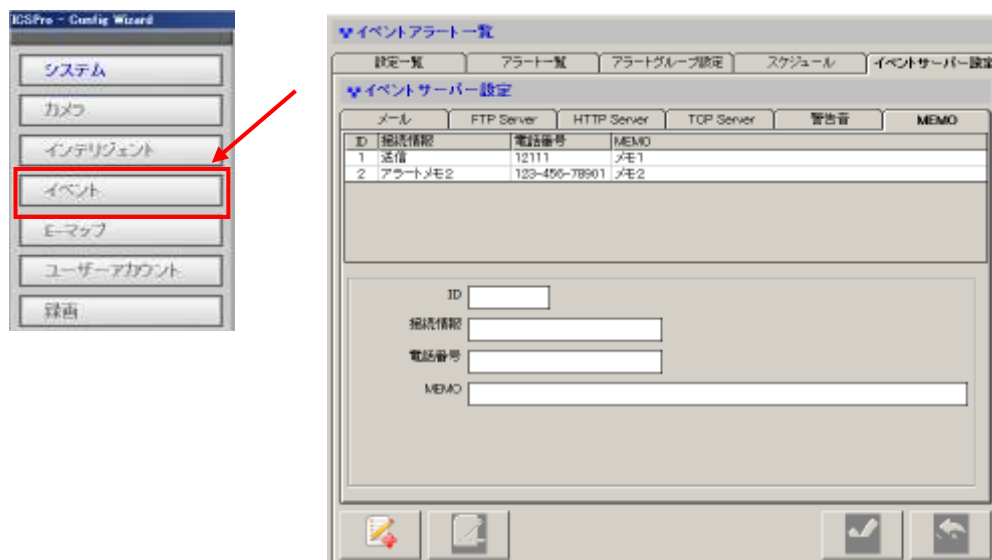
新しい設定を適用する前に、“スピーカー”ボタンをクリックして音声をプレビューできます :



## 構成ウィザード - イベント処理 (イベントサーバー)

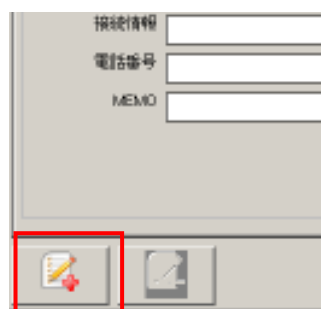
### MEMO

これは、ユーザーが緊急の連絡先情報を作成し、特定のカメラに割り当てることができます。この情報は、特定のカメラを選択すると、「E-マップモニター」でリモートクライアントビューアのプログラムを表示します：



\*” E-マップモニター”を使用する方法については110ページを参照してください。

情報を追加するには追加ボタンをクリックします：



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントサーバー)

目的の情報を空のフィールドに入力します：

ID	<input type="text" value="2"/>
接続情報	<input type="text" value="アラートメモ2"/>
電話番号	<input type="text" value="123-456-78901"/>
MEMO	<input type="text" value="メモ2"/>

### アクショングループを構成し終える

一度すべてのイベントサーバーを設定すると、”アラートグループ設定”タブに移動することができます。1. 特定のイベントアクショングループの目的のイベントサーバーを選択して、2. ”詳細設定”で追加するサーバーをチェック、3. 更新ボタンを押して、セクションを終了します：

ID	状態	FTP	メール	HTTP	TCP	警告音	連絡先
1	○	X	X	X	X	○	○
2	○	X	X	X	X	X	○
3	○	○	○	○	X	X	X

詳細設定

ID:  日付形式

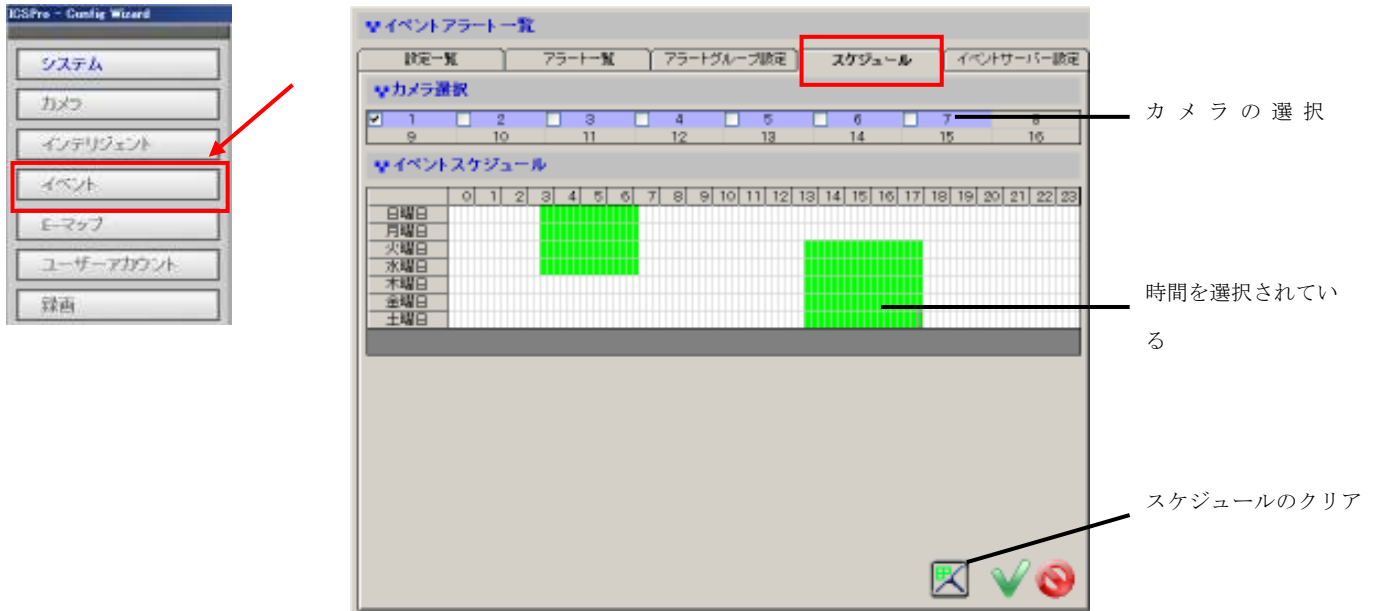
FTP:   TCP:

メール:   警告音:

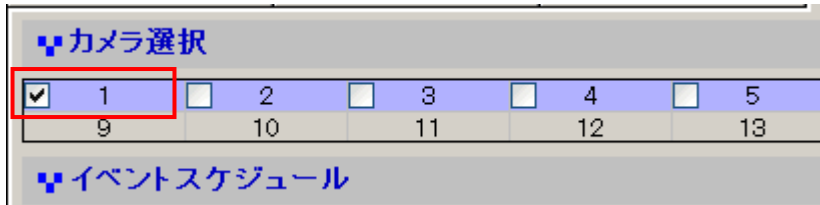
HTTP:   MEMO:

# 構成ウィザード - イベント処理 (イベントトリガースケジュール)

ソフトウェアは1カメラあたり1つのスケジュールの設定をユーザーに提供します。定義されたスケジュールの間に引き起こされたイベントトリガーだけがイベントとして扱われ、設定したイベント操作が引き起こされます。

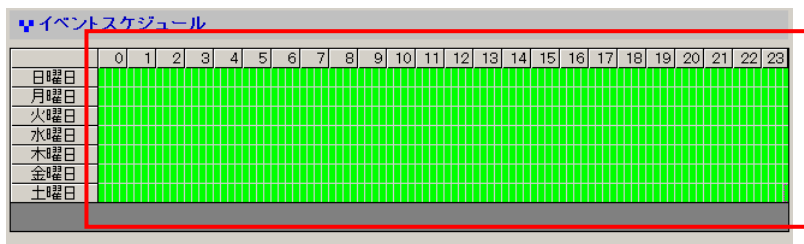


特定のカメラにイベントのスケジュールを設定するには、上から1つを選択します。(利用可能なカメラ番号の隣のチェックボックス) :



## 構成ウィザード – イベント処理 (イベントトリガースケジュール)

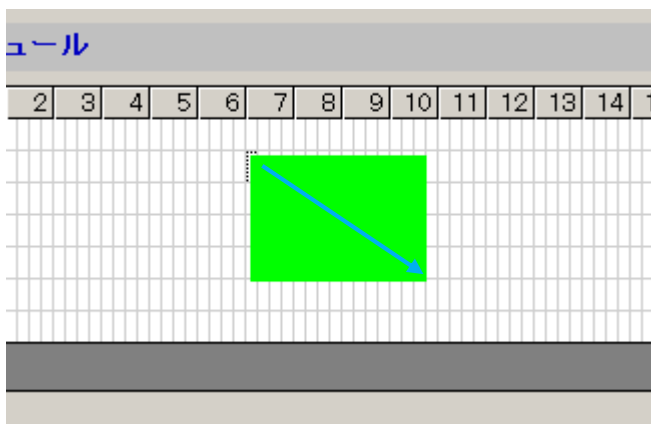
デフォルトでは、スケジュールは全てに設定されています：



デフォルトの設定をクリアするには、以下の”クリア”ボタンをクリックします：



イベントトリガーのための時間または日数を追加するためには、マウスをクリックしたまま左から右にカーソルを移動します：



\*マウスをクリックしたまま右から左に(水平方向または斜め) 移動すると、以前に追加した時間/日が消去されます。

## 構成ウィザード - E-マップ (概要)

ソフトウェアは、複数階層構造の E-マップの機能を提供します。ユーザーは複数のカメラをマップ上に配置したグループを作成することができます。そのグループは他のマップ上にも配置することができます。複数のカメラグループを含むグループを作成し、その新しいグループをさまざまなマップの上に追加することもできます。

ウィザードの”E-マップ”の設定ページをアクセスするとき、”設定一覧”ページの最初にアクセスする必要があります：

E-マップの種類

座標に基づいたカメラまたはカメラのグループの位置

すべての E-マップを表示      カメラのみの E-マップを表示      カメラのグループのみの E-マップを表示

ID	タイプ	名称	関連	位置 X	位置 Y	方向
0	マップ	Home	0	0.0	0.0	0
1	マップ	グループ #0	0	51.0	65.0	0
1	カメラ	カメラ # 1 ACTI ACM1231	1	51.0	77.0	3
2	カメラ	カメラ # 2 Pana	0	14.0	77.0	3
3	カメラ	ACTI ACM5001	0	75.0	38.0	4
4	カメラ	Panasonic BB-HCM100	1	75.0	38.0	7
5	カメラ	ACTI ACD2200	0	68.0	79.0	3
6	カメラ	Mobotix Q22M	0	68.0	79.0	7
7	カメラ	MOBOTIX M22M	0	71.0	78.0	3

\*カメラとカメラのグループは E-マップの同じ階層に存在することができます

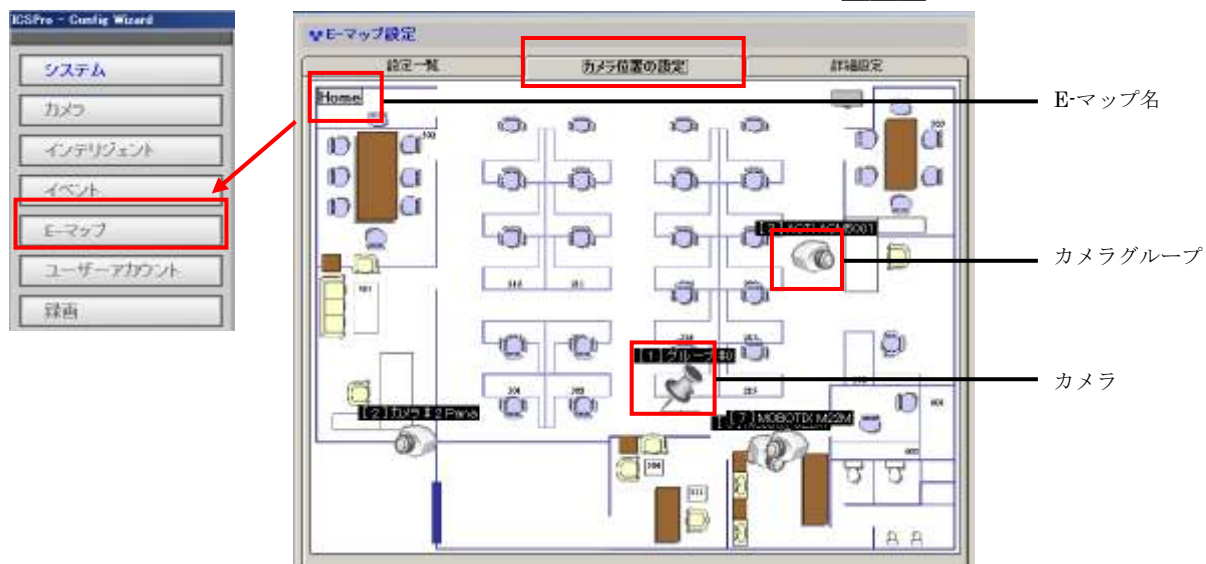
\*ICSPro Lite は、E-マップの 2 層のみをサポートします。

\*ICSPro は、E-マップの無制限の階層をサポートしています。



## 構成ウィザード - E-マップ (カメラ位置の設定)

このページは E-マップの最終的な設定ページです。すべての E-マップ、それぞれのカメラまたはカメラグループの位置を表示します。

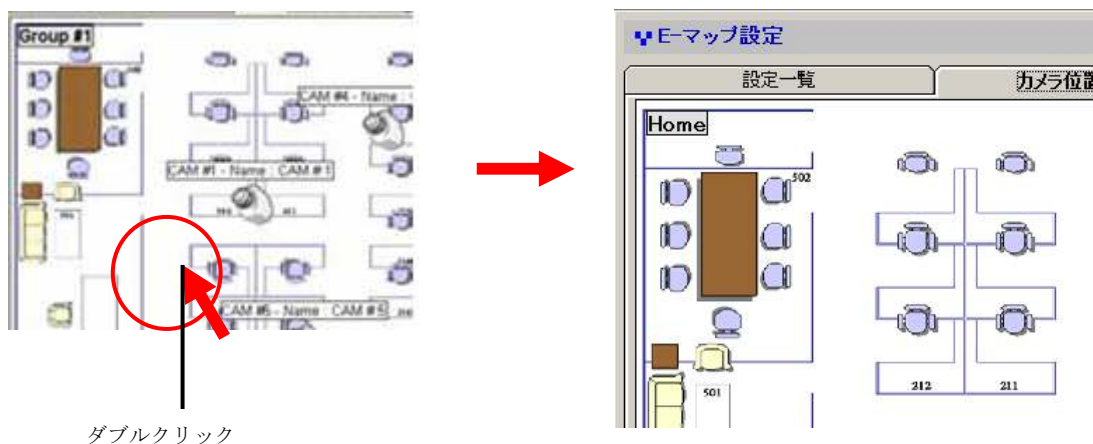


“カメラのグループ” (例：グループ 1) アイコンをダブルクリックし、位置を表すように指示します。

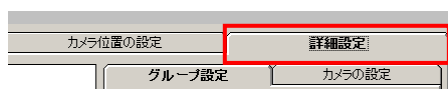


## 構成ウィザード - E-マップ (カメラ位置の設定)

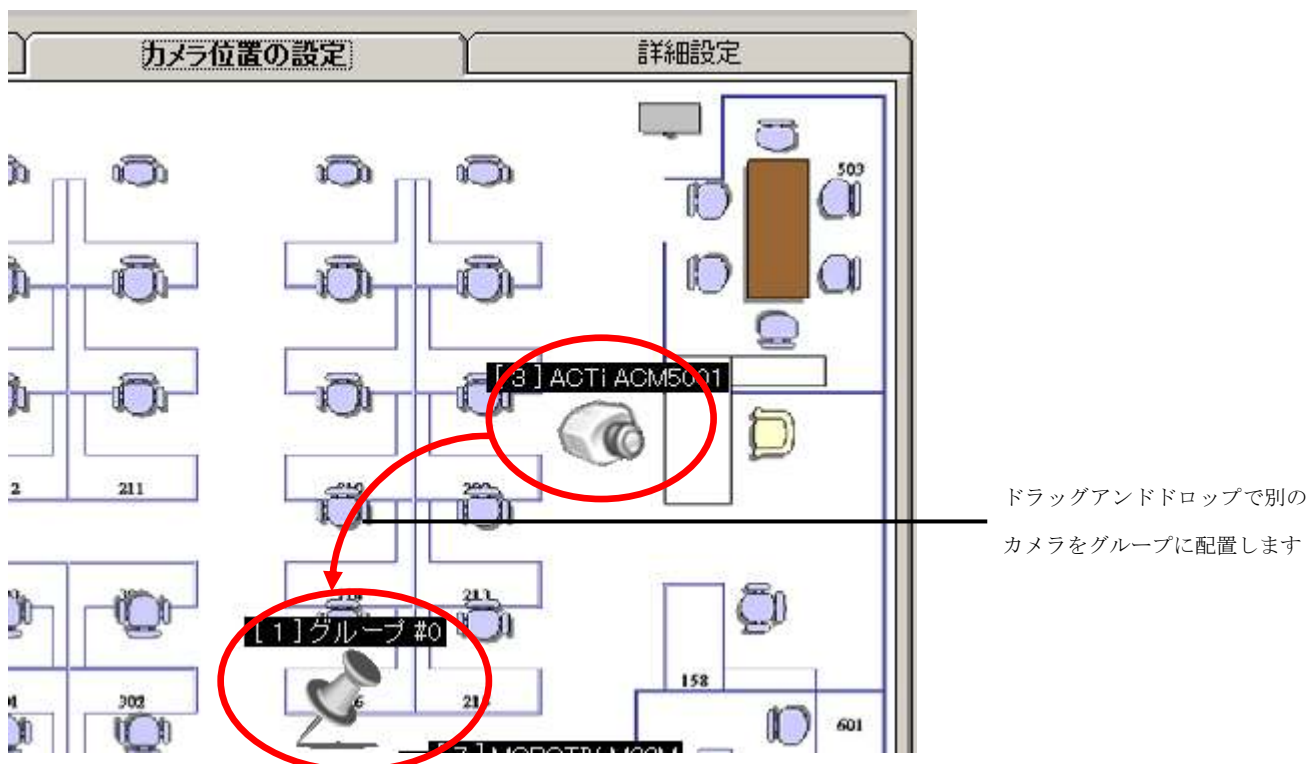
前の層に移動するには、現在のレイヤーのマップ上のどこかをダブルクリックします：



\*各カメラ (またはカメラグループ) の位置を再度このページに配置することはできません。これは”詳細設定”ページのみで行うことができます。



カメラアイコンをクリック、ドラッグ&ドロップカメラすることで、カメラをページ上の新しいカメラのグループ (同じ層の上にあるグループ) に配置することができます：



## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

このページでは、ユーザーが E-マップのイメージ、新しいカメラのグループ、各カメラ (またはカメラグループの位置) を定義することができます。

このスクリーンショットは、ICSProの構成ウィザードの「E-マップ設定」画面を示しています。左側のメニューで「E-マップ」が選択されています。右側のメイン画面には、カメラグループの構成とカメラの位置が設定できるインターフェースが提供されています。

- トップグループ
- カメラグループ (サブ E-マップ層)
- カメラグループ内のカメラ
- カメラグループ以外のカメラ

デフォルトでは、すべてのカメラは、次に示すように左側のツリービューの一覧で表示されます。カメラは”ホーム”グループ (またはグループ #1) の下に表示されます：

このスクリーンショットは、E-マップ設定のツリービューを示しています。カメラは「グループ #0: Home」の下に「グループ #1」の下に表示されています。

- グループ #0: Home
  - グループ #1: グループ #1
    - カメラ #1: カメラ #1 ACTI ACM12
    - カメラ #4: Panasonic BB-HCM10
  - カメラ #2: カメラ #2 Pana
  - カメラ #3: ACTI ACM5001
  - カメラ #5: ACTI ACD2200
  - カメラ #6: Mobotix Q22M
  - カメラ #7: MOBOTIX M22M

## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

### 構成 E-マップカメラグループ

新しいグループを作成するには、以下のように”新しいグループを追加”ボタンをクリックします：



使用可能な次のグループ ID とグループ名が自動的に対応するフィールドに記入されます。別のグループのサブグループとしてこのグループを構成したいなら、”所属グループ”ドロップダウンメニューからメイングループを選択します：

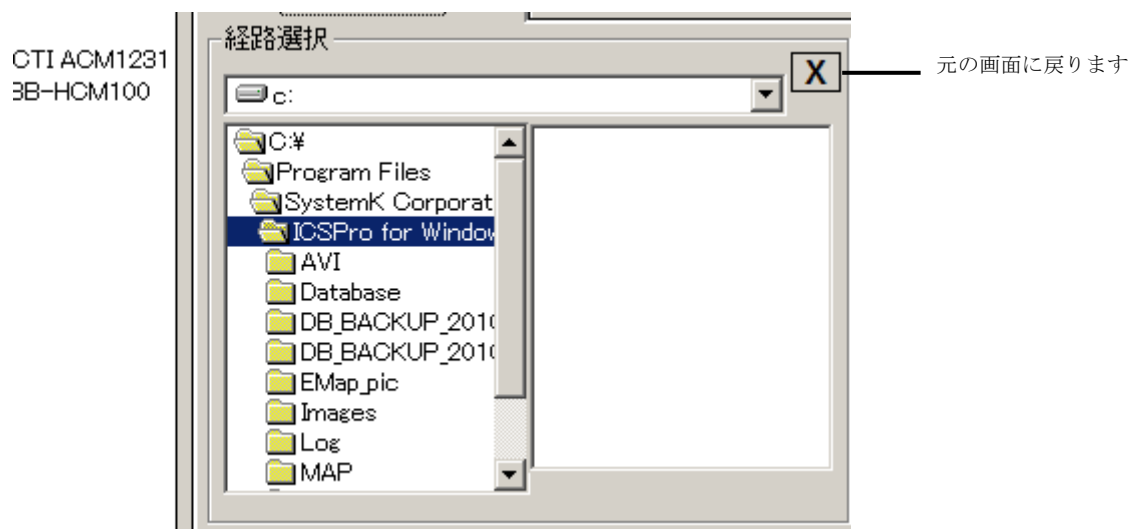


## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

マップイメージを変更するには、アイコンをクリックします：



次に、新しいマップイメージを検索します：




## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

”カメラのグループ”アイコンをクリックし、マウスをドラッグしてマップ上の目的の位置を決定します。

位置を決定するためにマップ上のアイコンを移動します

ID

名称

所属グループ  

## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

### カメラの設定

”所属グループ”ドロップダウンメニューに存在する希望のカメラグループを選択します。“カメラ”と”名前”フィールドは自動的に入力されます：



新しい位置を決定するために、カメラのアイコンをクリック、ドラッグします：



マップ上の位置を決定するためにアイコンを移動します

## 構成ウィザード - E-マップの設定 (詳細)

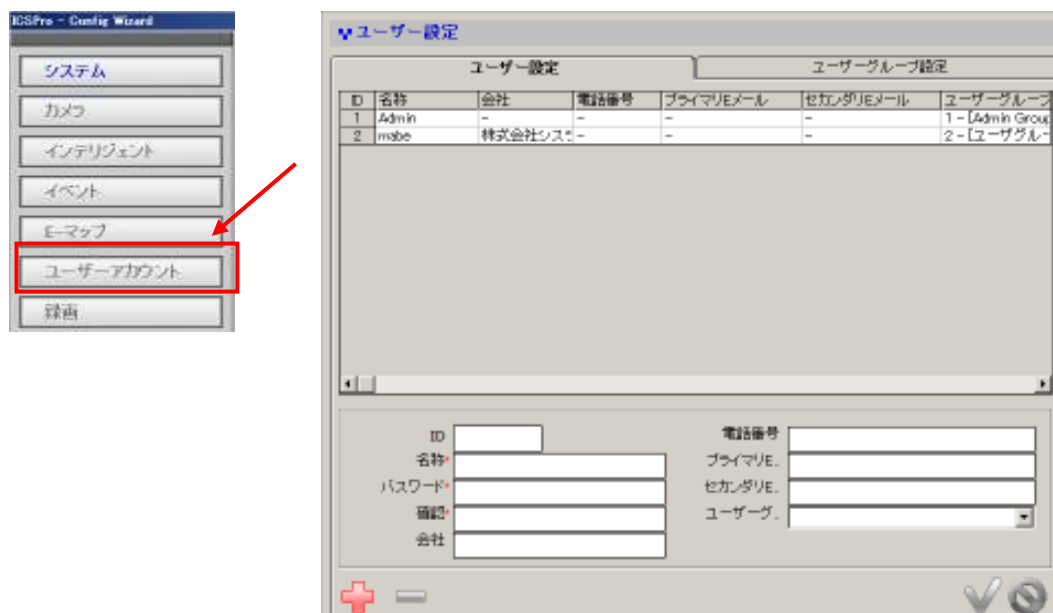
また、”方向”ドロップダウンメニューで、実際にセットアップした方向と同じように、マップ上のカメラの方向を変更することができます：





## 構成ウィザード - ユーザーアカウント

ソフトウェアは、ユーザーごとにアクセス権を設定、別のユーザーグループに割り当てるオプションを提供しています。複数のユーザーアカウントを作成することができ、ユーザーごとにアクセス権を決定するために異なるユーザーグループを割り当てることができます。



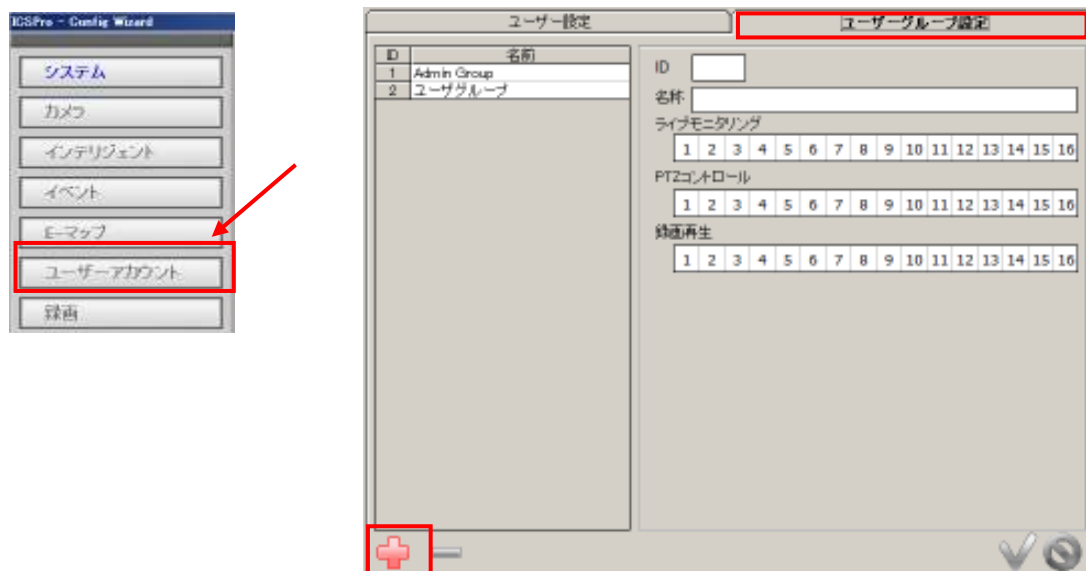
\* デフォルトでは、作成された任意のアカウントまたはユーザーグループを持っていません。ソフトウェアへの不正アクセスを防ぐためにユーザーアカウントを作成することを推奨します。

\* アクセス権の無いグループアカウントを作成することや、ユーザーを割り当てることをしないでください。  
ソフトウェアにアクセス制限をかけると、次回より認証情報を求められます。

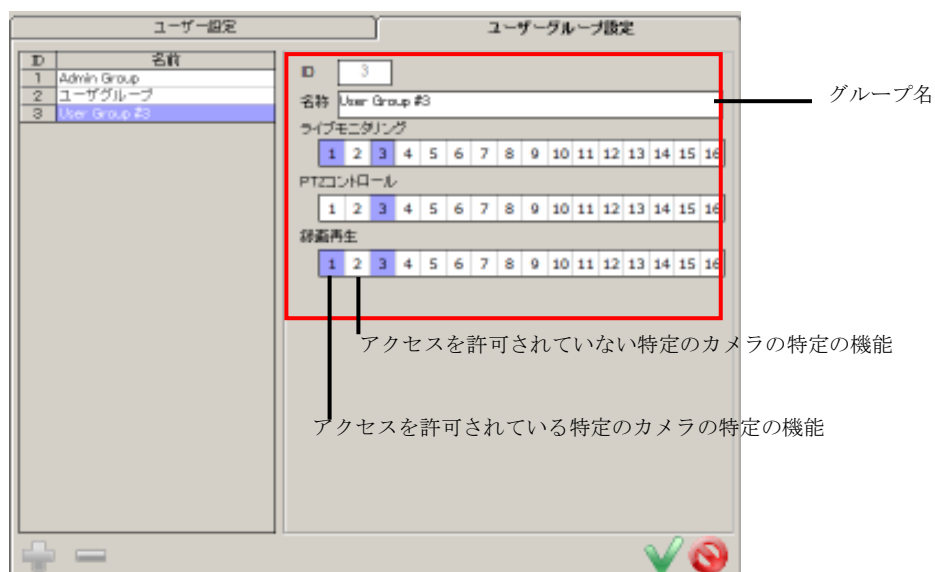
\* ユーザーグループを作成するまでユーザーアカウントを作成できません(初期は"Admin"グループです)。

## 構成ウィザード - ユーザーアカウント (ユーザーグループ)

新規にユーザーグループのアカウントを作成するには、「ユーザーグループ設定」タブをクリックして下部にある「グループ追加」ボタンをクリックします：



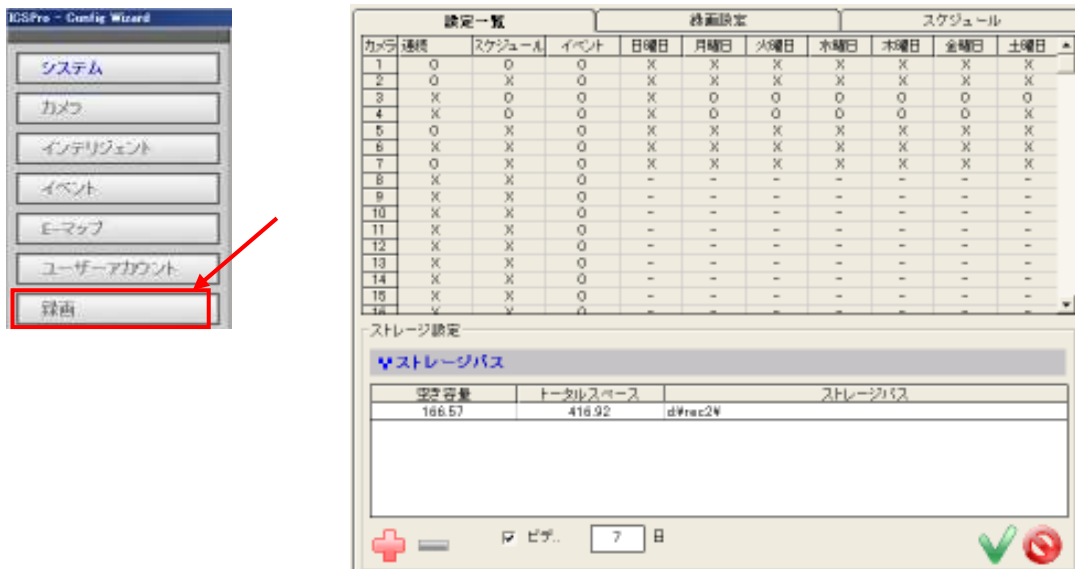
新しいグループへアクセス権限を割り当てることができ、グループの名前を変更することもできます。:



## 構成ウィザード - 録画

録画設定ページは、ユーザーが以下の項目を設定することができます：

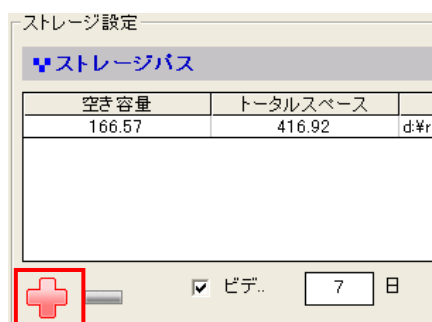
- \* 即座に録画の特定の種別を有効/無効にする
- \* 録画用のストレージパス（ローカルサーバでしか対応できません）
- \* 各カメラ上の各録画タイプの録画用フレームレート
- \* 予備アラーム/ポストアラームの時刻
- \* スケジュール録画



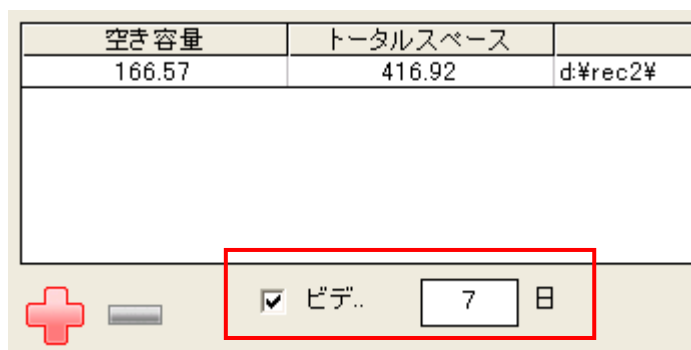
最初に各カメラの現在の録画の構成と、ストレージパスを表示する概要ページを表示する必要があります。

## 構成ウィザード – 録画

新しいストレージパスを追加するには”追加”ボタン（下図参照）をクリックします：



ダイアログが表示され、録画データを格納する新しいパスを選択することができます：  
また、任意の日数でデータを録画するように構成することができます：



## 構成ウィザード - 録画（設定）

”録画設定”のページ設定で詳細録画の設定を構成できます。このページでは、以下の項目を設定することができます：

- \* 録画モードの有効/無効
- \* 録画用フレームレート
- \* 予備アラーム/ポストアラーム時間

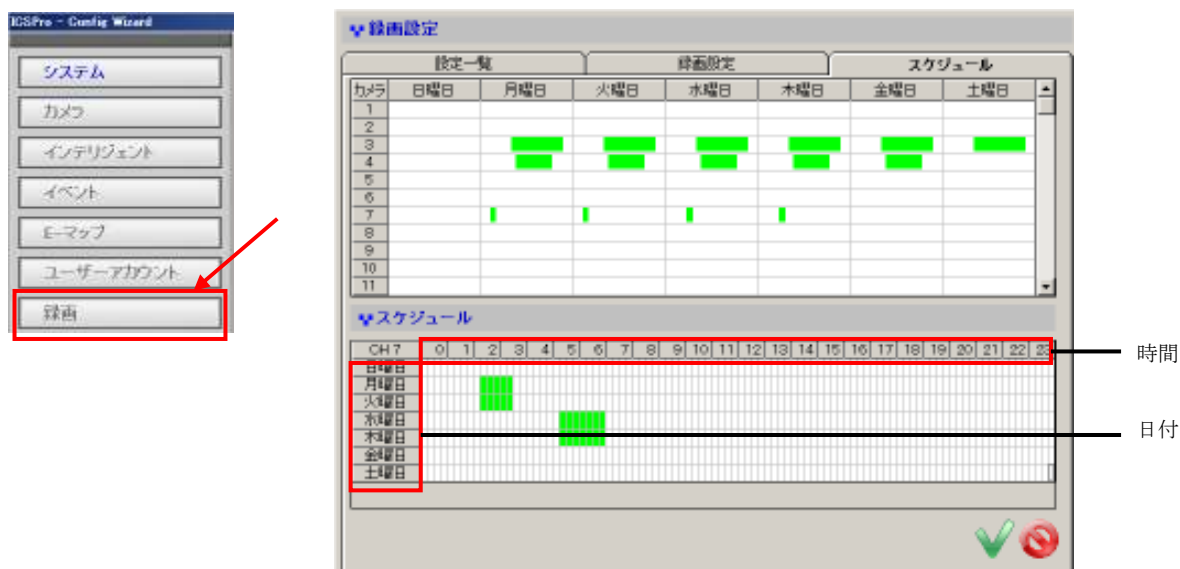
DH	連続	スケジュール	イベント
1	○	○	○
2	○	×	○
3	×	○	○
4	×	○	○
5	○	×	○
6	×	×	○
7	○	×	○
8	×	×	○
9	×	×	○
10	×	×	○
11	×	×	○
12	×	×	○
13	×	×	○
14	×	×	○
15	×	×	○
16	×	×	○

\* “FPS” は選択されたカメラのビデオ形式が MJPEG 形式な場合にのみ利用可能です。

\* “I/P フレーム” は選択したカメラのビデオフォーマットが MPEG4 や H.264 利用可能な場合にのみ有効です。

## 構成ウィザード - 録画（スケジュール）

スケジュール録画は、ユーザーが自動的に録画の開始、停止する時間を設定できます：



特定のカメラにスケジュール録画を設定するために、左上隅の”カメラ”列からカメラをクリックします。次に、”スケジュール”セクションで選択したカメラの録画スケジュールを編集します：



## 構成ウィザード - 録画 (スケジュール)

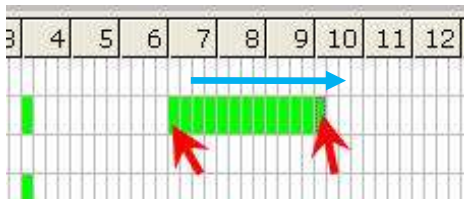
次に、スケジュール表のセルのボックスをクリックして録画時間を設定します。選択したセルのボックスは録画を緑色でマークされます。:

▼スケジュール							
CH 7	0	1	2	3	4	5	6
日曜日							
月曜日			■	■			
火曜日			■	■			
水曜日						■	■
木曜日						■	■
金曜日							
土曜日							

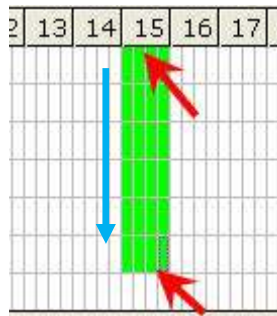
\* 各セルボックスは 15 分を表す

特定の日に連続時間で録画する設定をするために、セルのボックス(開始点として)をクリックし、マウスを押したまま水平方向に移動します。

特定の時間帯に日連続で録画する設定をするために、セルのボックス (開始点として) をクリックし、マウスを押したまま垂直方向に移動します。



連続して時間を設定するために、クリックしマウスを水平方向にドラッグします



連続した日に設定するために、クリックしマウスを垂直方向にドラッグします

録画予約済みのセルの上で右クリック、右ドラッグをすることで録画予約がクリアされます。



## 構成ウィザード - POS

この機能は現在のバージョンでは利用できません。  
次期バージョンで対応予定ですので利用しないでください





## 構成ウィザード - レポート

ソフトウェアはイベントログのレポート出力機能を提供します：

利用可能なカメラ

使用できないカメラ

出力フォルダ

開始時間と終了時間


出力ファイル形式選択

クリックしてレポート出力プロセスを開始します

出力パスを変更はここ

エクスポートの進行状況

レポート出力手順は次のとおりです：

- \* レポート出力するイベントの対象カメラを”カメラリスト”から選択します
- \* デフォルトの出力フォルダを変更するか決定します
- \* 開始時間を設定します
- \* 終了時間を設定します
- \* 出力形式を選択します
- \* 出力プロセスを開始するために  をクリックします

プロセスが完了すると通知され、保存されたファイル名と出力フォルダが表示されます：



\* この機能は ICS Pro Lite では利用できません。

## 構成ウィザード - バックアップ


ソフトウェアはバックアップ機能を提供します。以下にバックアップ可能な事項を示します：

- \* メディアデータベース：データベースの形式で録画されたデータ
- \* AVI ファイルのエクスポート：AVI ファイル形式にエクスポートした録画データ
- \* 構成：ソフトウェアの構成ファイル

The screenshot shows the 'バックアップ' (Backup) wizard. On the left, a sidebar menu has 'バックアップ' highlighted. The main window is divided into sections: 'メディアデータベース' (Media Database), 'カメラリスト' (Camera List), 'バックアップフォルダ' (Backup Folder), and '開始時間とバックアップファイルの時間の長さ' (Start Time and Backup File Length). The 'カメラリスト' table has 16 columns, with columns 1-8 marked as '利用可能なカメラ' (Available Camera) and columns 9-16 as '使用できないカメラ' (Unavailable Camera). The 'バックアップフォルダ' section shows a file explorer view of 'C:\Program Files\SystemK Corporation\ICSPro for Windows'. The '開始時間とバックアップファイルの時間の長さ' section has '開始時間' (Start Time) set to 2010/05/24 12:17:00 and '終了時間' (End Time) set to 2010/05/24 13:17:00. The '出力時間(分)' (Output Time (min)) is set to 1. The 'エクスポート状況' (Export Status) is 0%. A 'スタート' (Start) button is at the bottom right. Annotations with arrows point to these elements: 'バックアップパスを変更はここ' (Change backup path here), 'バックアップの進行状況' (Backup progress status), '利用可能なカメラ' (Available camera), '使用できないカメラ' (Unavailable camera), 'バックアップフォルダ' (Backup folder), '開始時間とバックアップファイルの時間の長さ' (Start time and backup file length), 'クリックしてバックアッププロセスを開始します' (Click to start backup process), and 'バックアップパスを変更はここ' (Change backup path here).

## バックアップメディアのデータベース

メディアデータベースのバックアップ手順は次のとおりです：

- \* 自分のメディアデータベースをバックアップするために"カメラリスト"からカメラを選択します
- \* デフォルトのバックアップフォルダを変更するか決定します
- \* 開始時間を設定します
- \* 終了時間を設定または"エクスポート"の長さを選択します
- \* バックアッププロセスを開始するために  をクリックします

プロセスが完了すると通知され、保存されたファイル名とバックアップフォルダが表示されます：

# 構成ウィザード - バックアップ

## AVI ファイルのエクスポート

ソフトウェアは、1つまたは複数のカメラの録画されたバックアップファイルを AVI ファイル形式にエクスポートします。ファイルは、バンドルされてメディアプレーヤーで再生することができます。

The screenshot shows the 'バックアップ' (Backup) window with the 'AVI出力' (AVI Output) tab selected. On the left, a sidebar menu has 'バックアップ' highlighted. The main area contains a 'カメラリスト' (Camera List) table, export time settings, and a progress bar.

カメラ	1	2	3	4	5	6	7	8
利用可能なカメラ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
使用できないカメラ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	10	11	12	13	14	15	16	17
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-

開始時間: 2010/05/24 12:17:09  
終了時間: 2010/05/24 13:17:09  
出力時間(分): 1  
最大AVIファイル容量: 640  
エクスポート状況: 0%

バックアップの進行状況

利用可能なカメラ

使用できないカメラ

開始時間とバックアップファイルの時間の長さ


クリックしてバックアッププロセスを開始します

\*デフォルトのフォルダは

C:\Program Files\SystemK Corporation\ICSPro for Windows\AVI  
になります。これは変更をすることはできません。

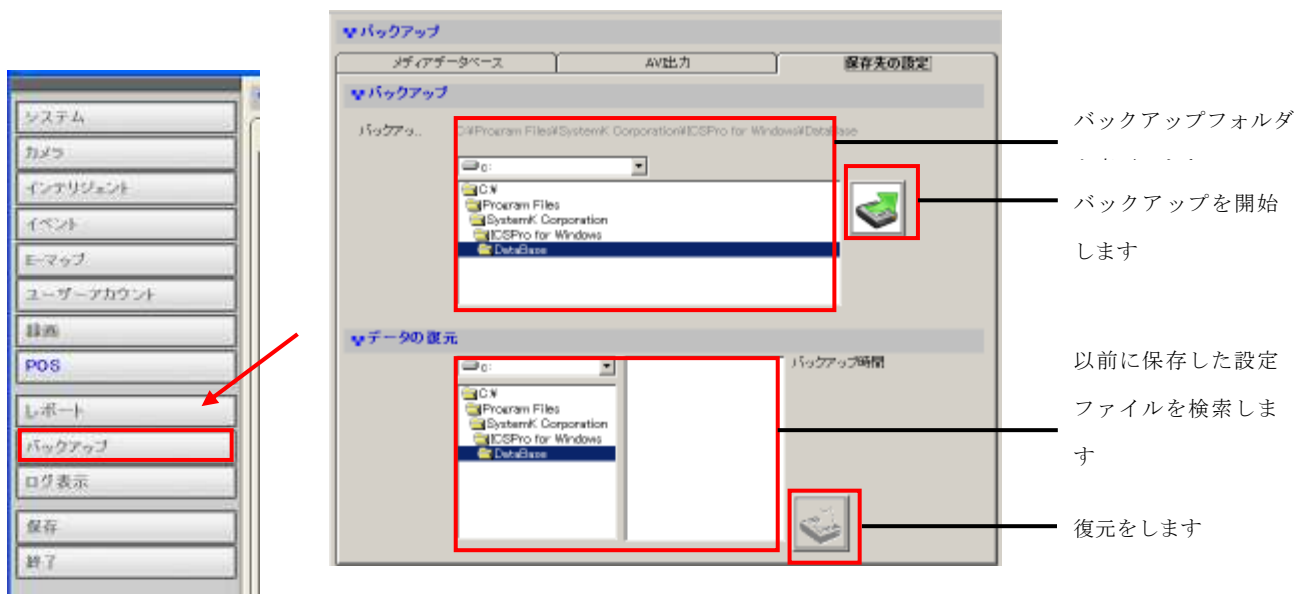
## 構成ウィザード – バックアップ

AVI ファイルに録画したビデオをエクスポートする手順は次のとおりです：

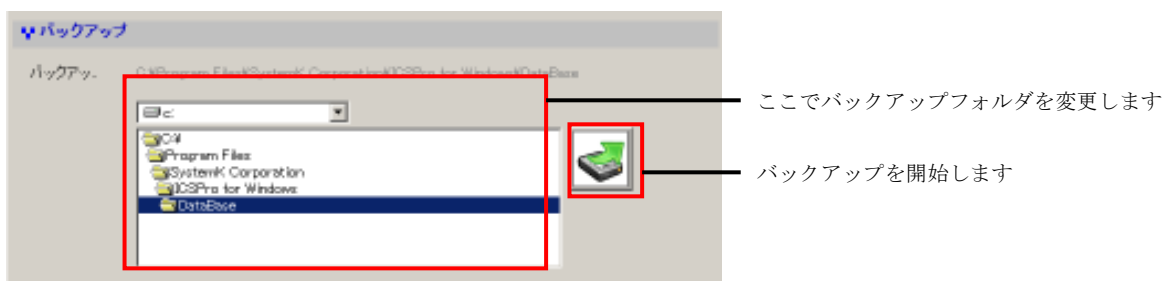
- \* AVI ファイルをエクスポートするために”カメラリスト”からカメラを選択します
- \* “開始時間”を設定します
- \* “終了時間”を設定するまたは”期間時間”を選択します
- \*  をクリックしてバックアッププロセスを開始します

### 構成のバックアップ

“設定”ページでは、現在の設定をバックアップすることができ、以前に保存した設定ファイルを復元することができます。

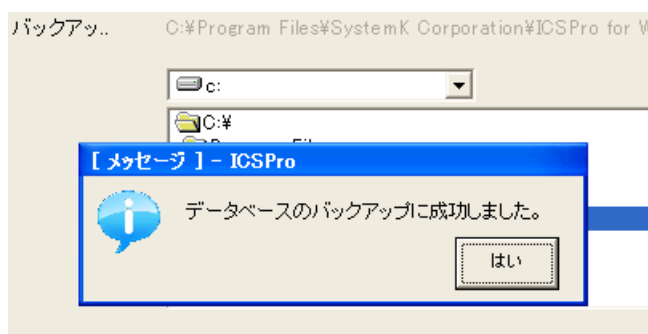


構成ファイルをバックアップするためには、保存した構成ファイルを選択し、”バックアップ”を選択します：

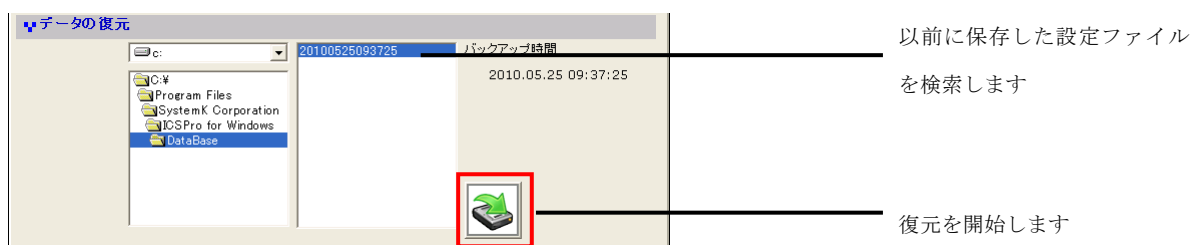


## 構成ウィザード – バックアップ

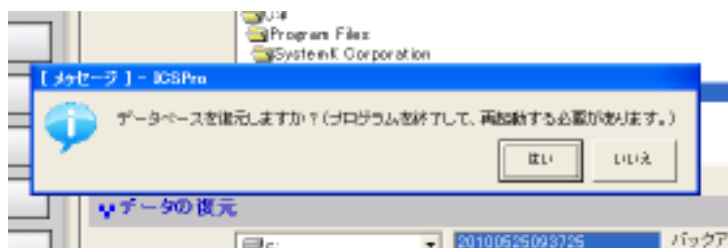
バックアップが正常に完了すると通知されます（下図参照）：



以前に保存した設定を復元するには検索後に”復元”をクリックします：



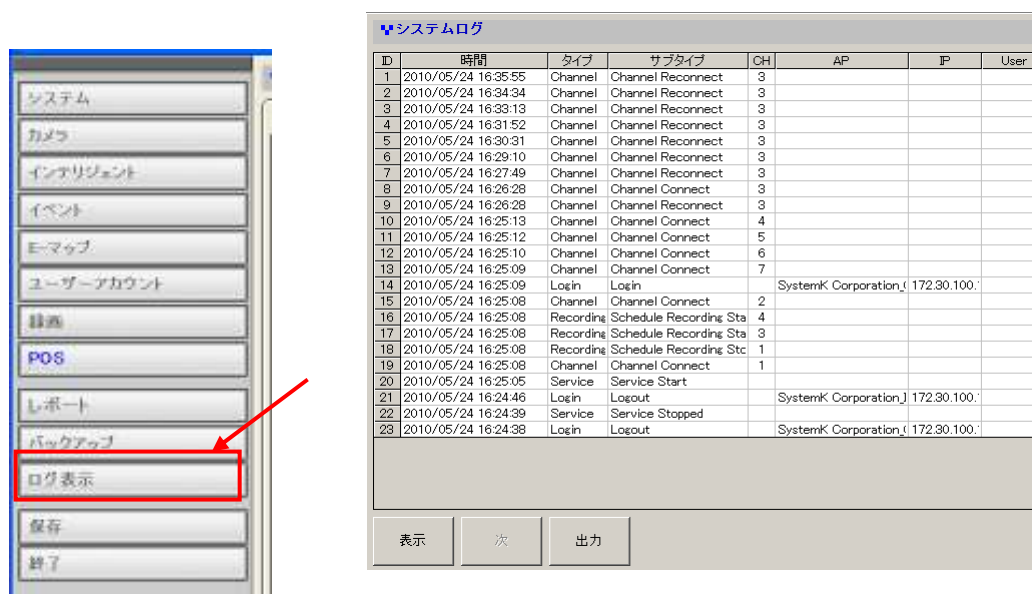
復元プロセス：（下図参照）を確認するメッセージが表示する必要があります：



“はい”をクリックして、復元を完了するために設定ウィザードを再起動します。

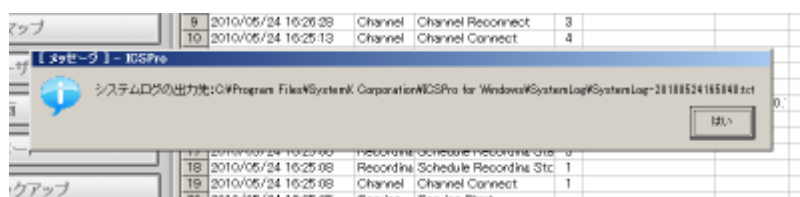
## 構成ウィザード - ログ表示

ソフトウェアはユーザーが何かを操作するときに詳細なログを録画します：



ID	時間	タイプ	サブタイプ	CH	AP	IP	User
1	2010/05/24 16:35:55	Channel	Channel Reconnect	3			
2	2010/05/24 16:34:34	Channel	Channel Reconnect	3			
3	2010/05/24 16:33:13	Channel	Channel Reconnect	3			
4	2010/05/24 16:31:52	Channel	Channel Reconnect	3			
5	2010/05/24 16:30:31	Channel	Channel Reconnect	3			
6	2010/05/24 16:29:10	Channel	Channel Reconnect	3			
7	2010/05/24 16:27:49	Channel	Channel Reconnect	3			
8	2010/05/24 16:26:28	Channel	Channel Connect	3			
9	2010/05/24 16:26:28	Channel	Channel Reconnect	3			
10	2010/05/24 16:25:13	Channel	Channel Connect	4			
11	2010/05/24 16:25:12	Channel	Channel Connect	5			
12	2010/05/24 16:25:10	Channel	Channel Connect	6			
13	2010/05/24 16:25:09	Channel	Channel Connect	7			
14	2010/05/24 16:25:09	Login	Login		SystemK Corporation,	172.30.100.:	
15	2010/05/24 16:25:08	Channel	Channel Connect	2			
16	2010/05/24 16:25:08	Recording	Schedule Recording Sta	4			
17	2010/05/24 16:25:08	Recording	Schedule Recording Sta	3			
18	2010/05/24 16:25:08	Recording	Schedule Recording Stc	1			
19	2010/05/24 16:25:08	Channel	Channel Connect	1			
20	2010/05/24 16:25:05	Service	Service Start				
21	2010/05/24 16:24:46	Login	Logout		SystemK Corporation,	172.30.100.:	
22	2010/05/24 16:24:39	Service	Service Stopped				
23	2010/05/24 16:24:38	Login	Logout		SystemK Corporation,	172.30.100.:	

ログファイルをテキストファイルにエクスポートするには、”出力”をクリックします。成功すると、ファイルが保存されたフォルダが表示されます：



システムログの出力先: C:\Program Files\SystemK Corporation\NCSPro for Windows\SystemLog\SystemLog-20100524165048.txt

はい

## クライアントビューア - ログイン

クライアントビューアは、ICSPro Server に接続し、そこに特定の機能を実行するプログラムです。クライアントビューアが起動すると、ログイン画面が表示されます。



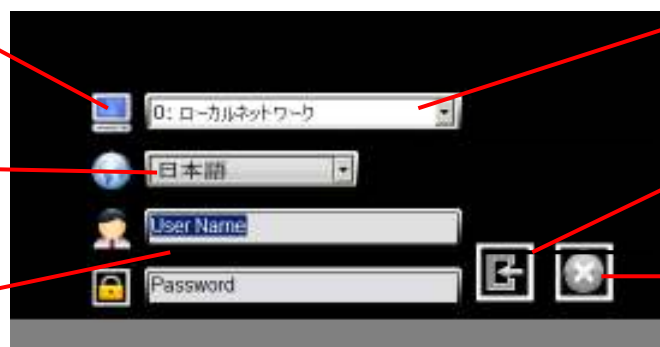
ログイン画面は、次のオプションを提供します：

- \* ICSPro Server（ローカルまたはリモート）に接続します
- \* 言語を表示します
- \* ユーザー名とパスワードでログインします

サーバーの検索、または手動での追加

言語の選択

ユーザー名/パスワード




利用可能なサーバー

ログイン

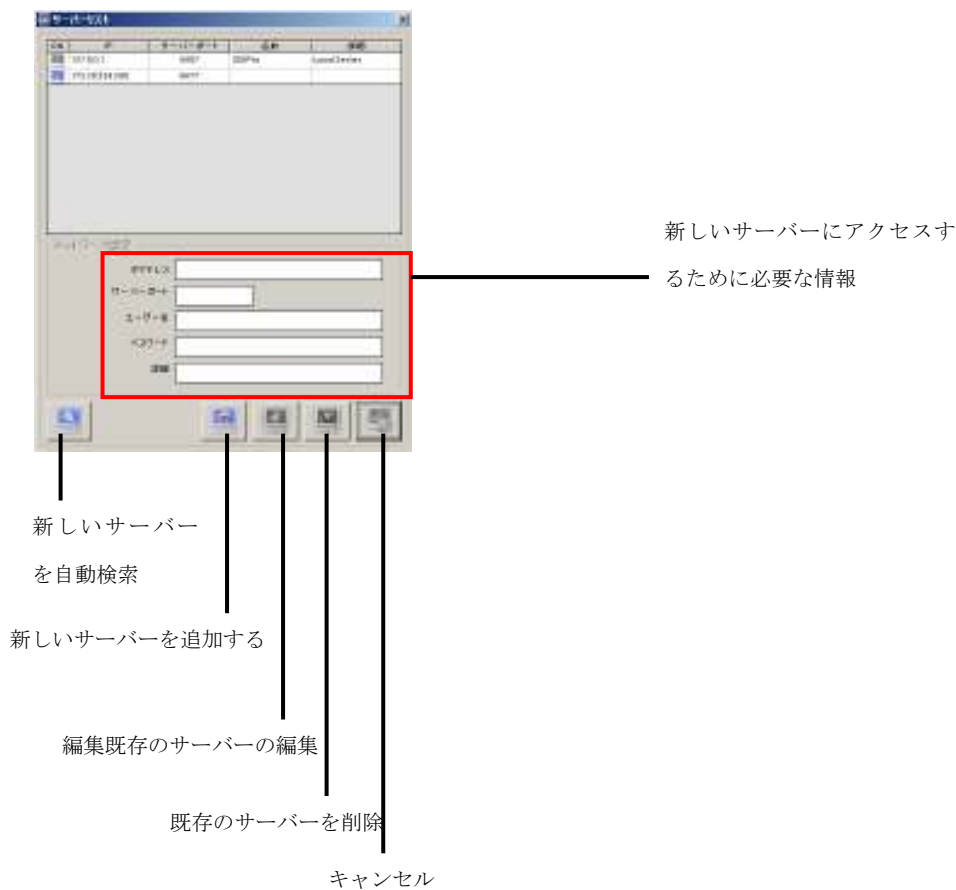
キャンセルして終了

## クライアントビューア - サーバーの追加

ログイン画面で、ドロップダウンメニューから利用可能なサーバーを選択するか、新しいサーバーを追加するために  をクリックします。



サーバーの一覧ダイアログは以下のように表示されます：



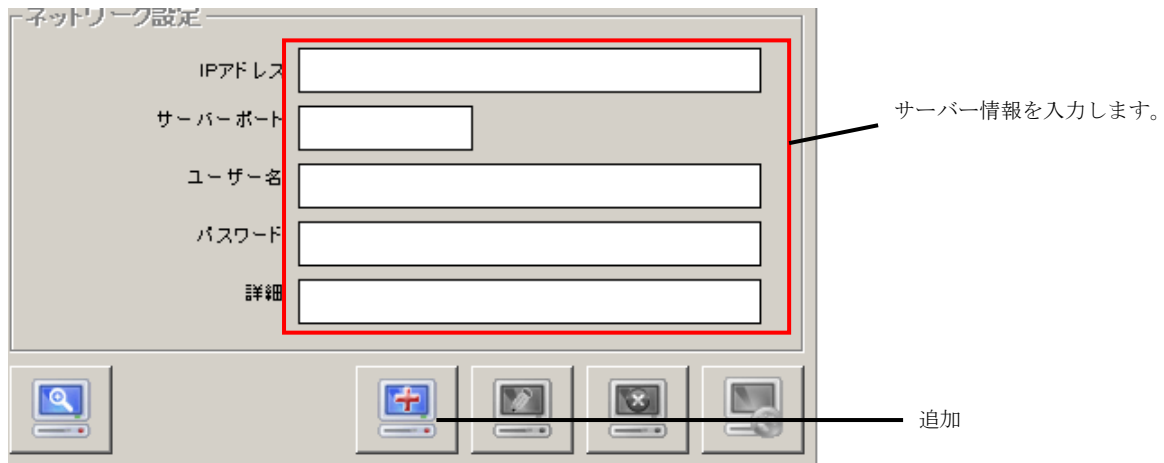
\* ICSPro Lite は、同じ LAN 内のサーバーにのみアクセスすることができます



## クライアントビューア - サーバーの追加

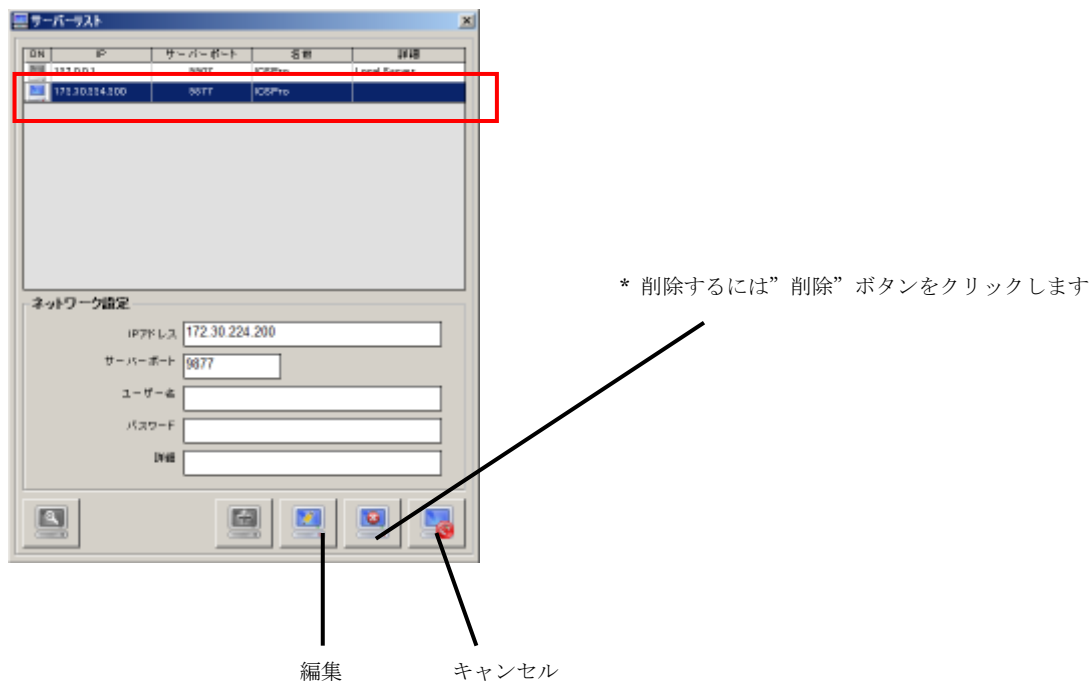
### 手動でサーバーを追加

手動で新しいサーバーを追加するには、「サーバーの一覧」ダイアログのすべてのフィールドに対応する情報を入力し、「追加」をクリックしてサーバー情報を入力します。:



\* “サーバーのポート”はビデオストリーミングに使用されるポート番号です。デフォルトではπ-Vu Pro は 9877 ポートを使用します。

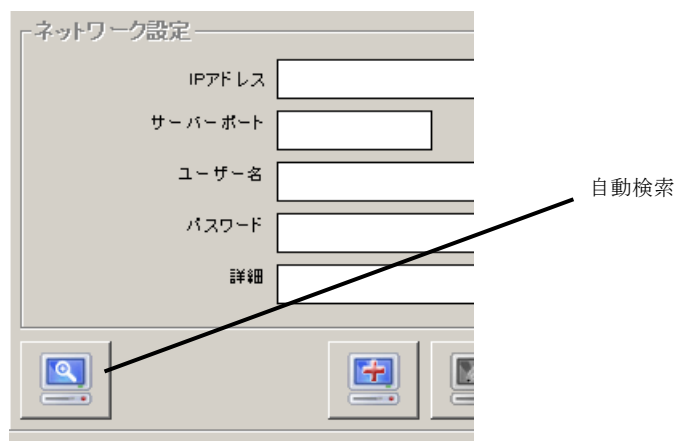
追加したサーバーの設定を変更するには、サーバーの一覧から対象のサーバーをクリックし、「編集」ボタンをクリックします:



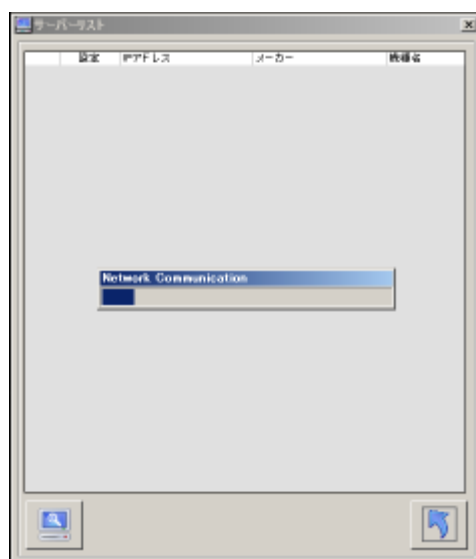
## クライアントビューア - サーバーの追加

### 自動的に新しいサーバーを検索

ソフトウェアは、自動的に同じサブネット上にある利用可能なサーバーを検索することができます：



新しいダイアログでは検索の進行状況を表示します：

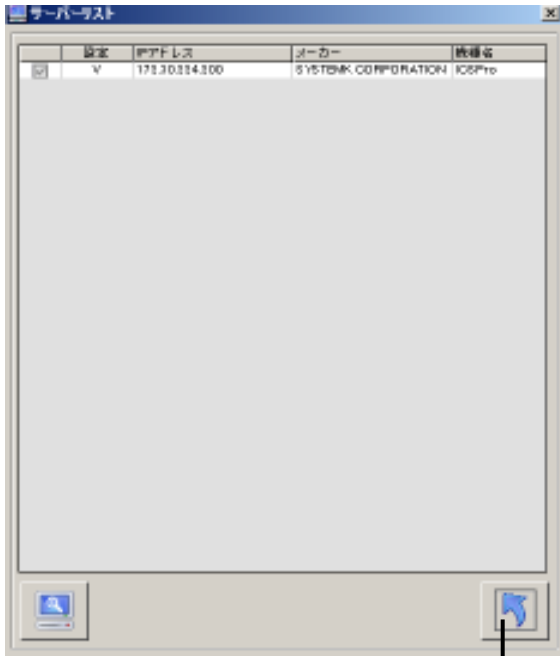


検索されたサーバーは一覧に記載されます：

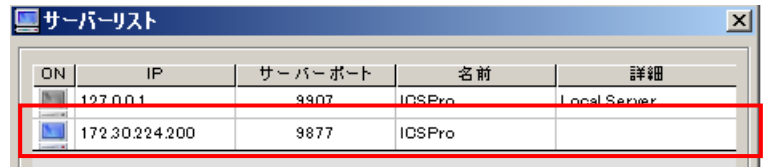
	設定	IPアドレス	メーカー	機種名
<input checked="" type="checkbox"/>	V	172.30.224.200	SYSTEMK CORPORATION	IGSPro

## クライアントビューア – サーバーの追加

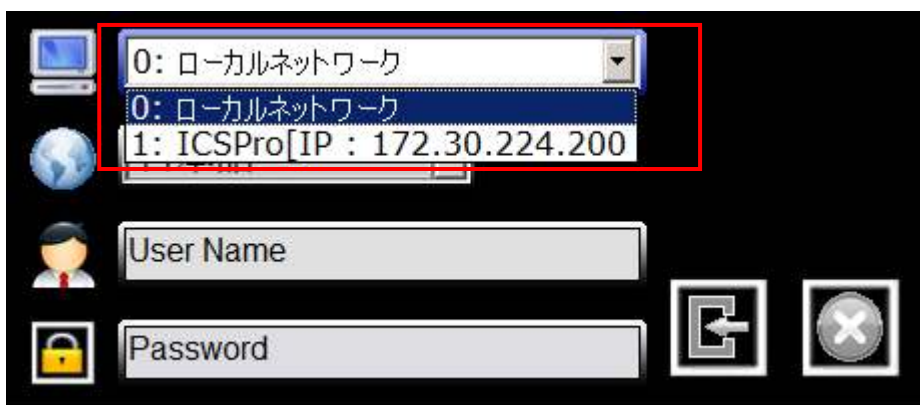
検索されたサーバーをチェックして、“終了” ボタンをダブルクリックして、前のダイアログに戻り、チェックしたサーバーがサーバーの一覧に記載されているのを確認します：



終了



新しく追加されたサーバーは、次回のログイン時にログイン画面のドロップダウンメニューに記載されます：

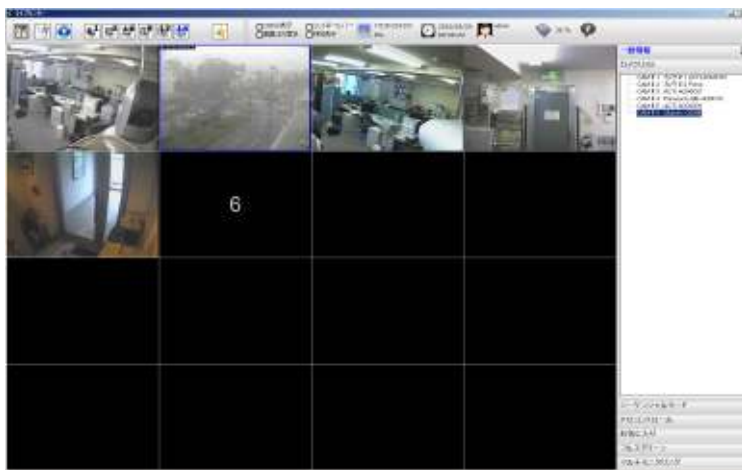


# クライアントビューア - ライブを見る

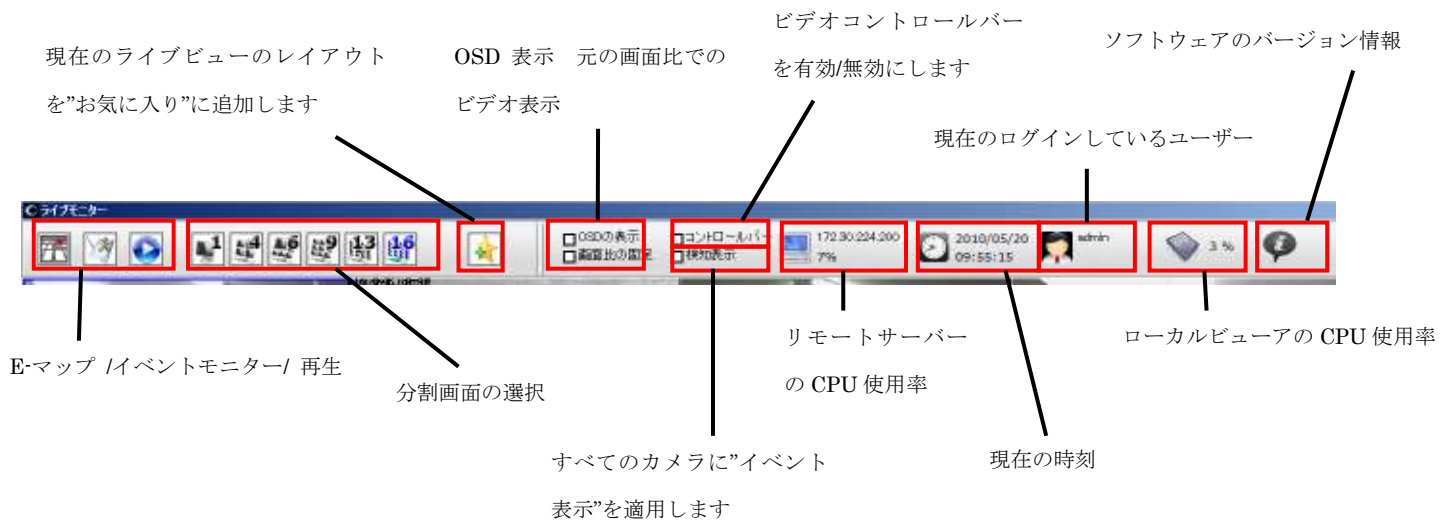
## クライアントビューア - ライブを見る (概要)

ソフトウェアはライブを見るために、次の機能を提供します：

- \* 画面レイアウトの変更 (分割画面の様々なビュー)
- \* OSD の表示およびシーケンス表示
- \* 元の画面比でのビデオ表示
- \* サーバーとカメラの状態表示
- \* オーディオ
- \* ライブビデオのスナップショット
- \* 画面上のイベントの警告
- \* PTZ カメラとデジタル PTZ コントロール
- \* 操作記録
- \* 画像の強調

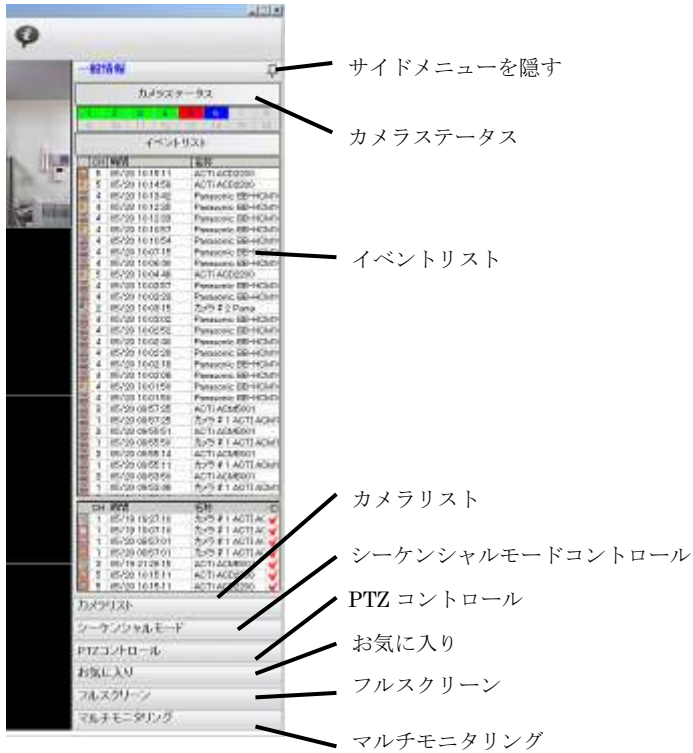


### トップメニューバー



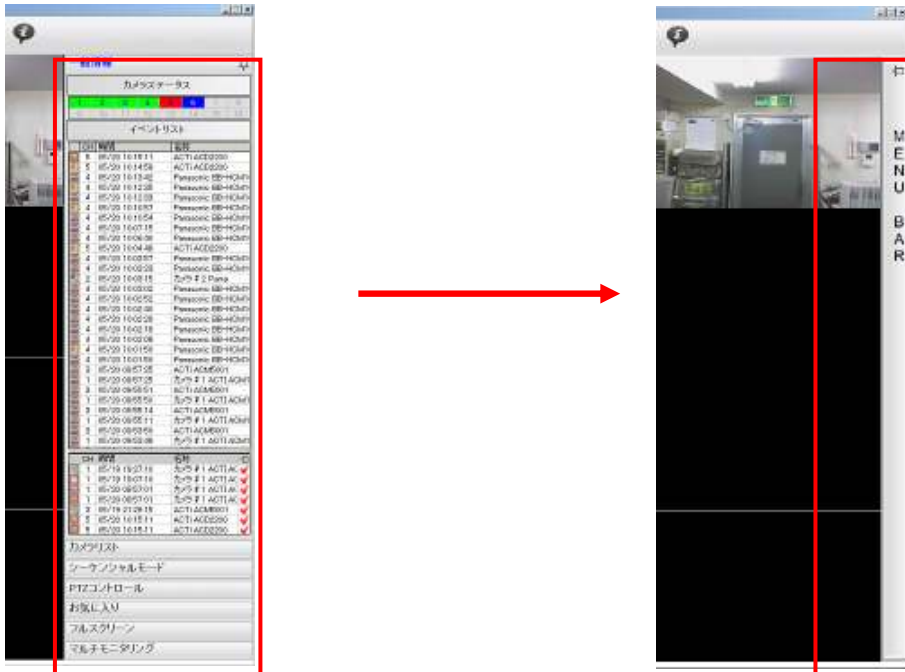
# クライアントビューア - ライブを見る (概要)

## サイドメニュー



カメラステータス：  
 青：カメラオンライン  
 緑：録画中  
 赤：イベントトリガー&イベント録画中  
 灰色：カメラオフライン

\* フルスクリーンモードにかかわらず、表示領域を最大にするためにサイドメニューを隠すことができます：

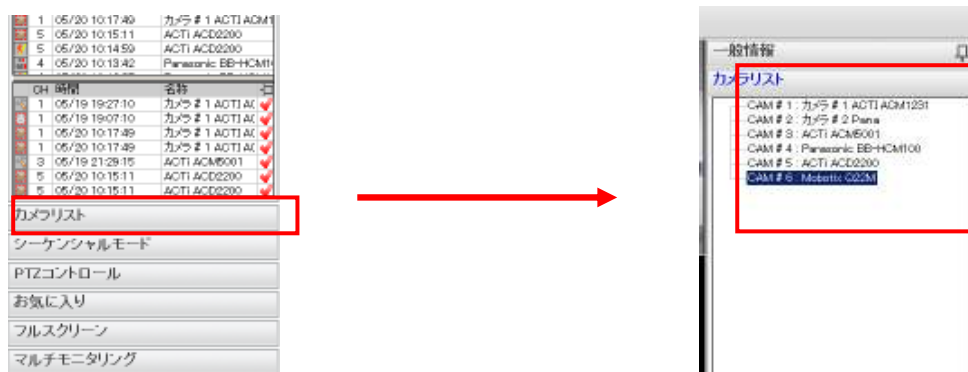


## クライアントビューア – ライブを見る（表示レイアウトの調整）

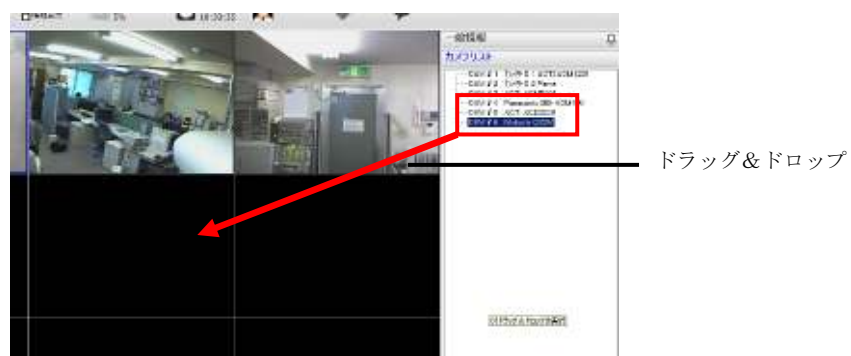
ソフトウェアは、ユーザーが一度にどれだけ多くのビデオを表示できるか決めることができるように様々な表示レイアウトを提供しています。ユーザーは表示レイアウトを変更するために、利用可能な分割ウィンドウのオプションをトップメニューから選択できます：



レイアウトが決まると、ユーザーはサイドメニューの利用可能な”カメラリスト”からカメラを選択することにより、すぐに見たいカメラを決定できます：



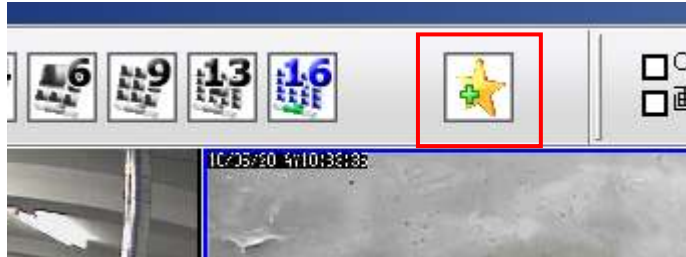
カメラを一覧からクリック&ドラッグして、左側の目標のビデオウィンドウにドロップします：



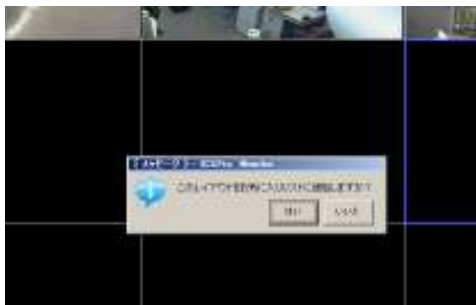
## クライアントビューア – ライブを見る（表示レイアウトの調整）

### 現在の表示レイアウトを”お気に入り”に追加する

選択したレイアウトに目的のカメラを配置し、”お気に入りに追加”ボタンをクリックすることによりレイアウトをプロファイルとして保存できます：



“はい”をクリックして確認します：



サイドメニューの”お気に入り”に全ての”お気に入り”が表示されます：



## クライアントビューア - ライブを見る (表示レイアウトの調整)

サイドメニューの”お気に入り”の右側から次のことが可能です：

- \* 新しいお気に入りを追加する
- \* 既存のお気に入りの設定を編集
- \* 既存のお気に入りの削除





## クライアントビューア - ライブを見る (シーケンシャルモード)

### 手動 SEQ

SEQ (シーケンス) モニターは選択カメラ (またはお気に入り) のビデオを、設定された間隔で自動的に切り替えながら表示する機能です。SEQ モニターは、サイドメニューの”シーケンシャルモード”から選択できます：

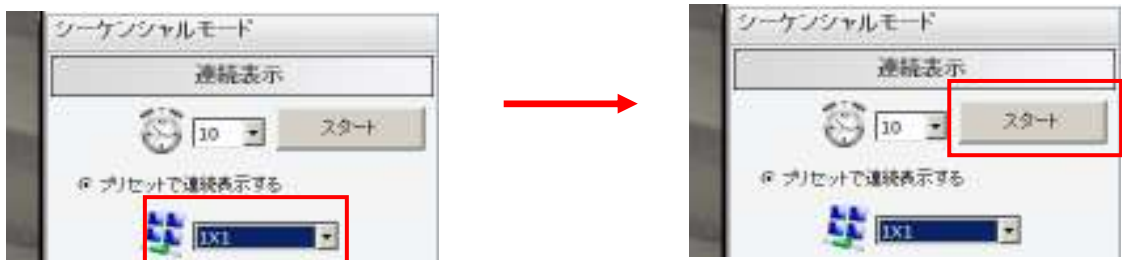


選択したカメラに対するビデオの自動シーケンスを設定するには、最初にドロップダウンメニュー(下図参照)からシーケンス間隔を設定します：



次に、ドロップダウンメニューの”プリセットで連続表示する”オプションを選択して、一度に見たいカメラ数を設定した後に”スタート”ボタンを押します：

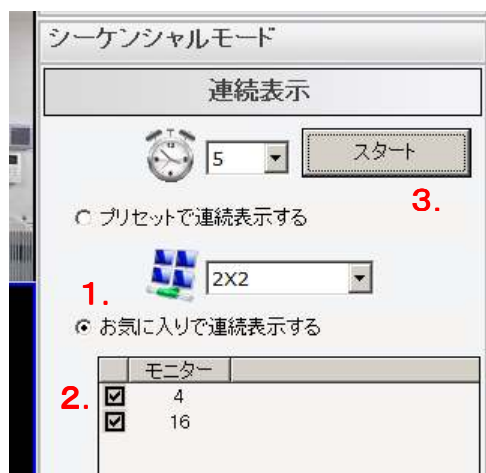
(\*このオプションはソフトウェアの使用可能なカメラ数に依存します)



## クライアントビューア – ライブを見る (SEQ モニター)

### お気に入り SEQ

自動シーケンスするカメラを手動で選択するに以外にも、ソフトウェアは、“お気に入り”をシーケンスに設定することができます。1. “お気に入り”で連続表示する”オプションを選択して、2. お気に入りリストを複数チェックし、3. ”スタート”ボタンを押します：



## クライアントビューア – ライブを見る（フルスクリーン）

ソフトウェアは現在 PC にインストールされているモニターの数を検出し、これらのモニターに対し、異なる機能ページまたはライブビデオを表示します。ソフトウェアは、5つのモニターまでをサポートし、フルスクリーンで5つ全てのモニターにライブビデオを割り当てるのが可能です。（\*ICSPro Lite は2つのフルスクリーンまでサポートします）

ソフトウェアは、フルスクリーンで 16 のライブ動画を各モニター上に表示することができます。

フルスクリーンを入力するには、

1. トップバーからスクリーンレイアウトを選択
2. サイドメニューからカメラの一覧でカメラを選択、ライブビュー領域にそれらをドロップ
3. サイドメニューから”フルスクリーン”をクリック
4. フルスクリーンするモニターを選択



\* Windows OSはPCにインストールされている各モニターに”ID”番号を割り当てます；ICSPro ソフトウェアはフルスクリーンや異なる機能ページでのビデオをするためにこの ID 番号を使用します。

## クライアントビューア – ライブを見る（フルスクリーン）

### フルスクリーンでの可能な機能

フルスクリーンでは最大限の柔軟性と利便性のための機能が提供されます。以下のように：

- \* “お気に入り”の間での切り替え
- \* OSDの有効/無効を表示
- \* 元の画面比率でのビデオ表示
- \* ビデオウィンドウコントロールバーのオン/オフ切り替え（詳細は以下）

この機能を使うには、フルスクリーン状態でスクリーン上の任意の場所で右クリックします：

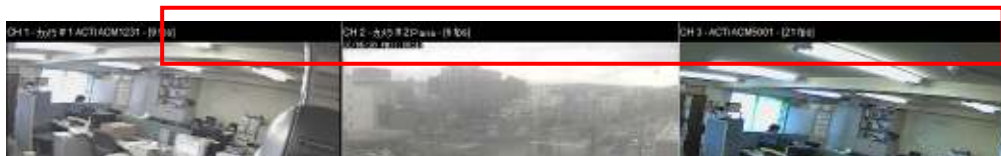


右クリックで表示されるメニューで”お気に入り”を切り替えます。プルダウンメニューから”お気に入り”を選択できます：



## クライアントビューア - ライブを見る (フルスクリーン)

右クリックで表示されるメニューで”OSD の表示”をクリックすると、現在のフレームレートとカメラ番号を表示する OSD が全てのビデオ上に表示されます：



“画面比の固定”をクリックすると、全てのビデオは各々の元の画面比で表示されます：



前



後

ビデオウィンドウコントロールバーを表示するには、フルスクリーン上の任意の場所で右クリックして”コントロールバー”をクリックし、表示したいビデオウィンドウにマウスを持っていきます：

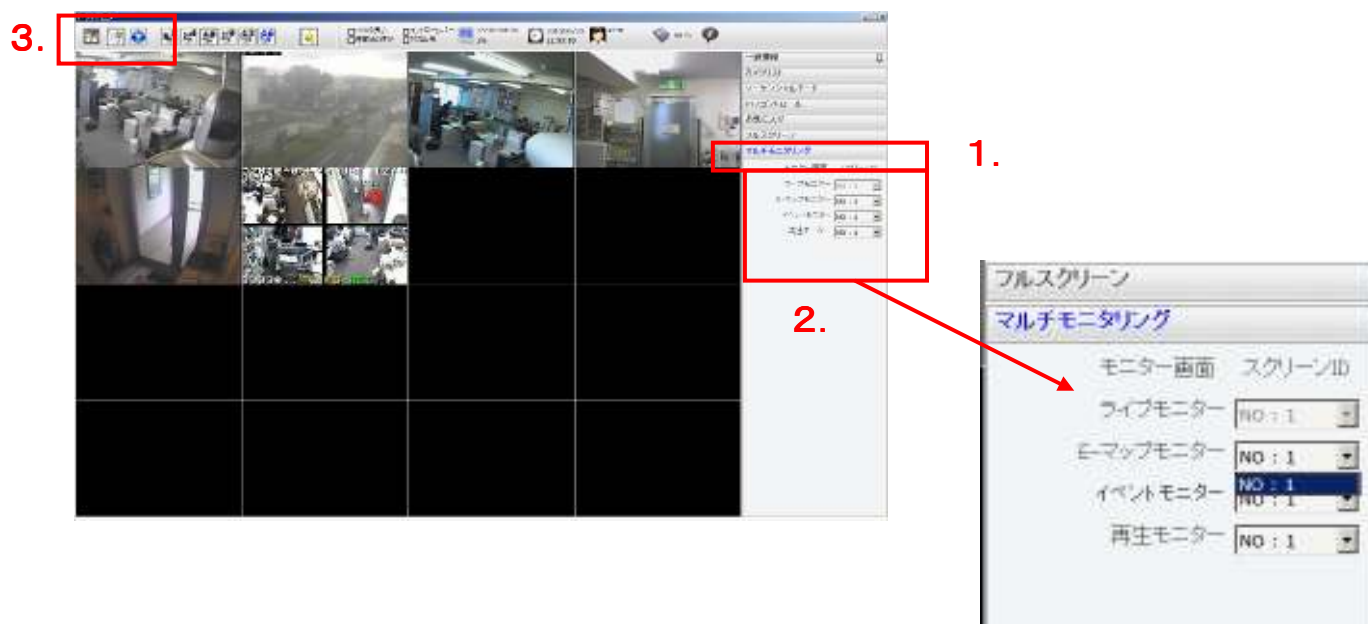


## クライアントビューア - ライブを見る (マルチモニタリング)

前述したように、ソフトウェアは5つのモニター上に異なる機能ページかフルスクリーンでのライブビデオを表示できます。ユーザーはどの機能ページをどのモニターに表示するかを構成できます。

これを行うには：

1. サイドメニューで”マルチモニタリング”をクリックします。
2. 機能ページごとにあるドロップダウンメニューのモニターID でモニターを機能ページに配置します。
3. トップバーから機能ページにアクセスします。



## クライアントビューア – ライブを見る (PTZ カメラ&プリセットコントロール)

ソフトウェアは、PTZ カメラのさまざまなコントロールが付属します。それらはサイドメニューの仮想 PTZ パネルで供給されます。コントロールには以下のものがあります：

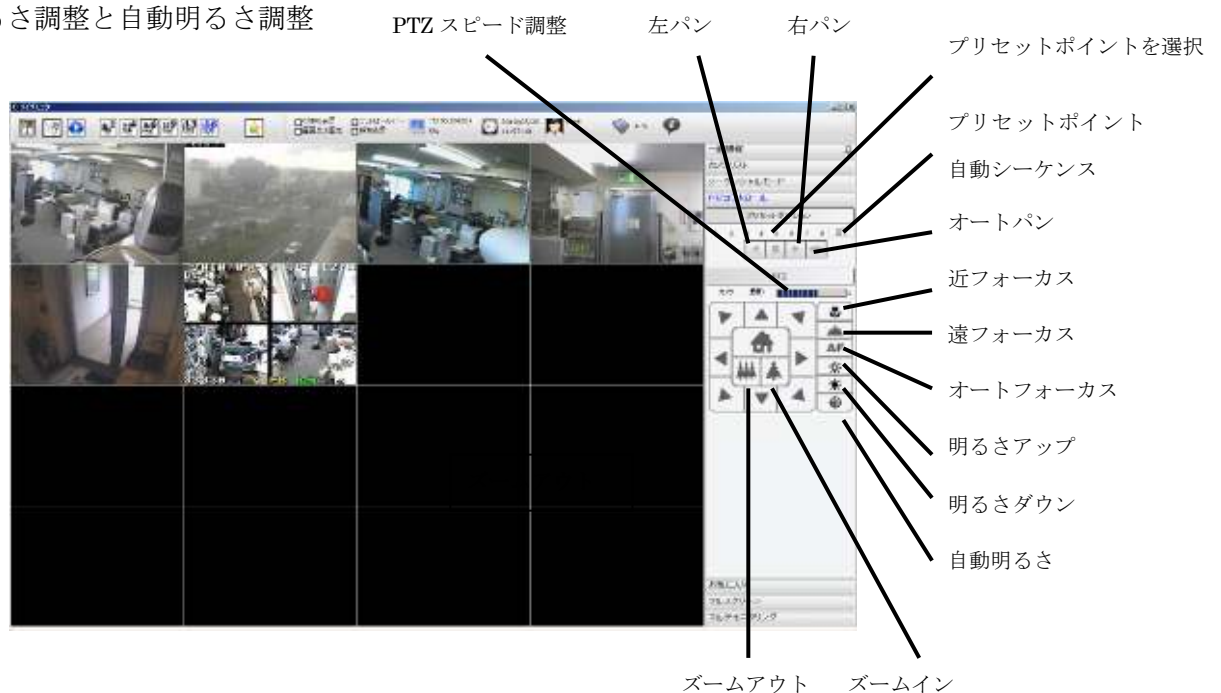
\*パン、チルト、ズーム、PTZ の速度調整

\*プリセットポイント（合計 8）モニター、ホームポイントをプリセットし、プリセットシーケンス表示をプリセットします。

\*右パン、左パン、自動パン

\*マニュアルフォーカス調整やオートフォーカス

\*マニュアル明るさ調整と自動明るさ調整



ソフトウェアは、“マウスオーバービデオ”PTZ コントロールで PTZ カメラを制御するためのより直感的な方法を提供しています。ユーザーはビデオ上のクリック（右クリック）でビューポイントのパンとチルトができ、マウスのスクロールボタンでズームイン/アウトができます。

## クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

ソフトウェアは、“マウスオーバービデオ”コントロールバーでライブビデオの特定の機能に“クイックアクセス”する方法を提供します。この機能はデフォルトでオフになっていて、トッパー（下図参照）からオンにすることができます：



有効になると、マウスをビデオウィンドウ上に置くとビデオウィンドウの TOP にコントロールバーが現れます：



コントロールバーは、次の機能を提供します：

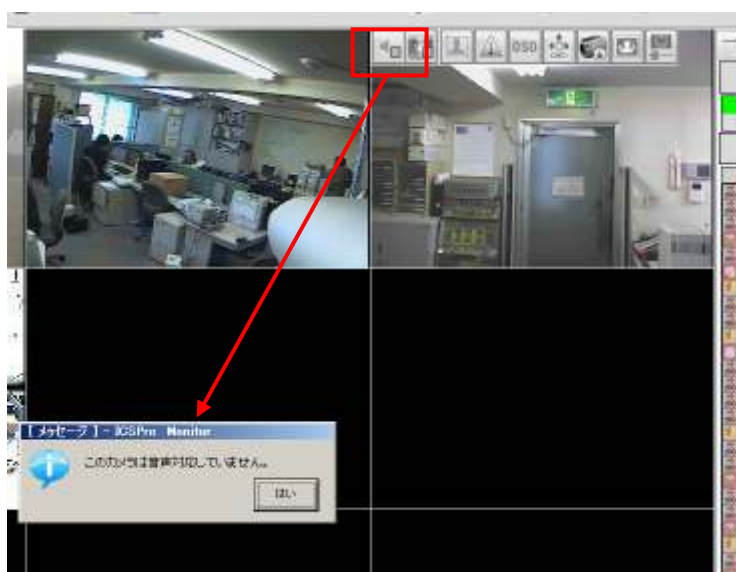
1. オーディオのオン/オフ
2. オーディオポスト
3. スナップショット
4. イベントが発生したときの警告表示（ビデオイベント表示）
5. OSD 表示
6. デジタル PTZ
7. マニュアル録画のスタート/停止
8. 画面比の保持
9. 画像強調



## クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

### オーディオ

カメラがオーディオ機能をサポートしていない場合は、オーディオボタンがクリックされたときにポップアップメッセージが表示されます。これは、ユーザーにこのカメラがオーディオ機能をサポートしていないことを通知するためです：



### スナップショット

このボタンをクリックすると、ソフトウェアは、ビデオのスナップショットを取ります。新しいダイアログが現われ、ビデオのスナップショットを表示します：



## クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

単にダイアログウィンドウを閉じるとスナップショットが自動的に保存されます。画像が保存されたことを示すポップアップメッセージが表示されます。



## イベント表示

イベントディスプレイは一つまたは複数のカメラでイベントが発生していることをユーザーがすばやく認識するのに役立つ機能です。ビデオ内の動きが小さな緑のキューブで表示されます：

A screenshot of the client viewer interface. The main video window shows a camera feed with a green grid overlay. A red box highlights a yellow warning icon in the top toolbar. To the right, there is a '一般情報' (General Information) panel with a 'カメラステータス' (Camera Status) table and an 'イベントリスト' (Event List) table. Red numbers 1 and 2 point to the camera status table and the event list table respectively.

カメラステータス					
1	2	3	4	5	6
9	10	11	12	13	14

イベントリスト		
CH	時間	名称
4	05/20 13:37:37	Panas
4	05/20 13:37:00	Panas
4	05/20 13:36:22	Panas
4	05/20 13:35:49	Panas
4	05/20 13:32:05	Panas
4	05/20 13:31:53	Panas
4	05/20 13:31:17	Panas
4	05/20 13:29:40	Panas
1	05/20 13:28:58	カメラ
3	05/20 13:28:57	ACTi

1. イベント記録

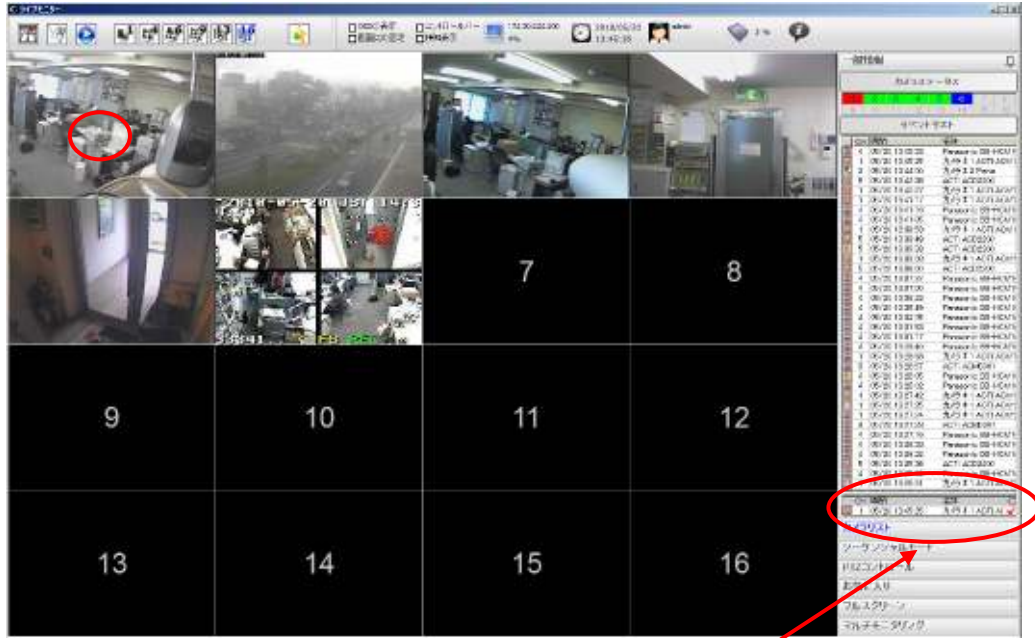
2. アイコンは一般的なイベントを示す

\* モーション検出を正しく機能させるためには”構成ウィザード”でモーション検出の設定を行います。モーション検出の構成については、31 ページをご参照ください。

\* トップバーで”検知表示”をチェックすることにより全てのカメラのイベントディスプレイを有効にできます。

以下に示すある種のイベントはイベントディスプレイリストの下部に違うセクションとして表示されます：

1. いたずら検知
2. 持ち去り検知
3. 置き去り検知



ダブルクリックして検知をリセットします

この機能はソフトウェアがユーザーに対して、これらのイベント検知を手動で認識してから検知機能をリセットして再開させるためにあります。ユーザーがモニターの前にはいないなど、これらのイベントを手動で認識しない場合は警告がスクリーンに表示されつづけます。

検知を認識するには、赤いチェックマークをダブルクリックするだけで、検知はリセットされます。

# クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

## デジタル PTZ

デジタル PTZ を使用するには、初めにビデオウィンドウコントロールバーで機能を有効にします：



マウスカーソルをビデオウィンドウの上に置けば拡大鏡表示になります。マウスをクリックしてズームインしたい領域を斜めにドラッグします：



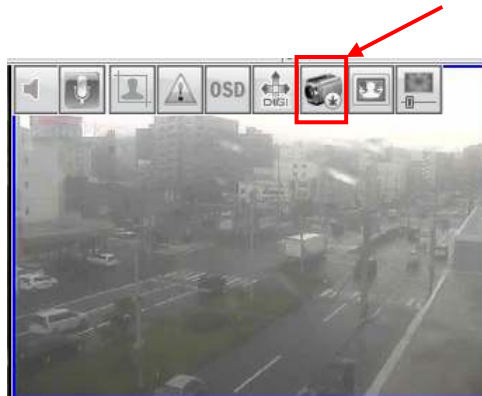
\* 一度ビデオがズームされると、マウスカーソルが【ここにカーソルのアイコンが挿入されます】アイコンに変わり、クリック&ドラッグでズームされた領域内で移動できます。

\* ズームイン、ズームアウトするには、マウスのスクロールボタンを使います。ビデオ上で右クリックすることによりデジタル PTZ カメラモードを終了します。

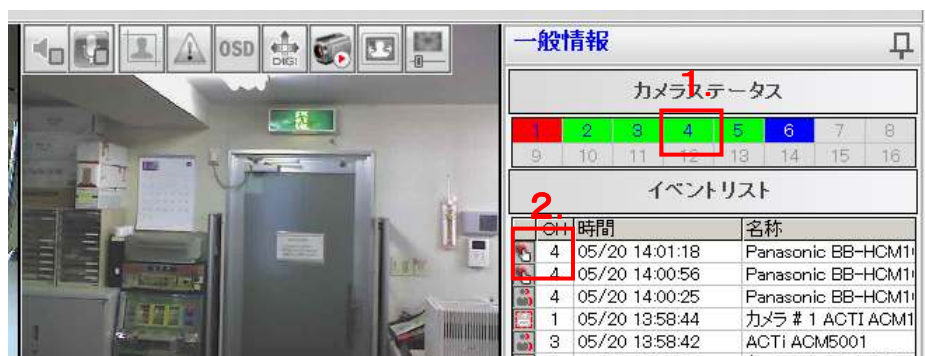
# クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

## 手動録画


ライブビデオ上で異常な何かを見つけた時、ビデオウィンドウコントロールバーからすぐに手動録画を開始できます。停止するには同じボタンをクリックします：



手動録画を開始したら、サイドメニューの”カメラステータス”と”イベントリスト”の UI が録画を表示します：



\*1. 緑色でマークされたカメラは”録画”が現在進行中であることを意味します。

\*2.  アイコンは手動録画を示します

## クライアントビューア – ライブを見る (ビデオウィンドウコントロールバー)

### 画像強調

この機能は、観察者の画像情報への解釈や認識を改善することを目的としています。ビデオウィンドウコントロールバーからこの機能を有効にした場合の違いを単純に以下に示します：



前



後

# クライアントビューア – ライブを見る

## (サーバーとカメラステータス)

トップバーの”サーバー情報”をクリックして各カメラの現在のステータスとサーバーの詳細情報を示すことができます：



以下の詳細情報を表示するダイアログを開きます：

- \* サーバーの CPU 使用率
- \* 合計帯域幅の消費状況
- \* HDD の使用状況
- \* カメラ番号と名前
- \* カメラの IP アドレス
- \* カメラステータス (接続/切断/ 録画...etc)
- \* 各カメラのビットレート消費
- \* 各カメラの現在のフレームレート

現在のカメラの状態

**カメラの状態:**

青: カメラオンライン

緑: 録画中

赤: イベントトリガーとイベント  
録画が実行中

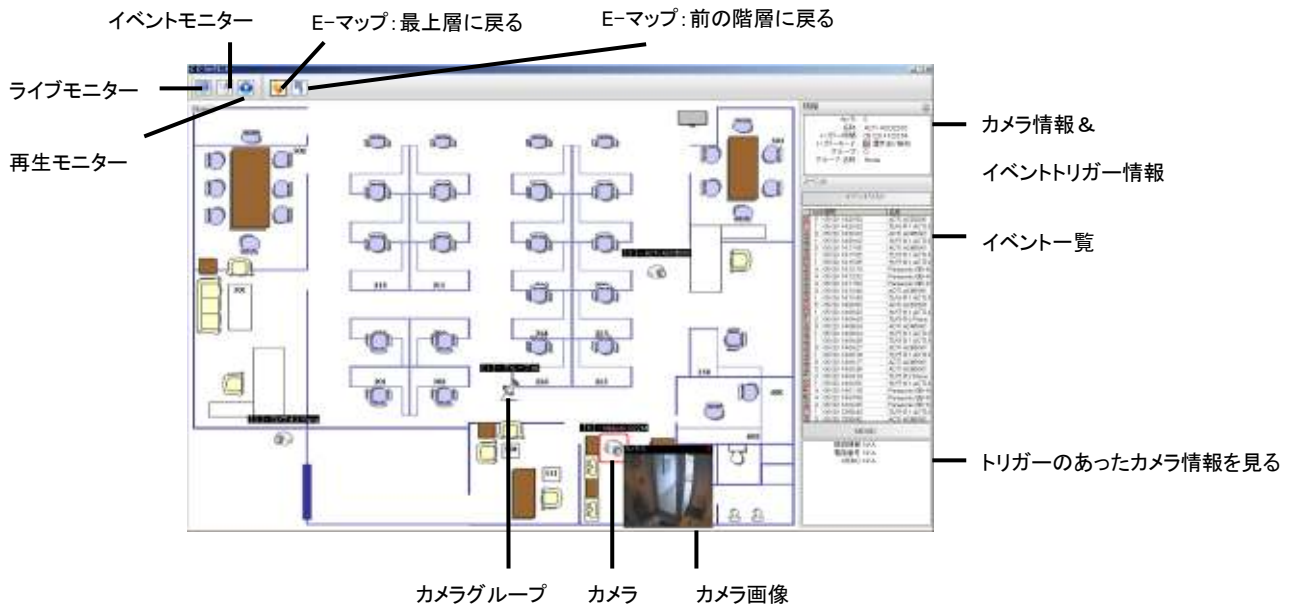
灰色: カメラオフライン

現在のフレームレート

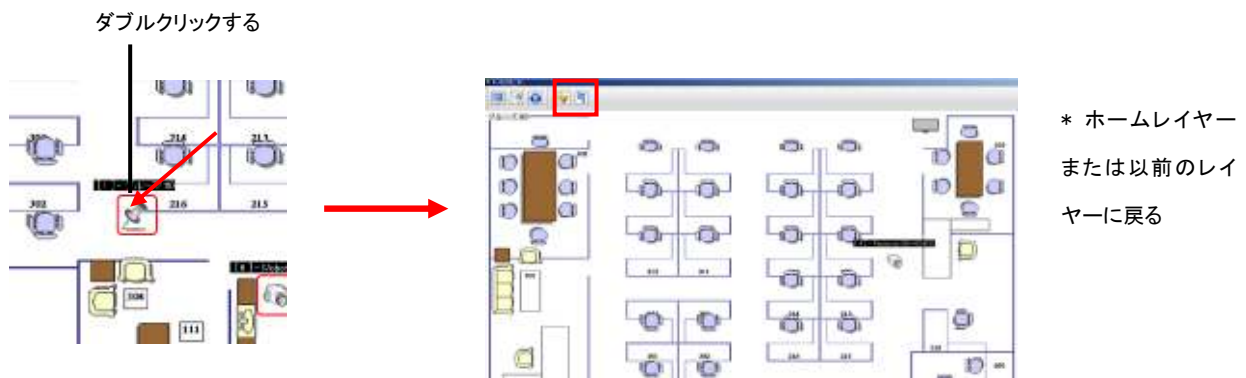
現在のビットレート

## クライアントビューア - E-マップモニター

E-マップモニターは各カメラ（とカメラグループ）の瞬時のイベント通知を地理的情報とともに監視する方法を提供します。イベントトリガーの発生中はカメラの小型サイズのビデオが表示されます。



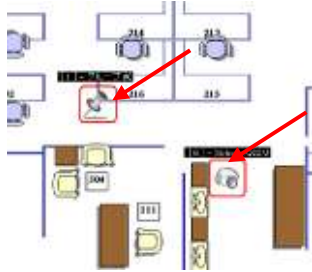
E-マップモニターはデフォルトでマップのトップレイヤーを表示します。カメラグループのアイコンをダブルクリックして、下のレイヤーに移動しカメラグループのマップに入ります。





## クライアントビューア - E-マップモニター

イベントが発生した場合、カメラのアイコン（またはカメラグループのアイコン）がマップ上で赤い四角形の点滅で囲まれます：

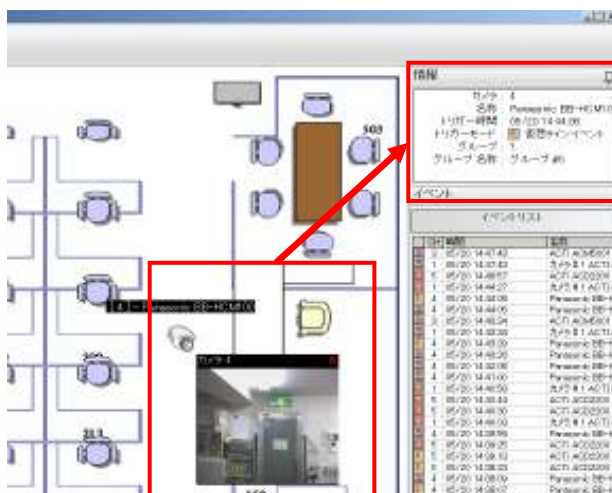


カメラグループのアイコンをダブルクリックして、カメラグループのマップに遷移します（103 ページ参照）

カメラアイコンをダブルクリックして、そのカメラのビデオが小表示されます：

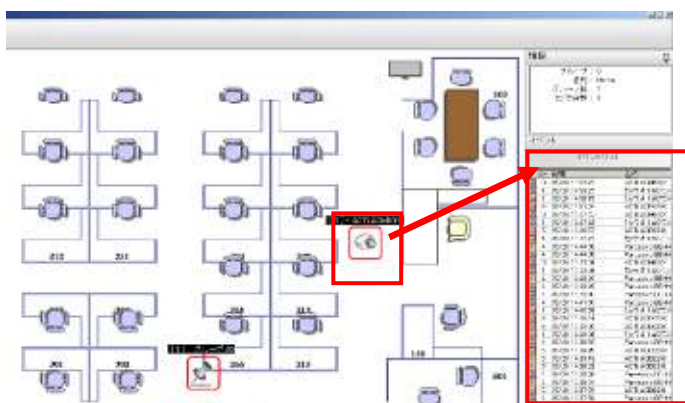


カメラアイコンがクリックされると、そのカメラ情報およびイベントトリガーの情報がサイドバーに表示されます：

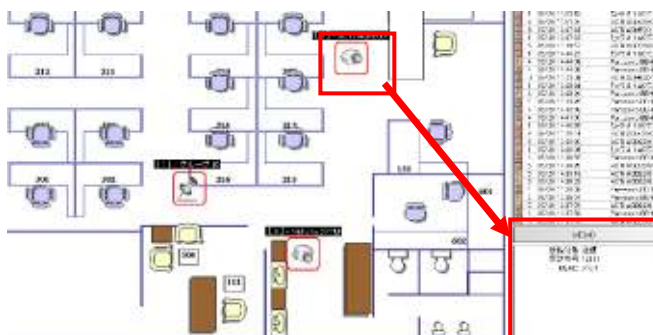


## クライアントビューア - E-マップモニター

発生したイベントは、サイドバーに一覧表示されます：



“構成ウィザード”でカメラ情報が設定されている場合は、サイドバーにカメラの接続情報が表示されます：



\* カメラの”接続情報”の設定は  
53 ページを参照してください。

## クライアントビューア - イベントモニター

イベントモニターは、イベントが発生したビデオのみ再生する機能です。ユーザーは現時点で起こっているイベントの録画リストを介して再生することができる便利なツールです：



イベントはサイドバーに一覧表示され、どれか一つをクリックすることにより瞬時に録画を再生します：



## クライアントビューア - イベントモニター

カメラ情報と特定のカメラの接続情報もサイドバーに表示されます：



ソフトウェアは、最新のイベントのサムネイル画像も表示します。画像は常時新しいイベントで更新されます：



## クライアントビューア - イベントモニター

画面左下に表示された小サイズの E-マップはカメラの位置を表示します：



# クライアントビューア - イベントモニター

## イベント履歴

デフォルトでは、サイドバーにあるイベントモニターページは”現在”のイベントを一覧表示します。最新のイベントが発生すると自動的に更新されます。



再生ページに移動することなしに過去のイベントを見たい場合は、イベントモニターページのトップバーにある”イベント履歴”にアクセスします：

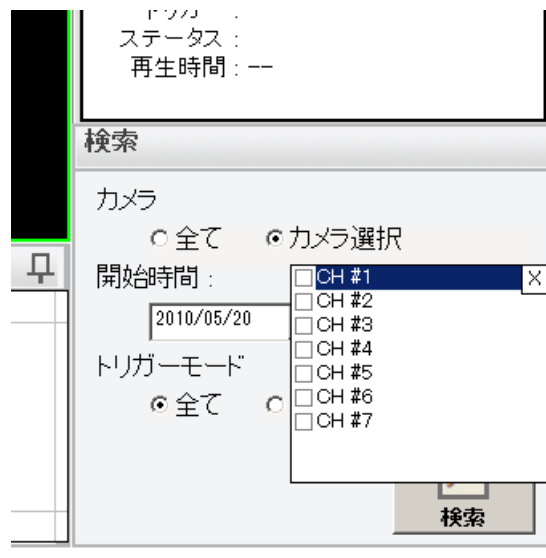


## クライアントビューア - イベントモニター

イベント履歴ページに過去のイベントを”検索”するインターフェースが表示されます。この検索機能はサイドバーの右下に用意されます：

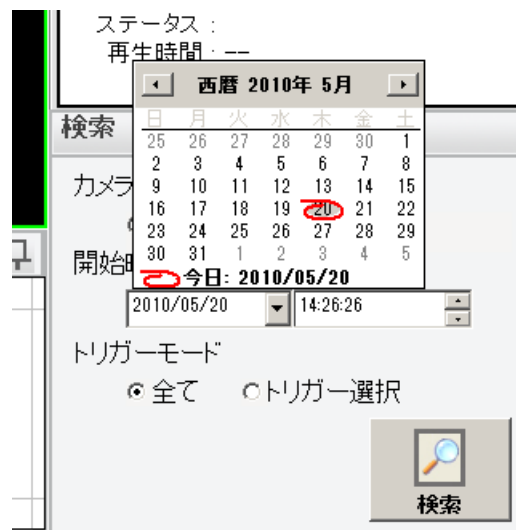


検索するには、”全てに”または”カメラ選択”を選択して、ドロップダウンメニューのカメラ選択から検索するカメラを選択します：

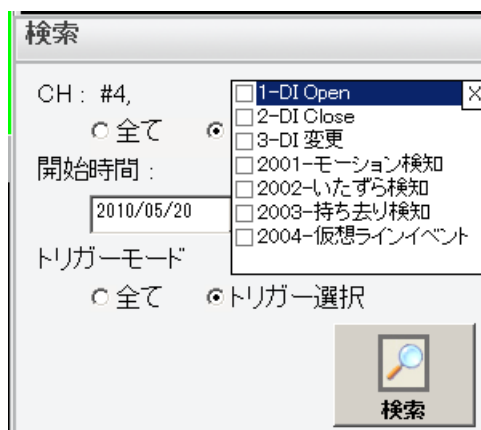


## クライアントビューア - イベントモニター

次に、ドロップダウンメニューから開始時刻を決定します：



最後に、すべてのイベントを検索するか、特定の種類のイベントだけ検索するようにフィルターを設定します：





## クライアントビューア - イベントモニター

クリックして検索結果が一覧表示されます。検索結果をクリックすると再生されます：

CH Time	Name
13/10 12:26:57	CH # 2
13/10 12:27:08	CH # 2
13/10 12:27:10	CH # 2
13/10 12:27:29	CH # 2
13/10 12:27:36	CH # 2
13/10 12:27:45	CH # 2
13/10 12:28:00	CH # 2
13/10 12:28:09	CH # 2
13/10 12:28:19	CH # 2
13/10 12:28:28	CH # 2
13/10 12:28:40	CH # 2
13/10 12:28:53	CH # 2
13/10 12:29:01	CH # 2
13/10 12:29:12	CH # 2
13/10 12:29:23	CH # 2
13/10 12:29:35	CH # 2
13/10 12:29:45	CH # 2
13/10 12:29:58	CH # 2
13/10 12:30:06	CH # 2
13/10 12:30:19	CH # 2
13/10 12:30:29	CH # 2
13/10 12:30:40	CH # 2

再生が開始され、関連するカメラの情報とカメラの位置情報が下図のように表示されます：



## クライアントビューア - イベントモニター

再生するように選択されたカメラのイベント発生時刻に最も近い時間帯のサムネイル画像の”イベント画像リスト”が表示されます。



再生をコントロールするためには、トップバーの”再生コントロールバー”をチェックして、再生ビデオウィンドウに表示させます：



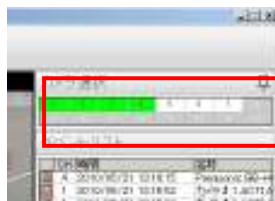
## クライアントビューア - 再生モニタ

再生機能にはユーザーが全てのカメラの録画データを再生するにあたって、最短の時間で効果的な再生画像が得られるように、より効果的な機能が用意されています。これらの特徴として：

- \* サイドバーに選択されたカメラでの”イベント発生”録画と全ての用意された録画データを表示します。
- \* スクリーンショットのキャプチャー
- \* デジタル PTZ
- \* 強調画像



録画検索を始めるには、右上のコーナーのカメラ一覧から目的のカメラを選択するだけです：



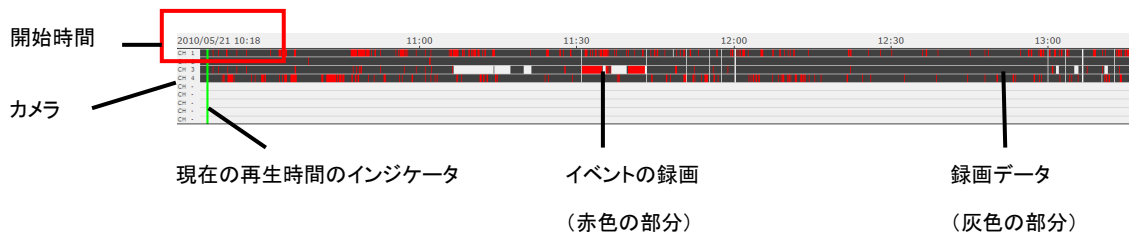
- \* ソフトウェアが9カメラの同期再生をサポートしているなら9カメラ選択できます。

## クライアントビューア - 再生モニタ

カメラが選択されると、(もしイベント録画があれば) 録画データはサイドバーと同様に下のバーに表示されます：



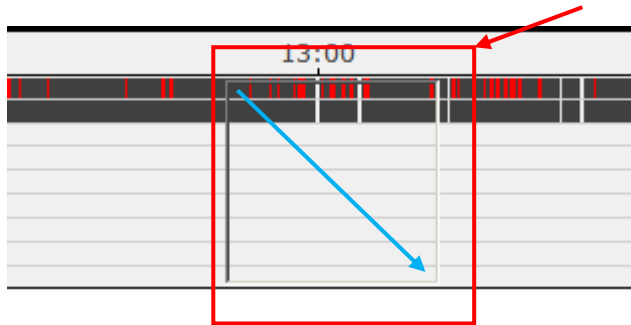
下部にあるタイムバーについて：



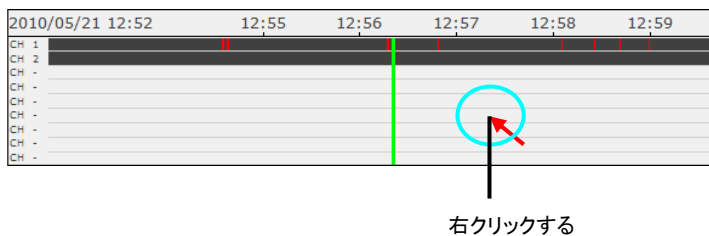
- \* 灰色の領域：通常の録画データ
- \* 赤色の領域：イベントの録画データ
- \* 緑色の再生インジケータ：再生の進行状況を示します

## クライアントビューア - 再生モニタ

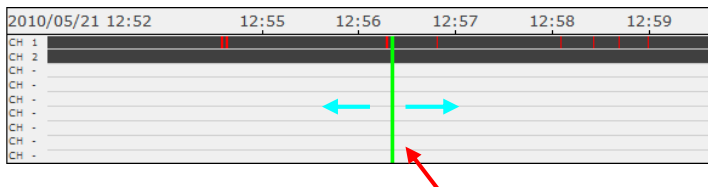
タイムバーは録画データの開始から終了までを表示します。タイムバーで選択して録画データの一部を表示するようにできます。マウスをクリックして、水平方向に選択するようにドラッグします：その部分の録画データを表示して拡大されます。それに応じて開始時間と終了時間が変化します。



元に戻るには、タイムバーの任意の場所で右クリックするだけです：



特定の時刻を再生するように移動するには緑色のインジケーターをクリック&ドラッグします：



## クライアントビューア - 再生モニタ

再生機能は、以下の機能を持つコントロールバーを提供しています：

\*再生コントロールバー：コマ戻し/巻戻し/再生/停止/一時停止/早送り/コマ送り

\*再生ビデオウィンドウコントロールバー：オーディオ ON/オーディオ OFF/スナップショット/ディスプレイ OSD/デジタル PTZ/ビデオ比率の保持 /画像強調



デフォルトでは、これらの2つのコントロールバーは隠されていて、トップバーで有効にできます：



## クライアントビューア - 再生モニター

トップバーのオプションをチェックすることにより、ディスプレイ OSD と元のアスペクト比で全ての再生録画をセットできます：



タイムバーの緑色のインジケータは、再生の進行状況とどの部分が再生されているかを示します。トップバーから正確な再生時間を見つけることができます：



## メディアプレーヤー

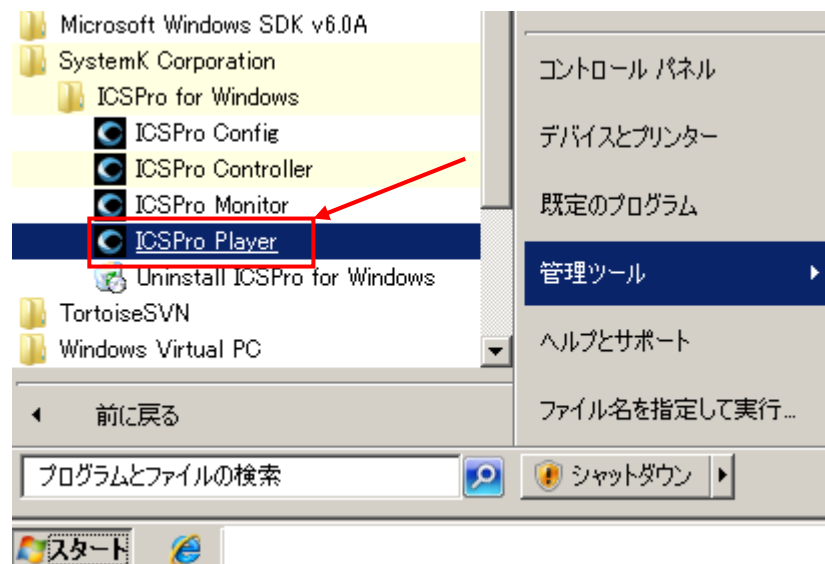
ソフトウェアは、このソフトウェアのデータベースのファイル形式または **ICSPro** ソフトウェアによってエクスポートされた AVI ファイル形式で録画ファイルを再生するプレーヤープログラムが付属しています：



このプレーヤーを使うには、インストーラーが作成したショートカットをダブルクリックしてください：



Windows の”スタート”メニューからも開始できます：

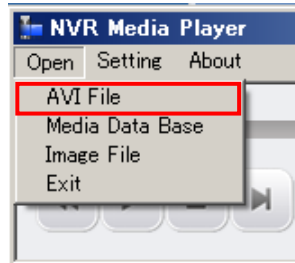




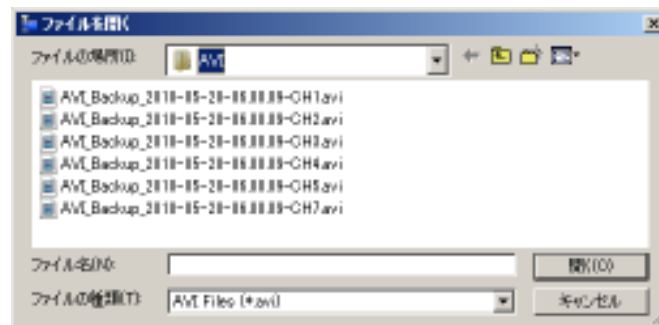
# メディアプレーヤー

## エクスポート AVI ファイルを再生

エクスポート AVI ファイルを再生するには、トップメニューの”開く”→”AVI ファイル”を選択します：



再生する AVI ファイルを指定するダイアログが表示されます。エクスポートされた AVI ファイルが保存されているデフォルトのフォルダ C:\Program Files\SystemK Corporation\ICSPRO for Windows\AVI に移動します：



ビデオのオリジナルの解像度で再生が開始されます：



## メディアプレーヤー

インジケータを水平に前後移動して特定の時間にジャンプします。

下部にあるコントロールボタンで 巻き戻し / 一時停止 / 停止 / 再生 / 早送り ができます：



音量の調整

下部にある”スナップショット”ボタンをクリックして、ビデオのスナップショットを作成します：



\*スナップショットは”JPEG”形式でのみ保存することができます。

## メディアプレーヤー

“OSD”ボタンをクリックするとビデオ上に OSD が表示されます：



\* デフォルトでは OSD は左上の隅に表示されます。その他の設定は、フォントサイズ/カラー、表示位置についてできます。詳細は 129 ページで説明します。

プレーヤーは、デジタル機能をサポートしています。単純にスクロールボタンでズームイン/アウトできます。ズームインするには選択領域をクリックしてドラッグします。



特定の領域をズームするにはビデオで斜めにドラッグします。

## メディアプレーヤー

一度ズームされたら、クリックしてマウスボタンを押したまま移動することによりズーム領域を移動できます：



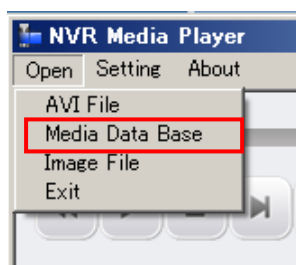
ズームエリアの移動にはクリックしてマウスボタンを押したまま移動します。

デジタル PTZ モードを終了するには、ビデオの任意の場所で右クリックします。

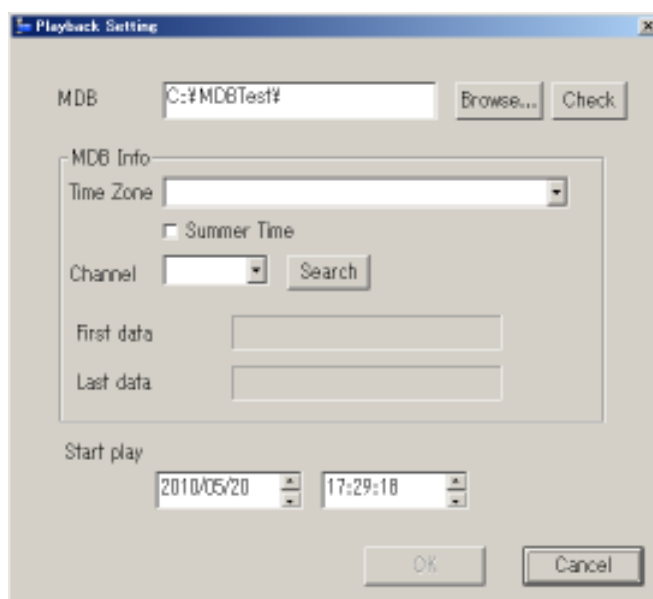
# メディアプレーヤー

## データベースファイルを再生

メディアデータベースファイルを再生するには、トップメニューから”開く”→”メディアデータベース”を実行します：

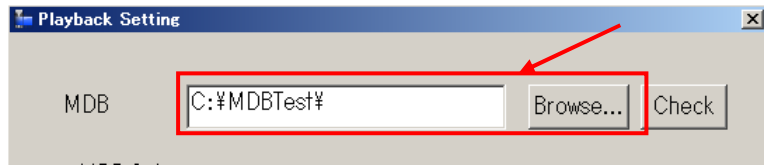


ダイアログが以下のように表示されます：



## メディアプレーヤー

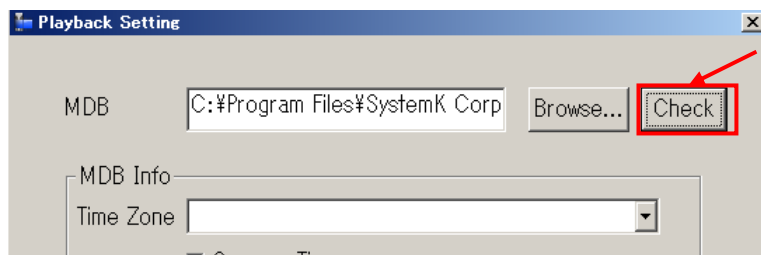
デフォルトの MDB のパスが表示されます。設定ウィザードでデータベースのストレージパスを変更したい場合は、”ブラウズ”ボタンで設定します：



データベースファイルが保存される場所のフォルダを検索できるようにダイアログボックスが表示されます：

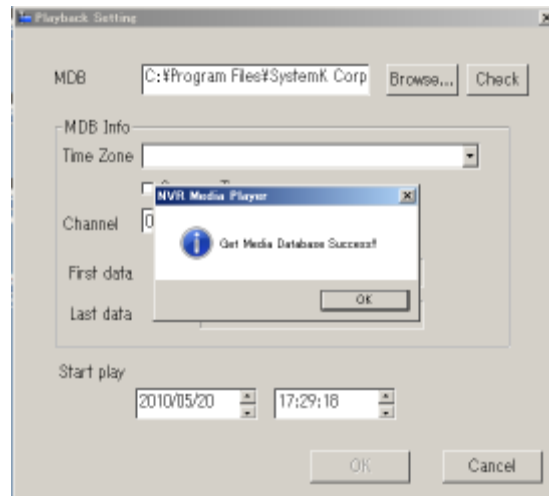


フォルダを選択後、”チェック”をクリックします：

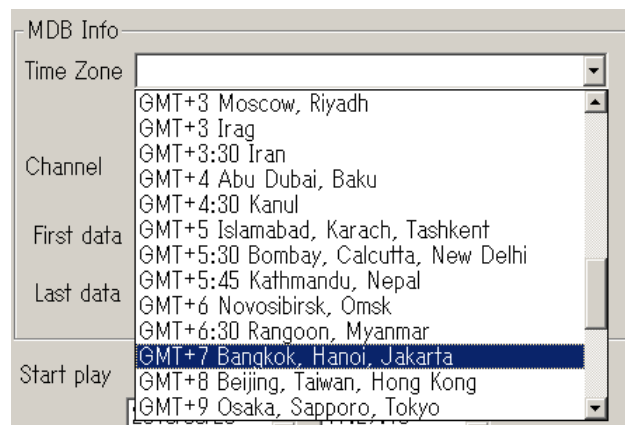


## メディアプレーヤー

データベースの指定に成功したポップアップメッセージが表示されます（下図参照）：



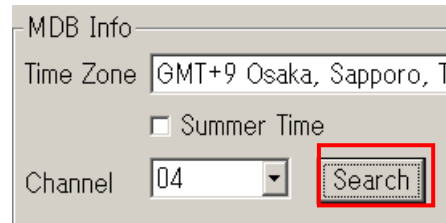
次に、ドロップダウンメニューから目的のタイムゾーンを選択します：



\* MDB ファイルには、タイムゾーン情報が含まれていません。現在の場所のタイムゾーンを選択するか、MDB ファイルがエクスポートされた ICSPPro サーバーのタイムゾーンを選択してください。

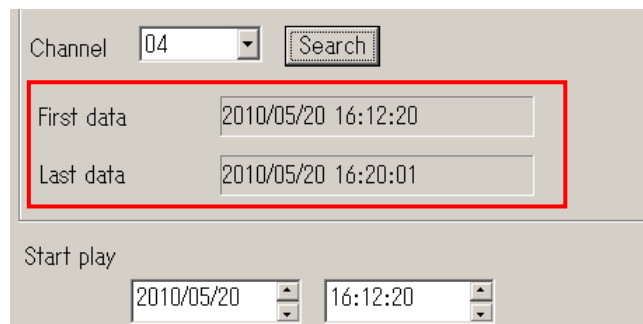
## メディアプレーヤー

利用可能な録画ファイルのあるカメラのみ”Channel”ドロップダウンリストに表示されます。カメラを選択して”Search”ボタンを押します。:



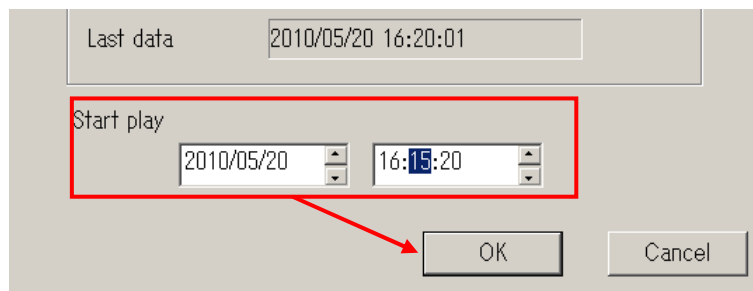
MDB Info  
Time Zone GMT+9 Osaka, Sapporo, T  
 Summer Time  
Channel 04 Search

データベースが開始され、選択したカメラのデータベースの最初の時刻と最終時刻が表示されます:



Channel 04 Search  
First data 2010/05/20 16:12:20  
Last data 2010/05/20 16:20:01  
Start play  
2010/05/20 16:12:20

最初の時間と最終時刻の間の範囲で”開始時刻”を設定し、”OK”ボタンをクリックすると、データベースファイルが再生されます:



Last data 2010/05/20 16:20:01  
Start play  
2010/05/20 16:15:20  
OK Cancel



## メディアプレーヤー

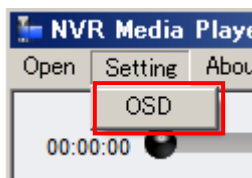
ビデオが元の解像度で再生されます：



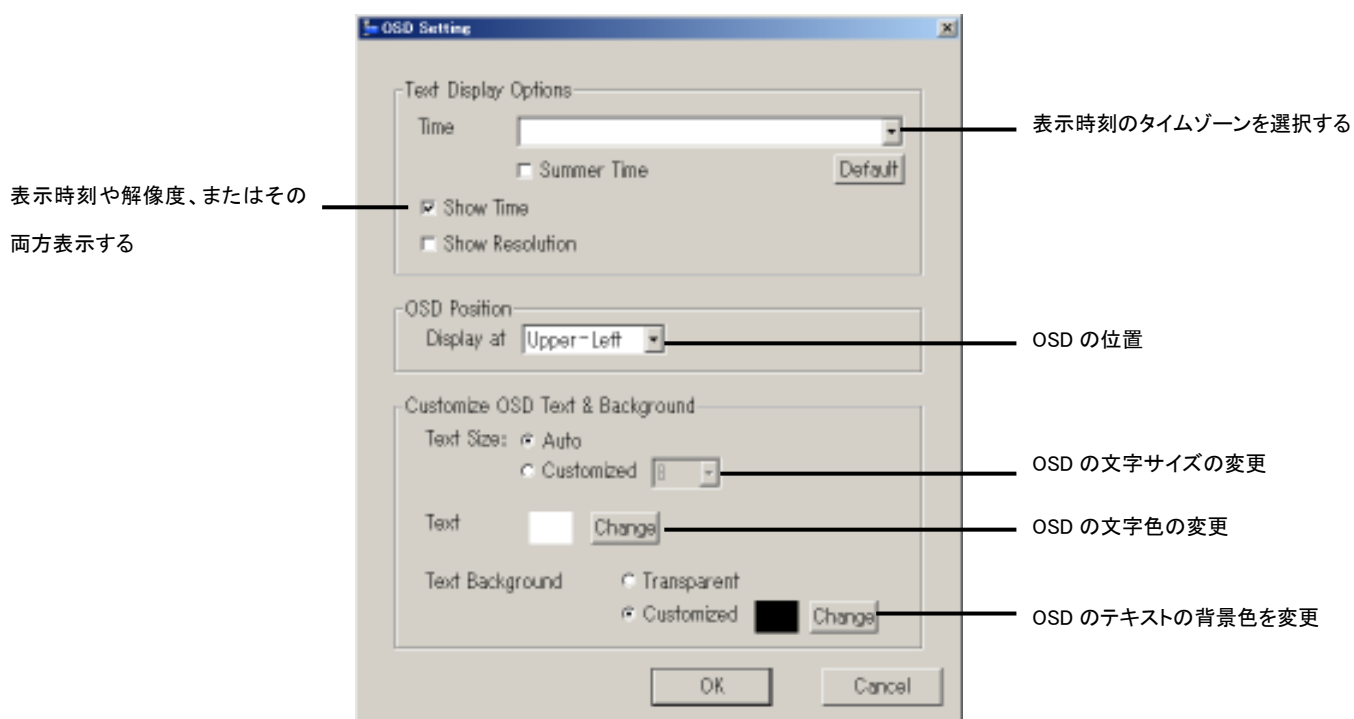
# メディアプレーヤー

## メディアプレーヤーの OSD 表示の設定

再生ビデオの OSD の表示の設定変更を行には、トップメニューから”設定”→”OSD”を実行します：



OSD 設定のダイアログが表示されます（下図参照）：



## リモートモニター - Web ブラウザ

ICSPro はユーザーが Web ブラウザでリモートからライブビデオのアクセスとビデオ再生ができるように Web サーバーを組み込んでいます。これはユーザーがライブとビデオ再生のためのリモートアプリケーションが不要なため、便利な機能です：

はじめにインターネットエクスプローラーで URL にサーバーの IP アドレスを指定します。ActiveX コントロールをインストールします：

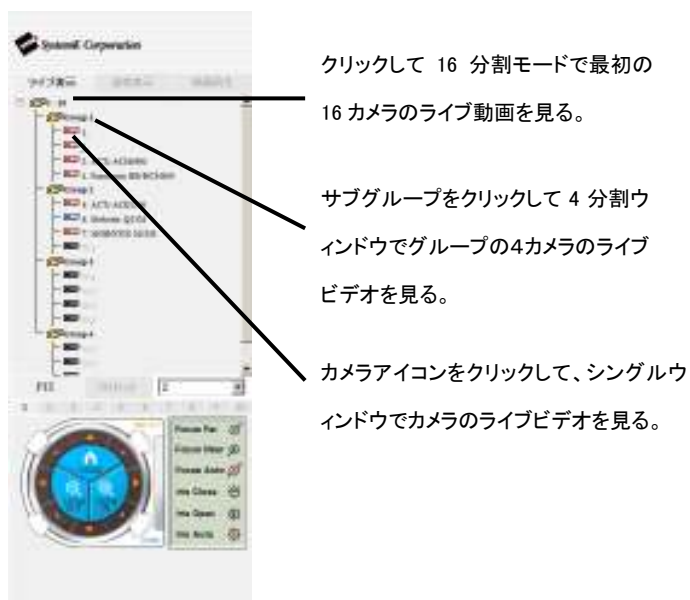


ActiveX コントロールがインストールされライブビデオが表示されます：



## リモートモニター - Web ブラウザ

Web ブラウザを通じて最大 16 カメラ同時にライブビデオを表示できます。Web ブラウザを介しログインすれば、単一ウィンドウビュー内の最初の利用カメラのライブビデオを表示します。左側のカメラ一覧をクリックして分割モードに切り替えることができます：



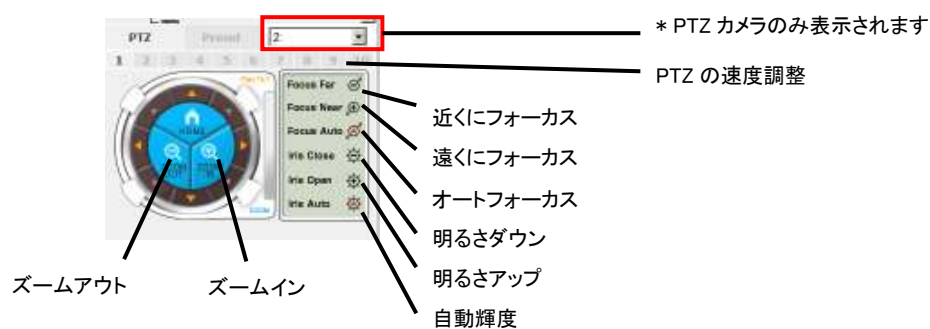
カメラアイコンは現在の状態によって違う色になります：



## リモートモニター - Web ブラウザ

### PTZ 制御 :

PTZ 制御が左下の隅にあります。ドロップダウンメニューからカメラを選択して PTZ 制御を使用します :



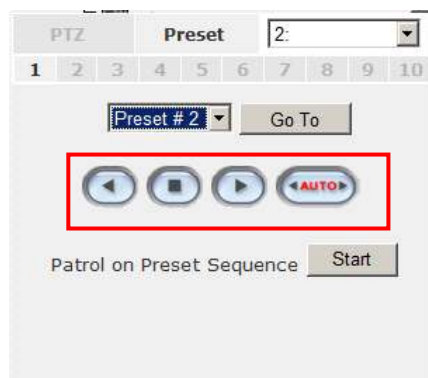
## リモートモニター - Web ブラウザ

### プリセット :

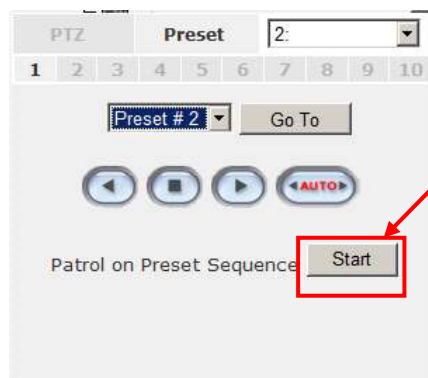
“プリセット”をクリックしてプリセットメニューにアクセスします。ドロップダウンメニューは、設定された選択されたカメラの使用可能なプリセットポイントがリストアップされます。1つのポイントを選択して”移動”をクリックします :



カメラにパン機能があれば、ドロップダウンメニューの下のボタンで、カメラを自動的に右にパンしたり、左にパンしたり、360度のパンができます :



下部にある”開始”ボタンをクリックすれば、プリセットポイントの間で継続的に”パトロール”するようにカメラを設定できます :



## リモートモニター - Web ブラウザ

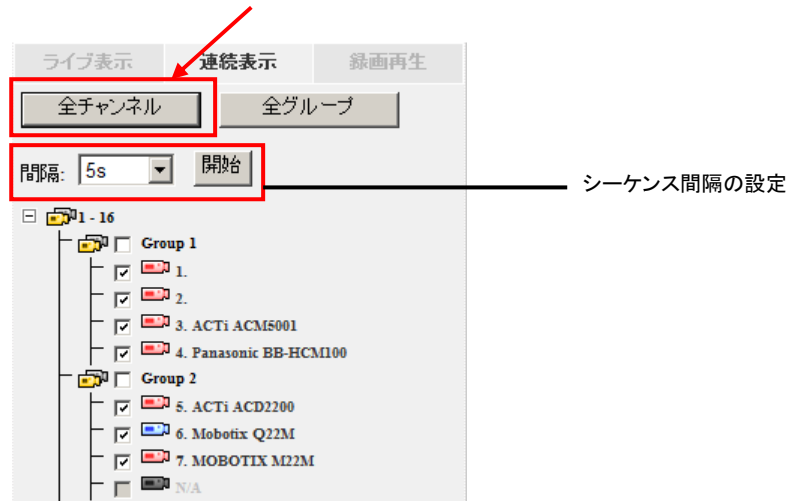
### 連続表示：

また、“連続表示”を実行すれば、全てのまたは選択したカメラで自動的にシーケンシャルに表示するように設定できます：

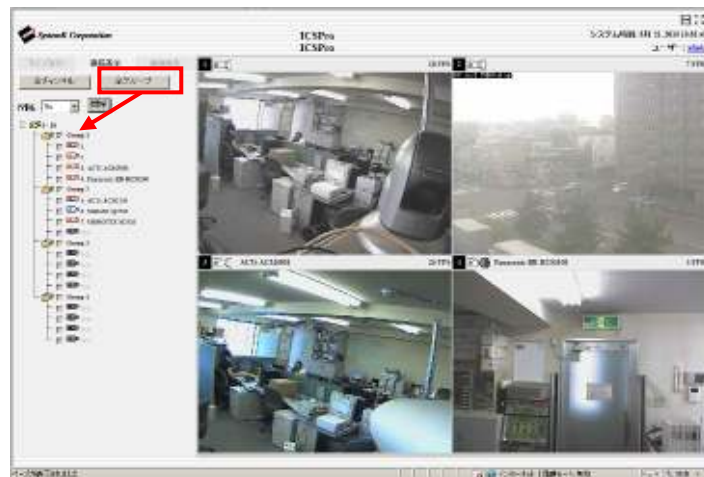


## リモートモニター - Web ブラウザ

“全チャンネル”を選択して単一ウィンドウ上で全てのカメラの表示をシーケンシャルに開始できます。”間隔”ドロップダウンメニューからあらかじめ決められたオプションを選択することによりシーケンスのインターバルを設定できます。”Start”をクリックして開始します：



“全グループ”を選択して4つのウィンドウビュー上でシーケンスビューを開始します（1つのグループに4台のカメラ）：





## リモートモニター - Web ブラウザ

### ビデオウィンドウのコントロールバー：

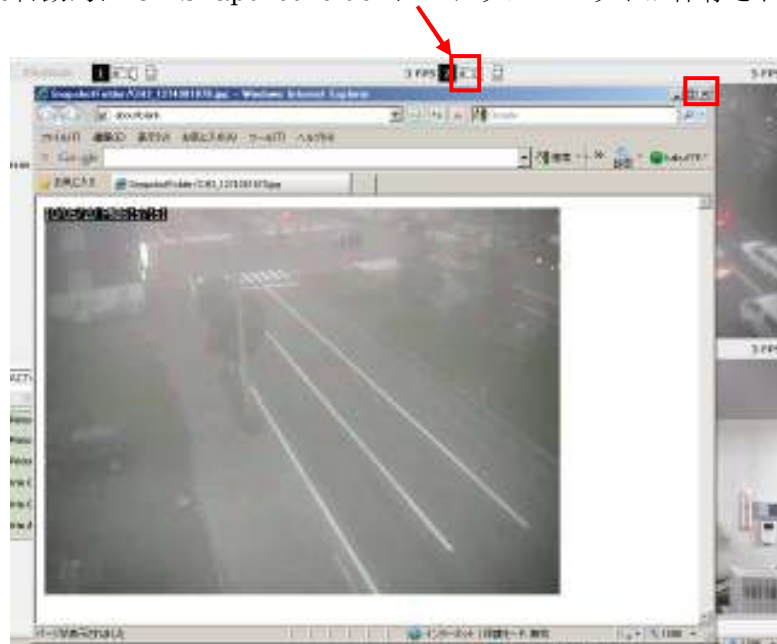
各々のライブビュービデオウィンドウにはコントロールバーがあります。コントロールバーにより、ユーザーは以下のことが可能です：

- \* ライブビデオのスナップショットを取る
- \* オーディオ（スピーカー、Mic.）のオン/オフ



## リモートモニター - Web ブラウザ

スナップショットを取るにはスナップショットアイコンをクリックします。新しいウィンドウが表示されます。ウィンドウを閉じるだけで自動的に C:\¥SnapshotFolder にスナップショットが保存されます：



## デジタル PTZ :

全てのビデオウィンドウにデジタル PTZ 機能がサポートされます。ビデオ上の特定の領域をズームするにはクリックしたままマウスで四角を描くように斜めにドラッグします：



## リモートモニター - Web ブラウザ

ズームされると、右下の赤枠内にズーム領域が表示されます。ズーム領域を目的の方向に動かすにはマウスをクリックしたままドラックするだけです：



ビデオ上の任意の位置で右クリックを押すと、いつでもデジタル PTZ モードを終了できます：

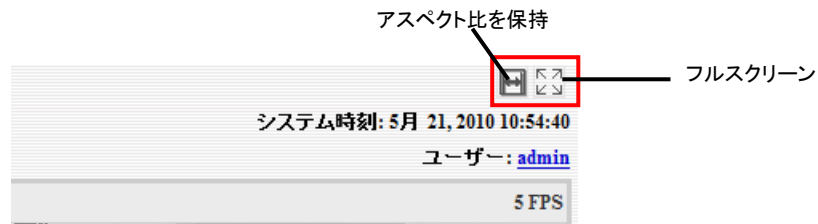
## リモートモニター - Web ブラウザ

### ビデオの縦横比の保持とフルスクリーン :

右上隅にあるファンクションボタンをクリックすれば、いつでも全てのビデオをそのオリジナルの縦横比で表示するようにセットできます。

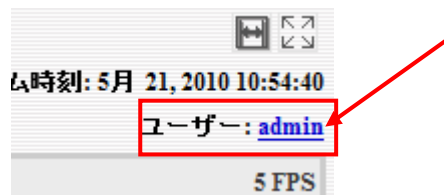
フルスクリーンで表示するには、隣のボタンをクリックします。

フルスクリーン表示で任意の位置でダブルクリックすると、フルスクリーン表示が終了します :



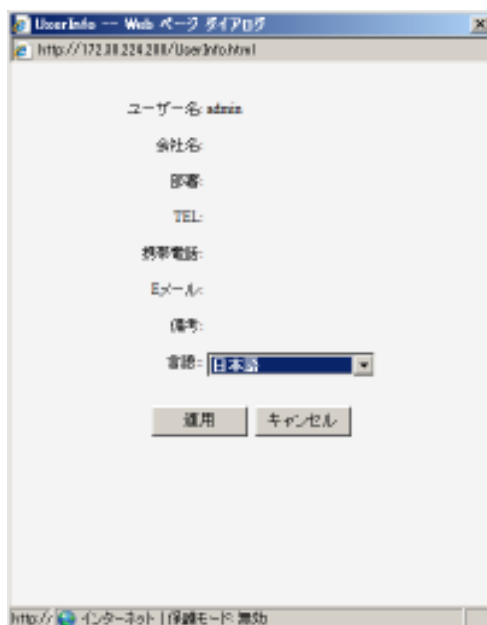
### 表示言語の変更 :

Web ユーザーインターフェースは、異なる言語での表示をサポートしています。表示言語を変更するには、右上隅のログインしているユーザーアカウントをクリックします :



## リモートを監視 - Web ブラウザ

ポップアップウィンドウが表示されます（下図参照）：



“言語”ドロップダウンメニューから希望する言語を選択して”適用”をクリックします：



## リモートモニター - Web ブラウザ

### 再生機能：

再生機能は、過去にイベント発生もしくは選択された録画方法によって録画された一つまたは複数のビデオを再生する機能です。Web インターフェースは 4 カメラまでの同期再生とすぐに必要な映像を見つけるために役に立つ様々なタイプの検索方法を提供します。

ビデオが音声とともに録画された場合は、音声の ON/OFF を選択できます。

再生ビデオをフルスクリーンで表示、再生中にスナップショットを取得できます。



## リモートモニター - Web ブラウザ

### 再生動画を検索する方法

ICSPro は過去に録画されたビデオをすばやく見つけるのに役立つ4つの方法を提供します：

- \* タイムチャート検索：タイムチャートから目的の録画日を選択します。
- \* 時間特定検索：開始時刻を特定することによってビデオを検索します。
- \* イベント検索：イベントトリガーによって録画された録画データを表示します。
- \* イベント検索（新着）：直近のイベントの録画データを表示します。

# リモートモニター - Web ブラウザ

## タイムチャート検索

検索対象のカメラを選択することから開始します：

再生情報

チャンネル: 1 2 3 4    スピード: ---

再生時刻: ---

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16

検索モード: タイムチャートで

検索

\*選択カメラは赤でマークされます

再生情報

チャンネル: 1 4 13 14    スピード: ---

再生時刻: ---

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16

検索モード: タイムチャ

検索

ドロップダウンリストの”検索モード”から”タイムチャートで”を選択して”検索”をクリックすることにより検索を開始します：

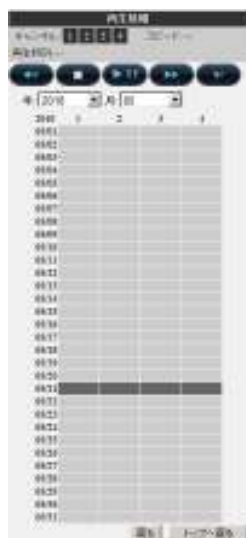
検索モード: タイムチャートで

検索



## リモートモニター - Web ブラウザ

“日付/カメラ”テーブルに検索結果が表示され、灰色でマークされたセルボックスでその日付に見つかったビデオが表示されます：



対象日に複数のビデオが録画されていた場合は、灰色のセルボックスをクリックすると”時刻/カメラ”テーブルに遷移します：



\*同じ日に他のカメラから録画されたビデオもまた表示されます。

## リモートモニター - Web ブラウザ

検索結果の最後まで達した場合、再びセルボックスをクリックするとビデオ再生が開始されます：



同時に録画された他のカメラのビデオもまた再生されます。

# リモートモニター - Web ブラウザ

## イベント検索

検索対象のカメラを選択することから開始します：

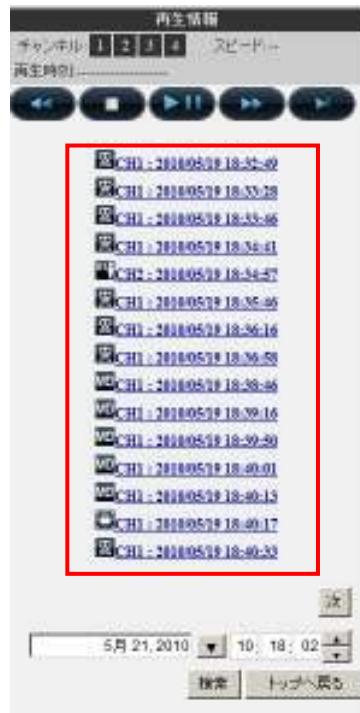


\*選択カメラは赤でマークされます。



ドロップダウンリストの”検索モード”から”イベントで”を選択して”検索”をクリックすることにより検索を開始します：

結果は下記のように一覧表示されます（上から古い順に表示されます）。特定の結果をクリックして再生を開始します：



\* “次”をクリックすれば次の 15 結果を表示できます。

## リモートモニター - Web ブラウザ

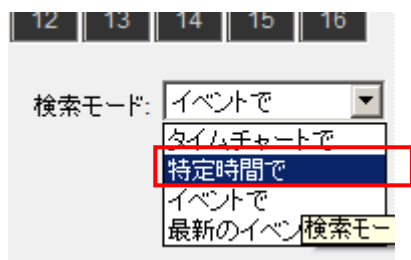
また、検索の新しい開始時刻を指定して結果を表示できます。



## リモートモニター- Web ブラウザ

### 時間特定による再生

もし録画時刻が分かっていた場合は、”検索モード”ドロップダウンメニューの”特定時間で”を選択します。



録画されたビデオの特定の日付と時刻を入力するよう求められます。



## リモートモニター - Web ブラウザ

### イベント検索 (新着)

この機能は選択したカメラから新着したイベント録画をすばやく表示します。上から新しい順に表示されます。最新の結果を表示するには”更新”をクリックしてリストを更新します。

The image shows two screenshots of a web browser interface for a remote monitor. The left screenshot shows the search settings, and the right screenshot shows the search results.

**Left Screenshot (Search Settings):**

- 再生情報 (Playback Information)
- チャンネル: 1 2 3 4 (Channels: 1 2 3 4)
- スピード: -- (Speed: --)
- 再生時刻: ----- (Playback Time: -----)
- 検索モード (Search Mode): 特定時間で (By specific time)
- 検索モードのドロップダウンメニュー (Search Mode Dropdown Menu):
  - タイムチャートで (By time chart)
  - 特定時間で (By specific time)
  - イベントで (By event)
  - 最新のイベントで (By latest event)

**Right Screenshot (Search Results):**

- 再生情報 (Playback Information)
- チャンネル: 1 2 3 4 (Channels: 1 2 3 4)
- スピード: -- (Speed: --)
- 再生時刻: ----- (Playback Time: -----)
- 再生コントロール (Playback Control): 戻る (Back), 再生 (Play), 一時停止 (Pause), 再生 (Play), 進む (Next)
- 検索結果 (Search Results):
  - 10:56:48
  - 10:56:48
  - 10:56:47
  - 10:56:38
  - 10:56:38
  - 10:56:34
  - 10:56:28
  - 10:56:17
  - 10:56:03
  - 10:56:45
  - 10:56:42
  - 10:56:35
  - 10:56:32
  - 10:56:21
  - 10:56:12
- 更新 (Update) / トップへ戻る (Return to Top)